

露國海軍中佐ウエー、エム、カローウニ著
大日本帝國海軍軍令部第二局譯述

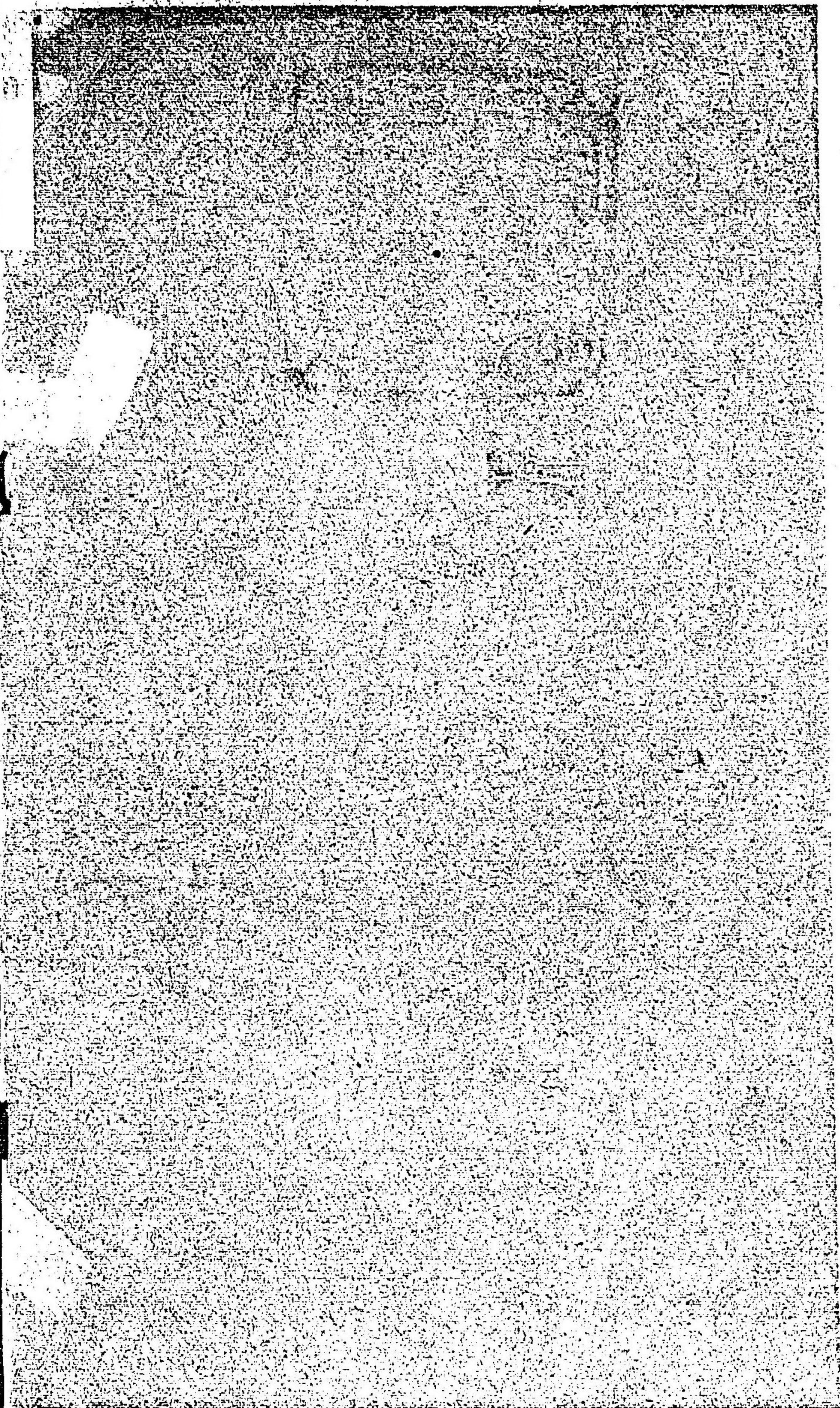
露艦千一十號
艦長カローウニ
日本幽囚實記

版權所有
海軍文庫



露艦第一長官エーガウニニ之像

Whitney



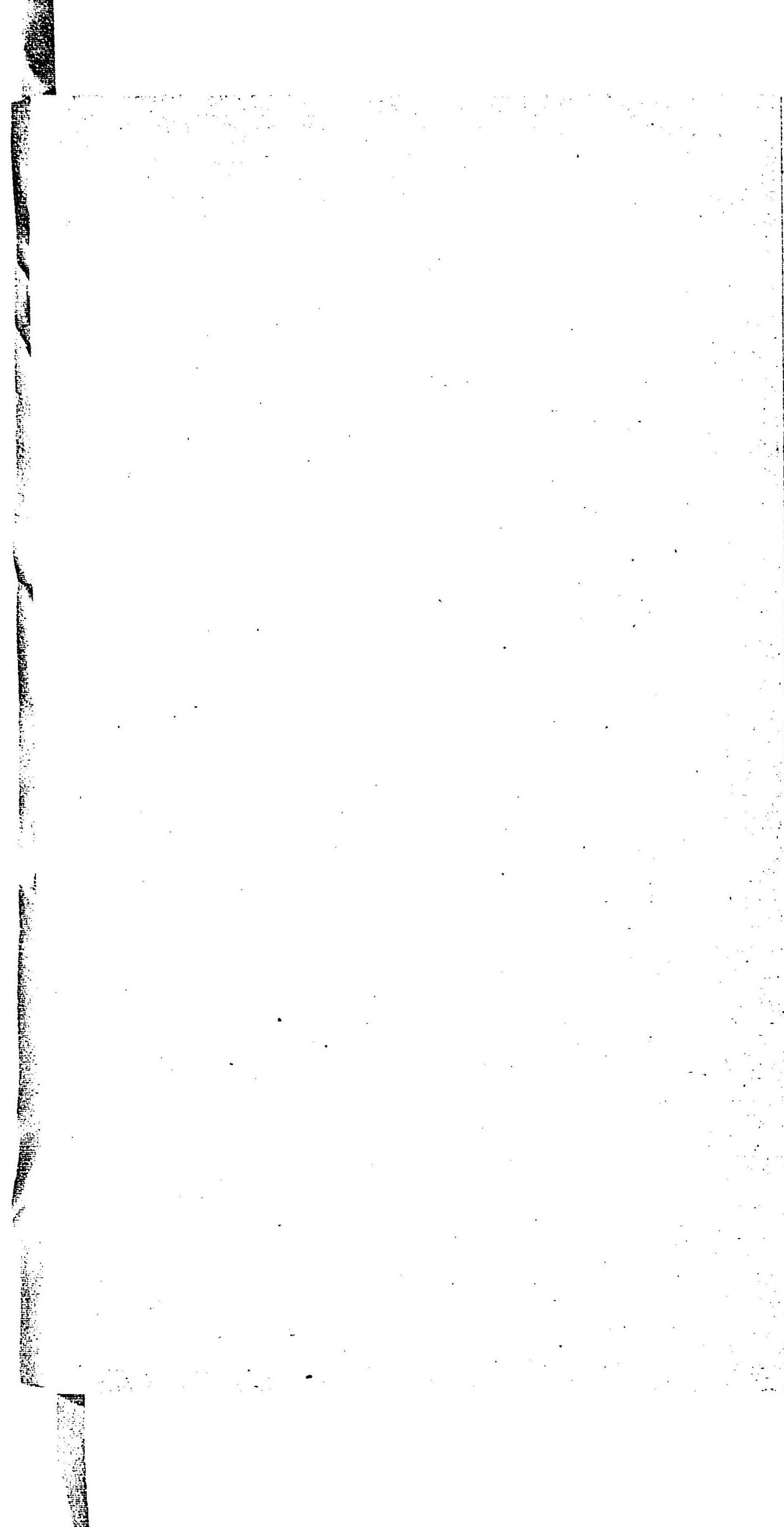


露艦アサノ親長コリール之像

Admiral Koriyama



高田嘉兵衛像



日本幽囚實記緒言

文化年間露國軍艦「デアーナ」號ノ艦長ガローウニ國命ヲ帶ヒ我
カ北海ノ沿岸ヲ測量シ艦ヲエトロウ及ヒクナシリ島ニ寄セ薪水
糧食ヲ需ム是ヨリ先キ露人フオストーフナル者北海道諸島ニ寇
シ村落ヲ劫シ貨ヲ掠メ屋ヲ燒テ去ル故ニ露艦「デアーナ」號ノ來ル
ヤ松前ノ官吏ガローウニ以テフオストーフノ餘徒ト爲シ遂
ニ之ヲ捕フガローウニ囹圄ニ呻吟スル累月備サニ艱苦ヲ嘗ム
冤解ケテ露國ニ歸ルノ後其顛末ヲ記シ著シテ一書ト爲ス後獨逸
人之ヲ自國ノ語ニ譯シ又和蘭人獨逸人ノ書ニ就キ之ヲ複譯シ傳
テ以テ海外ノ奇譚ト爲ス天保ノ末年蘭家醫杉田豫青地盈等蘭書
ニ就テ之ヲ翻譯シ原語ニ因リ名ケテ遭厄日本紀事ト曰フ坊間往
々其書アリ然レモ誤謬無キ能ハス抑モガローウニノ記スル所
辭樸ニシテ事悉カニ毫モ彫飾ヲ藉ラス之ヲ讀ム者以テ當時ノ情

形ヲ想ヒ見ルヘシ而シテ卷中海軍ノ事ニ關スル者尠シトセス因
テガローウニシテ原書ニ基キ之ヲ譯シ參スルニ遭厄日本紀事ヲ
以テス譯成ルニ及テ名ケテ日本幽囚實紀ト曰フ

明治二十七年

譯者識

ガローウニシテ自序

歐洲ニ於テ日本國ノ情勢ヲ審ニセサリシハ歐洲人ノ皆既ニ知ル
所ナレハ此ニ贅セス抑モ日本人カ歐洲人ノ多慾ナルヲ知ラス其
國ニ入ルヲ禁セサルノ時ハ歐洲人多ク往來通商シテ風土民情等
ヲ輯録シタル書アレモ當時ノ紀事ハ率テ誤謬多クシテ信スルニ
足ラス又世運ノ隆替ハ各國皆テ其轍ヲ同フスル者ニシテ予カ日
本ニ拘ハレシ時ハ往昔日本ト通商セシ日ヨリ幾多ノ星霜ヲ經過
シタレハ又昔日ノ觀ニ非ス

和蘭人ハ嘗テ長崎ニ來リテ貿易スレモ當時日本ニテハ嚴禁ヲ設
ケ猥リニ和蘭人ト親ミ交ルヲ許サ、ルト見ヘタリキ然レモ稍日
本語ニモ通スレハ風土民情ヲモ輯録セシ書アリシナラン和蘭人
ハ他ノ博識ナル歐洲人ノ屢日本ニ出入シ遍ク其風土民情ヲ實視
シ之ヲ世ニ公ニセンカ爲メ既ニ編輯シタル風土記地圖等ニ至リ

テモ尙ホ秘シテ之ヲ人ニ示サス夫レ斯ノ如キ物ヲ秘スルノ癖アル和蘭人ニ限り通商ヲ許サレシ當時ノ状態ナレハ豈能ク和蘭人ヨリ日本國ノ詳細ヲ聞知スルヲ得ンヤ然レモ日本ノ如キ古國ノ紀事ハ必ス文明國ノ爲ニ愛翫セラル、ナラン此ニ因テ余カ拘ハレテ彼地ニ在リシ時目撃聞知セシ凡百ノ事項ヲ録シ世ニ示サント欲スルナリ若シ餘國ナレハ敢テ世ニ公ニスルモ益ナケン冀クハ讀者余カ焦心苦思シテ未タ著明ナラサル日本國ノ事情ヲ輯著スルノ勞ヲ察シテ其紀事ノ簡短ナルヲ咎ムル勿レ若シ審ニ其國誌ヲ著述セント欲セハ若干冊ト雖モ尙ホ未タ盡サ、ルヘシ余モ世人ノ紀行ヲ著述スル如ク自己ノ利益ヲ謀ラハ他ノ紀事等ヲ引用シ卷帙ヲ浩漣ニシ序文凡例ヲモ附ス可ケレモ余カ意ハ然ラス唯見ル所聞ク所ノ事項ヲ輯録シ勉メテ其事實ヲ失ハサラシムルニ在ルノミ

露艦「チア」ナ號
艦長ガローウニン
日本幽囚實記

目次

一 クリーリ諸島(千島)實測ノ命ヲ受ケ其計畫ヲ爲シカムチャツカ	一
半島ベツロバウロウスク港ヲ出發スル	一
一日露ノ關係並ニ露人フオストーフ及ヒダウイドーフノ所業ノ	九
一 イツループ島ニ於テ始テ日本人ニ應對スル	十四
一 クナシリ島ニ向航スル	二十六
一 日本人ニ拘ラル、(一)年七月一日	三十二
一 縛ニ就キタル後松前及ヒ函館ニ赴ク	五十
一 厚岸ヲ發シ函館ニ赴ク	六十一
一 函館獄中ノ	七十八
一 函館ノ官廷ニ出テ糾問ヲ受クル	八十二
一 再ヒ函館ノ官廷ニ出テ糾問ヲ受クル	九十三
一 函館ヲ發シ松前ノ獄舎ニ繋カル、	百十七

- 一 松前獄舎景狀ノ丁 百五十三丁
- 一 日本國ノ官吏江戸ニ向テ出發スル丁 百六十三丁
- 一 獄舎ヨリ刑屋ニ移轉スル丁 百七十三丁
- 一 出奔密謀ノ丁 百九十二丁
- 一 松前出奔ノ丁 二百五丁
- 一 再ヒ捕ハレテ松前ニ赴ク丁 二百二十二丁
- 一 松前官廷ニテ審訊セラル、丁 二百三十三丁
- 一 松前ニテ再ヒ獄ニ繫カル、丁 二百四十丁
- 〇 露艦「チアーナ」號再ヒクナシリ島ニ來航シ新艦長リコールヅヨ
リ書翰ヲ贈ル丁 二百六十七丁
- 〇 新奉行及ヒ村上貞助學士足立左内閣通詞馬場佐十郎等到着並
ニ露艦ニ書翰ヲ贈ル丁 二百八十五丁
- 一 漂客其左衛門ノ丁 二百九十七丁
- 一 露艦「チアーナ」號再ヒクナシリ島へ來航ノ丁 三百十丁
- 一 冤解ケテ我等放還ノ命ヲ受ケル丁 三百二十二丁

- 一 松前ヲ出發シテ函館ニ到ル丁 三百二十四丁
- 一 「チアーナ」號函館ニ入港スル丁 三百三十二丁
- 一 「チアーナ」號新艦長リコールヅ上陸シタイルクーツスク府總督
ヨリノ公書ヲ呈スル丁 三百三十九丁
- 一 我等放還ノ命ヲ受ケ「チアーナ」號ニ到ル丁 三百五十九丁
- 一 函館ヲ出艦シテカムチャツカ半島ベツロパウロウスク港ニ
向航スル丁 三百五十九丁
- 一 ベツロパウロウスク港ヲ發シテ帝都ニ歸リ恩賞ヲ賜ル丁 三百七十七丁
- 一 リコールヅノ記録 三百七十二丁
- 一 日本船ヲ襲ヒ高田屋嘉兵衛ヲ捕ユル丁 三百九十四丁
- 一 第二回日本渡航ノ丁 四百十一丁
- 一 高田屋嘉兵衛ヲ陸上ニ差遣スル丁 四百二十三丁
- 一 第三回日本渡航ノ丁 四百四十二丁
- 一 ガロウニン以下ヲ受取リ本國歸航ノ丁 四百五十九丁

露艦「チアリーナ」號
艦長ガローウニン
日本幽囚實記目次 終

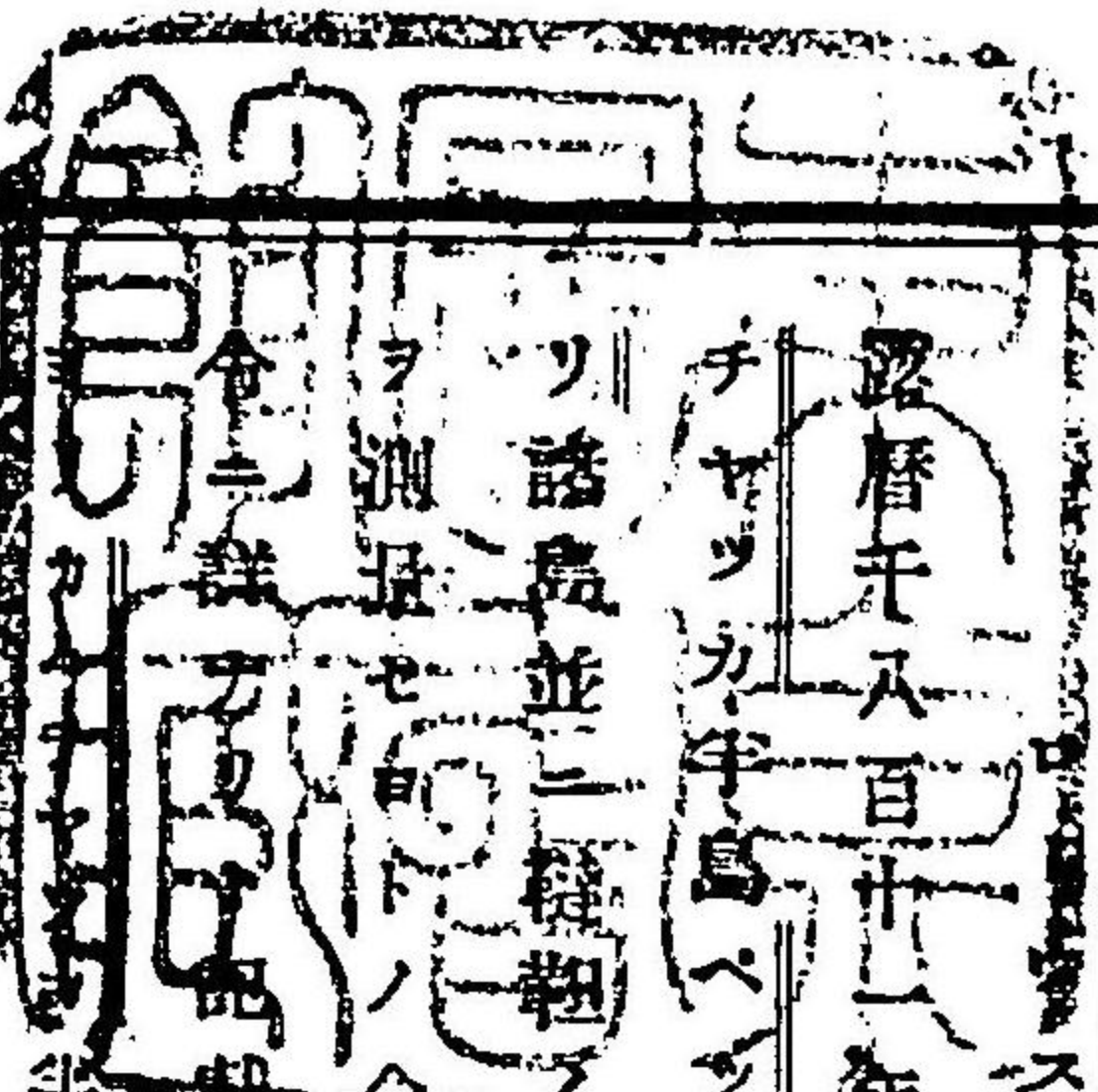
露艦「チアリーナ」號
艦長ガローウニン
日本幽囚實記

露國海軍中佐 ウエー、エム、ガローウニン
大日本帝國 海軍軍令部第二局 譯



○クリーリ諸島(千島)實測ノ命ヲ受ケ其計畫ヲ爲シカムチャツカ半島ベツロパウ
スク港ヲ出發スル

露曆千八百八十一年 我文化 四月余露國皇帝陛下ノ軍艦「チアリーナ」號ノ艦長ト爲リカム
チャツカ半島ベツロパウロロパウロウスク港ニ在ルヤ勅旨ニ依リ海軍大臣ヨリ南部クリー
リ諸島並ニ實測
ヲ測量セザル
令ヲ受ケタリ着手ノ順序等ハ海軍將校會議及ヒ海軍省ヨリノ訓
令ニ詳テアリ
シアレモ該書ハ未タ達セス因テ考フルニ冬期中アホーツスク港
カハナ
半島ニ到ルノ郵便ハ僅ニ三回ナリ而シテ其第三回目ノ郵便ハ既ニ
四月二十日ヲ以テベツロパウロウスク港ニ達スレモ該訓令ヲ受領セス又露京
サンクトペテルブルグ府ヨリアホーツスク港ニ到ルノ郵便ハ毎月一回トス然レ
ハ右訓令ヲ上文ニ記スル第三回目ノ郵便差出ノ後一ヶ月ヲ經テ露京ヨリ郵便ニテ



發スルト想像スルニ生憎其候ハ露京ヨリアホーツスク港ニ通スルシビリー内地ノ沿道雪解ケ河流溢レ全ク人行ヲ絶ツノ季節トス其シ又幸ニシテ郵便アホーツスク港ニ達シ港内氷解ケ船舶ノ航行自由ナルモ同港ヨリペツロパウロウスク港へ往復ノ船舶ハ悉ク隆冬閉整ノ爲メ其港内ニ舶在スレハ通信ニ由ナキヲ必セリ故ニ今夏該訓令ヲ受領セントセハカムチャツカ半島ヲ發シアホーツスク港ニ渡航スルニ若クハナシ且ツアホーツスク港司令官海軍大佐ミニーツキー氏ヨリモ今回測量着手ニ先チアホーツスク港ニ到リ薪水食料ヲ準備シ且ツ艦ノ修理ヲモ加フヘキ旨ノ手書アリ然レモ本艦ハ乗組ノ職工ニテ修理シ能ハサルカ如キ大破ハナケレモ食料ニ至ツテハ少ク缺乏ヲ告ケタルヲ以テ當港ニ繫泊ノ運送船ヲオニイシ一號ヨリ三ヶ月餘ノ食料ヲ購ヒタリ然レハ今回測量ニ先チアホーツスク港ニ航スルハ單ニ海軍將官會議及ヒ海軍省ヨリ下附セラレシ訓令ヲ得ルノ點ニ在リ元來該沿岸地方ノ狀況ヲ諳セサレハ訓令ニ原キテ測量セサレハ勞シテ功ナキノ恐アリ然レモ再思スルニ今回ノ測量ナルヤ如何ナル方法ヲ以テ如何ナル度マテ達スヘントノ事ハ明了ナラサレモ何レノ所ヲ測量シ何レノ事ヲ探究スル等ノ要點ハ大抵海軍大臣ヨリノ命令ニ於テ顯然タリ且ツ又余アホーツスク港ニ航スル時ハ測量ニ肝要ナル夏ノ季

節ヲ無益ニ經過シ一夏ヲ過スハ一年ヲ費スモ同様ナレハ彼是思ヒ圖リテアホーツスク港ニ往クイヲ廢シタリ然レモ同港ニ寄航スルノ利害ヲ擧レハ左ノ如シ
第一ハ既ニ冬ノ季節ヲモ經過シタレハ是ヨリアホーツスク港ニ到リ薪水並ニ食料ヲ積載シ同所ヲ發スレハ假令順風ニ遭フト雖モ七月ノ初旬ナラテハ南部クワリリ諸島ニ到リ測量ヲ始ムルコト難カルヘシ然レハ五六ノ二ヶ月ハ全ク無益ニ經過スルカ故ナリ
第二ハ本艦ノ艦体並ニ其乗員ノ狀況ニ就テ考レハアホーツスク港ニ於テ冬時閉整シ艦体ヲ檢査シ艦内ヲ掃除シ及ヒ修繕等ヲ加ルヲ便トス何トナレハ本艦ハ千八百七年我文化クロンシュターツ港ヲ發セシヨリ未タ嘗テ其艦内ニ堆積シタル貯蓄品等ヲ解卸セス亦内外吃水線以下ノ損所等ヲモ檢査セシコトナシ何トナレハペツロパウロウスク港ニハ鎖鑿用ノ粗惡ナル倉庫ヲ除クノ外佗ノ倉庫ナケレハ食料並ニ船具ヲ納メ置クコト能ハサルカ故ニ船ヲ修理スルニ由ナシ且ツ此港ニ於テ既ニ二冬ヲ經過シタレハ艦内ニ鼠多クシテ諸物品ヲ害セリ今之ヲ驅除センニハ艦内ノ諸具ヲ悉ク解卸セサルヘカラス加ルニ乗組員ノ衣服履等ヲ新調スルニモアホーツスク港ニ到ラサレハ辨セス故ニアホーツスク港ニテ冬時閉整スルヲ最モ便ナリトス

然レハ今ヨリ直ニ測量ニ從事セハアホーツスク港ニ到ルハ九月ノ末カ若クハ十月ノ初我八月初末ニ在ラシテ測量ノ日數ハ凡ソ三ヶ月ニシテ其中七月ハ測量ヲ施スニ適當ナル氣候ナレハ漸次測量ヲ卒ヘ然ル後アホーツスク港ニ到ルニ如カサルナリ該海上ハ雲霧常ニ迷濛トシテ海岸ヲ辨シ難クレハ嘗テ此邊ヲ測量セシ人アレモ事業ヲ施ス能ハサルヲ歎セリ余モ去歲亞墨利加ヨリアレウーツ諸嶋ニ沿テカムチヤツカ半島ニ歸航セシ時始テ其實ヲ知レリ故ニ航海者ハ常ニ雲霧ノ爲メ往々危難ニ遇ヒシコアリ其中最モ危險ナルハアレウーツ諸島ニ進出セル諸島ナリ東四一帶トクリーリ諸島トノ間ニ甚々急湍ナル潮流アリテ海底ノ深淺ヲ測ルテ能ハス該島嶼ヲ離ル、三海里計ノ所ニ百五十乃至二百尋ノ測鉛ヲ下セシニ尙ホ海底ニ達セサル所アリ航海中陸地ニ接近スル時其深サヲ測知スルニハ毎ニ測鉛ヲ以テス然ルニ今該器ニシテ其効用ヲ爲ス能ハス加フルニ雲霧海面ヲ掩ヒ咫尺ヲ辨セサルヲ以テ航海ノ爲メ一層ノ危難ヲ來セリ是等ノ事ヲ考レハ余今回ノ事業ヲ遂ルニハ尤モ時侯ヲ擇ハスンハアルヘカラス又嘗テ夫ノ諸島近海ヲ巡航セシ老練ナル航海家ノ紀事等ヲ閱讀スルニ左ノ事項ヲ記セリ

千七百七十九年安永二年八年二隻ノ英國軍艦「レゾリユイシヨ」及ヒ「ヂスコヴエリ」號ノ艦

長海軍大佐クーク並ク「ライル」氏ノ歿セシ後海軍大佐「ゴール」氏之レニ代リ其年十月九日「アワチン」灣カムチヤツカ半島ノ南岸ニ在リヲ解纜シ所々ヲ巡航シテクリーリ諸島ヲモ實測トセシニ其中第一第二ノスムシユ一島及ヒ「パラムシール」島ノミヲ見得レモ其餘ハ西風常ニ烈クシテ近ツクコト能ハス十月二十六日北緯四十度五分ノ所ニテ陸地ヲ發見シ「ゴール」云フ是ハ日本東岸ノ地ナル可シ然シテ「ゴール」氏ハ頼リニ南部ク「クリーリ」諸島ヲ實視セント欲スレモ風波ノ爲ニ阻セラレテ遂ニ其事ヲ遂クルヲ得サリ「キゴール」氏ハ九月ノ末我八「アワチン」灣ヲ出帆セシニ其氣候此ノ如クナレハ九月十月ノ交クリーリ諸島ヲ測量スルハ極メテ適當ナラサルヲ「明亮」ナリ

千七百八十七年八月月中旬我天明七年佛國航海家「ラベル」ズ氏ハ「サハリ」島ト北海道トノ間ヲ通航シ「アワチン」岬サハリ」島ノシヨリス「スタ」テ「ラン」チ「ヤイ」ツル「ア」島トル「岬」ニ至ルノ間ハ更ニ陸地ヲ見ス同月十九日我七月十八日「トル」岬ヲ認メ又「コム」バ「チ」イ「島」第十八島一名及ヒ「マ」リ「カン」島第十六島一名等ヲ見タリ此二島間ノ海峽ヲ彼カ乗タル艦名ヲ取テ更ニ「ラ」ブ「ソール」海峽即チ羅盤ト云義ナリト名ケタリ其外諸島間ヲ巡航セント欲セシモ雲霧常ニ深クシテ進退自由ナラス已ムヲ得ス直ニ「ベ」ツ「ロ」バ「ウ」ロ「ウ」スク港ニ歸航セリト是九月初旬ノ事ナリ

露國海軍大佐サルイテエフ氏嘗テシベリノ東北氷海並ニ東洋ニ航セシ時朝鮮海
 ヲ測量セシ爲メ千七百九十二年八月六日露政ニカムチャツカ半島ノアワチン灣ヲ
 出發シ針路ヲ西南ニ向ケクリリ諸島ニ沿テ航セシニ陰雲常ニ密ニシテ同月二十
 日マテ更ニ陸地ヲ見サリシカ漸ク北緯四十七度二十八分ノ所ニ於テ見出シタル地
 ハ蓋シマリカン島並ニ其他ノ島嶼ナラン此後モ漸々雲霧深クシテ島嶼ヲ見ルナ
 ケンハ已ムヲ得ス空シクアホーツスク港ニ歸レリ歸路第五第七第十二島ノ山並ニ
 第二島ノ南岸ヲ望ムト雖モ雲霧深クシテ確然其所在ヲ認ル能ハサリシ又千七百九
 十六年露政英國海軍大佐プロトン氏ハ北海道ノ南岸ウオウカニイテエスキイ灣ヲ
 出テ漸ク北海道ノ東岸ニ沿フテクナシリ島ノ一端ニシテ地緯ノ地ト思ヘリトイツ
 ルイブ島トノ間ヲ航シイツルイブ島ノ西北ニ沿ヒ其半面ト東北端ヲ見ウルイブ島
 ノ西岸並ニシムシール島ノ側面ヲ航セケトイ島ニ達シシムシールケトイノ二島ハ
 復再ヒウルイブイツルイブ並ニクナシリ嶋ノ南岸ヲ航セシカ該諸嶋ノ沿岸等ヲ精
 ク測量セント欲シタレ前文ノ如ク雲霧暴風等總テ不其ナル時候多カリシカ故ニ
 終ニ望ヲ失ヒテ歸航セリ氏ノ該航海ハ十月始旬我八月末ナリキ
 千八百五年文化露國海軍大佐クルイゼンシテイルン氏ハ日本國ヨリカムチャツカ

半嶋ニ歸航セント欲シ五月六月ノ交ヲ撰テクリリ諸嶋ノ近海ヲ航セリ又七月中
 旬サハリン嶋ニ航セントシクリリ諸島ノ傍ヲ過キ歸航セシハ八月ノ初ナリ我七
 月末クルイゼンシテイルン氏ハ此レ同人ノ紀行ニ附屬セシ海圖ニ見ユ其海圖ハ余之
 紀事ニ新層ヲ用ヒシト云フ我カ汽船會社ノ船長クリイツイン氏ヨリ譲リ受ケタル者ナリ然レモ余未タクル
 一ゼンシテイルン氏ノ第二ノ紀行ヲ閱讀セサレハ果シテ其頃クリリ諸島近海ノ
 氣候如何ナリシヤ詳悉スルヲ得ス

余ハ著名ナル諸航海家ノ説ヲ參考シ尙ホクリリ諸島ノ事ヲ知ル者ニ就キ詳カニ
 今回測量ノ事業ニ關スル必要ノ事項ヲ尋問セント欲シ百方搜索シテ漸ク一兩盤
 ヲ得タリ就テ之ニ問フニカムチャツカ半島ノ漁民ナレハ極メテ愚昧ニシテ素ヨリ
 航海ノ事ヲ知ラス其答ル所採ルニ足ル者ナシ彼等ハ常ニ収稅吏ニ雇ハレ時々クリ
 リ諸島ニ航セシ者ナレハ私利ニ汲々トシ諸島ノ氣候等ニハ毫モ意ヲ用ヒス然レ
 其其中取ルヘキハ彼地夏ノ頃ハ天氣好シト云フト島嶼間ノ風候ナリ又我汽船會
 社ノ商船ニ乗組タル海軍大尉フオストフト共ニクリリ諸島ニ往キシ航海士補
 アンヅンノウナル者有リ七月初旬南部クリリ諸島ニ航セシニ氣候甚タ宜シト云
 ヘリ余モ去年七月我六カムチャツカ半島ヲ發シ亞墨利加ニ航行セ八月我七歸航セ

シニ往復トモ天曇リテ雲霧絶ユルナシ然レハ該海上ハ一年中ニ一週間ノ好晴ナキ
 一知ルヘシ是ニ由リテ考フルニ余カ命ヲ蒙リシ測量ノ事業ヲ遂ンニハ五月ノ初ヨ
 リ九月ノ末我四月ノ初ヨマテヲ便ナリトス且又風候ヲ得レハ天氣ニ拘ラス陸地ニ
 本艦ヲ近ツケ霧ノ晴ル、ヲ待テ海岸ニ進ミ測量セントセリ若シ好天氣ヲ待テ六七
 ノ二ヶ月ノミ測量ニ從事セハ假令三年間ヲ經ルモ尙ホ事業ヲ卒ル能ハス故ニ少シ
 モ無益ニ時日ヲ費スヘカラスト思考シ速ニ其準備ニ着手セリ
 余今回ノ事業ニ付キ熟考スルニ先ツカムチャツカ半島ヲ發シ直ニマツトア島トラ
 スシユニア島トノ間ナデーサダ海峽ヲ通航シ該島ノ位置ニ據テ時辰儀ヲ正査シ若
 シ月測ヲ爲スコトヲ得ハ之ヲ行ヒクリリ諸島ノ南部ニ沿テ露國海軍大佐クルーゼ
 ソンシテールン氏ノ艦長タリシナデーサダ號ニテ見出セシケトイ島ヨリ測量シ漸次
 南方ノ諸島ニ及ホシ北海道ニ到リ北海道トクナシリ島トノ間ヲ過キ夫ヨリ北海道ノ
 北岸ヲ測量シラベルーズ海峽ニ北海道トサハリ出テサハリ島ノ東岸北緯五十三
 度三十八分ノ所ニ到リ韃靼ノ海岸並ニシヤンタールスキ諸島ヲ測量シ本年夏ノ
 末ニ至レハ悉ク業ヲ了ランコトヲ期セリ
 斯ノ如ク豫メ測量ノ着手順序ヲ定メ直ニ發航ノ準備ヲ爲シ四月二十五日我三月水

ヲ破テ本艦ヲベツロバウローウスク港ヨリアワチン灣ニ廻航シ五月五日我三月二
 アワチン灣ヲ拔錨セリ

余既ニ豫定ノ如ク五月十四日ナデーサダ海峽ニ至テ測量ヲ始メクリリ諸島ノ間
 ヲ通航セシカ其狀況及ヒ實測ノ顛末ハ載セテ別冊ニ在レハ今茲ニ贅セサレハ五月
 十四日始テ日本人ニ遭遇セシ時ヨリ六月十七日我五月ニ至ル迄測量シタル事ヲ略記
 スヘシ該海上ハ雲霧深ク加ルニ潮流極メテ急ナレハ測量ヲ爲スニ頗ル難キモ百折
 撓マス途ニクリリ諸島ノ中第十三島ラスシユニア第十四島ウシイシリ第十五島
 ケトイ第十六島シムシール一名マ第十七島チルボイ並ニマカントル及ヒ第十八島
 ウルリアノ西岸等ヲ實測スルヲ得タリ余日本人ト應對シ並ニ其後危難ニ罹リタル
 顛末ヲ記スルニ先チ余カ聞知セシ我國ト日本國トノ間ニ存在スル政治上ノ關係ヲ
 縷述ス可シ

○日露ノ關係並ニ露人フオストーフ及ヒセダウイドーフノ所業ノ一
 今ヲ距ル三十餘年前日本國ノ商船アレウツ島ニ漂着セリ船長ヲ光太夫ト曰フ我
 政府船長並ニ其水夫等ヲ扶助シテイルクリツスク府ニ送リ此處ニ居ル凡十年我女
 帝エカテリ我實曆セリ十二彼等ヲアホーツスク港ヨリ本國ニ護送シ且ツ兩國互ニ

信ヲ通シ貿易ヲ開カンコトヲ談判スヘキコトヲシビロノ總督ビロリ氏ニ命セリ且ツ命スラク使者ハ高官ノ者ヲ用ヒス幣帛ノ如キハ女帝ノ特命ト言ハズシテ隣界ノ地方總督ヨリ送ルト言フヘシ又之ヲ護送スル船舶ノ長官ハ英國或ハ和蘭國人ハ宜シカラストテ即チ千七百九十二年四政秋總督ビロリ氏ヨリ海軍少尉ラクスマンヲ使者トシ運送船「エカテリ」號ニ搭シ航海士ロフツオーフヲ船長トシテアホーツスク港ヨリ日本ニ送レリラクスマンハ既ニ北海道ノ北岸ニ達シ其年ハ根室ト云フ小港ニ滞留シ明年夏ニ至リ漂客ノ請ニ因リ函館港ニ回航セリ函館ハ松前ノ南面ノ地ニシテ津輕海峽ノ側ニ在リ函館ヨリ西陸行三日ニシテ松前ニ到リ松前ニ於テ日本ノ帝都ヨリ來レル有司ニ應對セリ其時日本國政府ヨリ送付セシ告示書アリ左ノ如シ

第一條

日本國ニ於テハ長崎港ヲ除クノ外外國人ノ上陸ヲ許サス若シ之ヲ犯ス者ハ拘留シテ國ニ歸ルヲ得セシメサルノ國法ナレモ露國人ハ未タ我國法ヲ辨知セス且ツ其國ノ海濱へ漂着セル我國人ヲ送還セシヲ以テ今回ニ限リ本國ニ歸ルヲ許ス可シ爾來長崎港ノ外日本國ノ海岸ニ來ル可カラヌ又爾來我國人露國ノ海岸ニ漂着

スル者有ルモ之ヲ我國ニ護送スル勿レ若シ之ヲ犯サハ嚴ニ我國法ニ處シ宥恕セサル可シ

第二條

今回露國政府ヨリ我國民ヲ護送セシハ我政府モ素ヨリ感謝スル所ナリ然レモ此者ヲ露國ニ留ムルモ日本國ニ送致スルモ露國人ノ隨意ナリ何トナレハ若シ我國人不幸ニシテ外國ニ漂着シ其救助ヲ受ケ生命ヲ全フスル者有レハ即チ其國ノ者ト見做スカ故ナリ是レ我國法ナリ

第三條

貿易ノ事ハ長崎港ノ外ニ於テ之ヲ議スルヲ得サルハ我カ國法ナリ故ニ今ラクスマンニ公書ヲ與フ可シ之ヲ携帶セハ長崎港ニ入ルヲ得可シ同港ニハ官吏有リ宜ク之ニ就キ貿易上ノ事ヲ商議スヘシ

ラクスマン氏ハ該告示書ヲ持テ千七百九十三年五政ノ秋アホーツスクニ歸港セリ氏カ言フ所ニ因レハ日本國人ノ我等ヲ待遇スル極メテ親密ニシテ能ク禮讓ヲ盡セリ日本國ニ滞在中ハ都テ彼國ノ饗應ヲ受ケ且ツ解纜前ニハ薪水食料等ヲ給セラレ又種々ノ物品ヲ贈ラレタリ唯遺憾ナルハ日本國法ニ因テ市中ヲ隨意ニ徘徊スルヲ

許サス始終看守人ヲ附シテ警固セシト是ナリ然レモ何故ニ我女帝陛下ハラクスマ
 ノノ歸國後再ヒ軍艦ヲ長崎ニ派遣シ日本國トノ貿易ヲ圖ラサリシヤト奇異ノ思ヲ
 爲シタリシカ恐クハ當時佛國ノ兵亂歐洲全土ニ波及シタル故ニ遲延シタルナルヘ
 シ
 千八百三年^三我カ皇帝陛下ハ侍從ニコライ、ペツロ、ウイチ、レザ、ノフヲシテ日
 本國ニ使セシメシ事ハ海軍大佐クルゼンシテル、氏ノ紀行ニ詳ナリ余今回カムチ
 ヤツカヲ出發スルノ前其紀行ノ初卷ヲ閱讀シタルニ日本國政府ヨリレザ、ノフニ
 諭セル書有アリ其文ニ露國ノ艦船ハ日本國ノ海濱ニ來ル可カラス又風波ニ因テ或
 ハ破船シ或ハ其他ノ不幸ニ因テ日本人露國ノ海濱ニ到ルコト有ラハ露國ノ艦船ニ
 テ送致ス可カラス必ス和蘭船ニテ送致ス可シトレザ、ノフ氏ハ日本國ヨリカムチ
 ヤツカニ歸リテ後復々同所ヨリフオスト、フヲ船長トシテ我カ汽船會社所屬船ニ乘
 リ亞墨利加ニ到リ亞墨利加ヨリアホ、ツスク港ニ歸リアホ、ツスク港ヨリ陸地シ
 ビ、リヲ經テ帝都サンクト、ツペテルブルグニ歸ラントシタルニ旅行中病ニ罹リ死
 セリ又船長フオスト、フハ再ヒアホ、ツスク港ヲ出發シテクリ、リ諸島ニ到リ
 日本人ノ村落ヲ亂暴セリ其顛末ハフオスト、フ及ヒダウ、ド、フノ第二回紀行ト題

セル小冊子ニ詳ナリ蓋シ右紀行ハ海軍中將アレキサンツル、セミヨ、ノウイチ、シ
 ーシコフ氏ノ編輯セシモノナリト云フ若シレザ、ノフ並ニフオスト、フノ二人ヲ
 シテ世ニ在ラシメハ索ヨリ其所業ヲ詳知スルヲ得ヘケレモ既ニ故人トナリタレハ
 如何ントモシ難シ但シ我政府モフオスト、フノ所爲ヲ大ニ惡ミシ事ハ論ヲ俟スシ
 テ明カナリ諺ニ曰ク古人ヲ評スルニハ善行ノ外猥ニ批評スヘカラスト余モ亦敢テ
 死セシ者ノ非ハ爰ニ評スルヲ欲セス

余今南部クリ、リ諸島ヲ測量スヘシトノ命ヲ蒙リタルカ該クリ、リ諸島中ニハ日
 本人モ居住スルトノヲヲ聞知シタレハフオスト、フノ彼地ニテ亂暴セシ顛末ヲモ
 詳知セント常ニ百方焦慮シタルカ幸ニ其時フオスト、フト同船セシ航海士ニ逢テ
 之ヲ問シヌフオスト、フカ兩度マテ日本人ノ村落ヲ襲ヒシハ全ク自己ノ意ヨリ出
 テシトニシテ豈一大帝國ノ君主ニシテ僅ク二艘ノ船ヲ以テ他邦ヲ侵スヲアランヤ
 日本人等ハ露國ノ國勢事情等ヲ記載シタル書籍ヲ見テモ我國ノ廣大ナルト武威ノ
 強盛ナルヲ明ナレハ全ク彼カー、一己ノ所爲ニシテ決シテ帝王ノ命令ニ非サルハ論ヲ
 俟スシテ知ルヘキナリ此航海士ノ話ハ余始テカムチヤツカ半島ニ來リシ時商館ノ
 役員ミヤスニコ、フニ聞シト全ク符合セリ此人ハフオスト、フト其頃同居セシ者

ナリ余此等ノ話ヲ聞テ日本人ノ宿怨アランヲ恐レ是カ爲ニ日本人ニ逢フヲ欲セサルニハ非サレ唯官ヨリノ命ナクシテ漫ニ日本人ト對談スルヲ好マサレハ日本人ノ住居スル島ノ近傍ハ旗ヲ建スシテ通過シ彼等カ疑ヲ來サ、ラント欲セシニ悉ク余カ意ト齟齬セリ

○イツルニア島ニ於テ始テ日本人ニ應對スル

六月十七日我五月九日イツルニア島北端ノ西側ニ本艦ヲ近ケタリキ此島ノ灣ヲサーナト云フ屈曲シテ海峽ノ如ク北端ノ地ハ全ク別ノ島ノ如シ英國海軍大佐プロトン氏モ海峽ナルヤ將タ灣ナルヤヲ辨セサリシト見ヘ氏カ調製セル海圖ニモ甚タ分明ナラス故ニ審ニ之ヲ測知セント欲シ地方ヲ離ル、一凡三露里一露里ハ凡九ノ所マテ近ツケリ陸地ヲ回望スレハ人家數十戸アリテ二艘ノ小舟海濱ニ近ツキ往來スルヲ見ル蓋シ此島ニ住居スルハクリーリ人ナラン因テ此島ノ狀況等ヲ訊問セント欲シ端艇ニ兵器ヲ備ヘサセ少尉ムール並ニ航海士補ノウイツキーニ命シ陸地ニ差遣シタリシカ暫アリテ陸地ヨリモ小舟ヲ出シテ我艇ヲ迎ント欲スルモノニ似タリ何故ニ土人ノ我艇ヲ迎フルヤ更ニ其意ヲ解セサレハ本艦ヲ尙ホ陸ニ近ツケ余モ亦少尉ヤクウシキント與ニ兵器ヲ備ヘタル端艇ニ乘リ水兵四人ニ漕セ先ノ端艇ヲ助ケン

トセシカ陸ヨリ出セル小舟ハ既ニムール等ノ乗リタル端艇ヲ迎ヘ直ニ陸地ヲ指シテ漕行ケリ既ニシテ余カ乗リシ端艇モ岸ニ達シ上陸シケレハ豈圖ランヤムールハ既ニ日本人ト對談セリ余之ヲ見テ大ニ驚キケレハムール來リ余ニ言フ此島ニハ我領内ラスシニューア島第十島クリーリ人居レリ彼等ハ去夏風波ノ爲ニ漂流サレタルヲ日本人等凡一年程日本國ニ拘留セシカ其後免シテ本國ニ返サントテ今此所マテ護送レ來レリ此時ムール余ニ指示シテ曰ク彼ハ此所ニ居ル日本國ノ護送兵長官ナリ該長官陣營ヲ離レテ濱邊ニ出テ來レリ其前後左右ニ甲冑ヲ着シ長短ノ劔ヲ帶ヒ鉄砲ヲ持タル者凡二十人許モ警固シテ別ニ列ヲ正サ、レモ各左ニ鉄砲ヲ持チ右ニ火ヲ附ケシ火繩ヲ握レリ余其長官ニ向ヒ我國風ニテ禮ヲ施セシニ彼ハ右ノ手ヲ額ノ邊マテ揚ケ體ヲ前ニ屈メテ是ニ應セリ我等ハ一人ノ通詞ヲ以テ彼ト談話セリ其通詞一人ハクリーリ語ヲ知レル彼方ノ兵卒ナリ又一人ハ少ク露語ヲ解スル我領内ノクリーリ人ナリ長官先ツ問テ曰ク君等ハ何故ニ此所ニ來ルヤ惡意ヲ挾マス詳ニ之ヲ告ケヨ若シ交易ノ爲メニ來ルナラハ此海岸ニ沿テウルビーツニ行ク可シウルビーツハ此島中ノ稍大ナル村落ナリト余答テ曰ク我等ハ碇泊ニ安全ナル港ヲ探テ薪水ヲ求メンカ爲ナレハ其所ニ往テ薪水ヲ積入レナハ即時ニ出帆ス可シ

余斯ノ如ク答ヘシハ我等カ此地ニ來ルノ主意ハ船懸リ宜キ港ヲ探知スルニ托シ
 諸島ヲ巡航シテ詳ニ測量セントノ目的ナレモ日本人ハ我等外國ノ沿海ヲ測量ス
 ル爲メニ特ニ艦船ヲ差遣スル等ノ事ハ更ニ解シ得サルカ故ニ實ヲ告クレハ却テ
 疑心ヲ起サソトテ慮リテ斯ノ如ク答ヘタリ
 且我艦此地ニ來ルモ決シテ疑心ヲ抱ク勿レ其故ハ本艦ハ商船ニ非ス我カ皇帝陛下
 ノ軍艦ナレハ島民ノ爲メニ少シモ妨害ヲ爲スノ意ナシト此時夫ノ長官ハ默シテ余
 カ答ヲ聽キ暫有リテ曰ク今露艦ノ爰ニ來ルヲ見テ如何ソ恬然トシテ其備ヲ爲サ、
 ルヲ得ソヤ何如トナレハ二三年前以前露國ノ船舶日本國ノ村落ヲ襲ヒシコト兩回ナリ
 キ其所ニ在リタル器具物品ハ悉ク之ヲ掠奪シ且ツ人家寺院其他米穀等皆之ヲ焚燒
 シタリ夫レ米穀ハ生命ノ關ル所ニシテ該諸島ニハ產出セス故ニ皆内地ニ仰ク然ル
 ニ第一回ノ暴掠ハ秋末ナレハ最早内地ヨリ船ノ來ラサル時節ナリシヲ以テ冬ノ食
 料ヲ辨スルニ由ナシ又第二回ノ暴掠ハ春ニシテ未タ本國ヨリ食料並ニ要用ノ物品
 ヲ積タル船ノ來ラサル以前ナリ然ニ此慘毒ニ遭ヒタレハ何レモ飢寒ニ苦シマサル
 者ナレト余此言ヲ聞キ以爲ククリイリ人ノ如キ拙キ通辨ヲ以テ之ヲ辨明スルヲ得
 ンヤト大ニ困却セシカ心中ニ一策ヲ生シ先ツクリイリ人ニ向ヒ都テ余カ言フコトヲ

務テ細密ニ通辨シ日本人ヲシテ解シ易カラシメヨト言テ夫ヨリ彼ヲ以テ日本人ニ
 問シニ若シ日本國皇帝ニシテ外國ト戰ハントスルニハ軍艦ハ幾隻兵ハ幾隊ヲ出ス
 ヤト問ヒシニ彼知ラスト答ヘシ故大抵五隻ナルヤ又十隻ナルヤト問シニ彼微笑シ
 テ否尙多カルヘシト答ヘリ依テ余彼ニ言フ然ラハ如何レテ日本人ハ露國皇帝ニシ
 テ僅ニ二艘ノ小船ヲ出シテ日本國ト開戰セシメリト思フヤ露西亞帝國ハ國大ニシ
 テ人民多シ豈僅々ノ小船ヲ以テ島民ヲ襲フノ理アラシヤ然レハ汝ノ村落ヲ襲ヒタ
 ルハ商船或ハ獵船ニシテ其乗員モ我カ皇帝陛下ノ武官ニ非スシテ一巳ノ所爲ナル
 コト更ニ疑ヒナシ故ニ我政府ハ毫モ與知スル所ニ非ス固ヨリ我カ皇帝ハ絶テ知ラサル
 所ナリ彼等ハ此惡業ヲ爲シタル事露ハレ既ニ國法ヲ以テ刑セラレタリ其證ニハ彼
 等兩回ノ暴掠後今既ニ五年ヲ經レモ再ヒ來ルコトナキヲ以テ知ルヘシ若シ我カ皇帝
 實ニ日本國ト戰ハント欲セハ其望ヲ達スル迄ハ相應ニ年々數隻ノ艦船ヲ遣ス可キ
 ニト理ヲ盡シテ述ケレハ日本人モ少シク心ヲ安シタルノ狀ニテ此事今始テ聞ケリ
 汝カ言ヘル如クナレハ今ハ疑ヲ抱ク事ナシ然ルニ其時フオストコトヲ捕ヘ行ケル
 二人ノ日本人ハ今何レニ在リヤト余答テ彼ハ小舟ニテアホーツスクヲ出奔セリ其
 後如何ナリシヤ絶テ其音信ヲ聞カスト彼又曰ク此所ニハ薪水共ニ無シ余モ其近傍

ヲ見ルニ實ニ此所ニハ薪水食料等皆無ノ様子ナリキウルビーツニ往ケハ之ヲ辨スヘシ其所ノ長官ハノ書翰ヲ與ヘン是ヲ持行ケハ薪水ノミナラス米穀又ハ其他ノ食料ヲモ得ヘシトナリ余其懇篤ナル教示ヲ謝シ且此長官並ニ爰ニ列スル者共ニ聊ナル歐羅巴ノ產物ヲ與ヘリ其答禮トシテ又彼ヨリ鮮魚及「サラ」ナノ根ニカムチヤツカ半島士人常食トスルコロコニシテ蝦「ヂ」キ「チ」エスノ「ク」一種並ニ一陶ノ日本酒以テ製シテ飲ム物ハ常ニ烈シキ酒ニ剛レタル人モ精神ヲ失フヲ贈レリ又此酒ヲ出シテ我等ヲ嬰應セリ毎ニ彼先ツ飲テ其盃ヲ我等ニ與フ余モ亦携フル所ノ佛國製ノ燒酎ヲ出シ彼國風ニ隨ヒ毒無キヲ證スル爲ニ自ラ是ヲ試ミテ彼等ニ與フ何レモ甚々賞美シ舌ヲ鼓シテ味ヘリ然レモ多ク飲マス彼等余カ飲タル盃ヲ手ニ取り頭ヲ少シク搖シテ謝意ヲ表シ左ノ手ヲ頭上ニ揚ク余彼等カ持タル火繩ヲ取テ一見シ畢リ手ヲ以テ其小端ヲ得ンコトヲ希望スル狀ヲ爲セシニ即時ニ一把ヲ贈レリ余又未タ長官ノ居所ヲ見スト言ヒシカハ直ニ我ヲ伴ヒ往ケリ其居所ハ甚々低ク屋根ハ覆フニ藁及蒲ノ席ヲ以テシ内ハ晝シテ數室ト爲ス入口ハ各別ニシテ皆南向ヘリ窓無クレハ皆入口ヨリ明ヲ取レリ唯其長官ノ居ル所ハ東向ニテ下ハ美ナル疊ヲ敷キタリ其上ニ我等ハ脚ヲ十字ニ打違ヘテ安坐セリ此室ノ中央ニ大ナル爐ト其側ニ熊皮ニテ張リ

ル箱アリ長官既ニ兩刀ヲ脱シタレハ彼レ我等ヲ實ニ響應スルノ意ヲ知レリ然レモ日已ニ暮レ且本艦ハ陸ニ接近シ坐礁ノ憂アレハ其懇篤ヲ謝シ別ヲ告ケ再會ヲ期シテ直ニ歸艦セリ

余海濱ニ於テ夫ノ長官ト應對セシ時此島ニ住スルクリーリ人等ノ長タイオント稱スル一老人有リ來リ謁ス貌太々恭々此島ノクリーリ人ハ男女凡五十人許アリ何レモ日本人ニ痛ク壓制セラレテ日本人等ノ前ニテハ其坐ヲ立ツテ能ハス又隨意ニ其體ヲ動かスヲ得ス皆一所ニ群居シテ其支配ヲ受ル日本人等ヲ甚々懼レ敢テ仰視シテ一語ヲ交ル能ハス唯脚ヲ曲ケ兩手ヲ膝ニ當テ身ヲ屈シ頭ヲ低ル、ノミ我カ領分ノクリーリ人等ノ我等ニ事ルノ狀モ亦此ノ如シ余彼ト談話セント欲シ我領分ノクリーリ人ヲ以テ若シ日本人等ハ後患ヲ懼ル、ナケレハ余カ艦ニ來ルヘント言ハシメ並ニ我等カ隔意ナキヲ能ク説キ示スヘント命セシニ其意ヲ了解セサリシヤ夫ノクリーリ人等ノ答ニ日本人等ハ未タ露人ノ逆心ナキヲ信スル能ハス尙先年來リシ二艘ノ船ノ如キ暴掠ヲ爲サンカト疑念ヲ抱ケリト云ヘリ余其暴掠ノ顛末ヲ委シク問糺サント思ヒ夫ノ人等ニ向ヒ言フ汝等日本人ニハ尙ホ我等カ内情ヲ探ラン爲メニ本艦ヘ往クト告テ重テ我艦ニ來ルヘント云ヒ聞カセリ

余カ本艦ニ歸リシハ午後七時ナリ一時間ヲ經テクリーリ人等男女四人四歳許ノ少女ヲ携ヘテ本艦ニ來レリ其内一人ハ稍露語ヲ解シ略應對ヲモ知レリ彼等此地ノ長官ヨリウルビーツノ長官ニ贈ル可キ書翰ヲ持來リテ曰ク此書翰ニハ露人等逆意ヲ挾サンテ來航シタルニアラストノ事ヲ記載シアリトテ之ヲ渡シ且ツ曰ク先刻小舟ヲ以テウルビーツニ此事ヲ言送レリト此使ノ舟ハ余モ見受タリ此書翰ハ甚ク厚キ白紙ヲ用ヒ上包ノ長サ六寸五分三厘露ノ一寸ハ我幅二寸四分ノ一程ニ疊ミタリ上包ノ一方ハ三角形ニ紙ノ端ヲ殘シ五分許裏ノ方ヘ折リ返ヘシ糊ニテ封シ其上ニ黒印ヲ捺シ兩面ニ名ヲ署セリ此クリーリ人等ノ話ニ日本人ハ我逆意ナク來リシコトヲ信セス尙ホ先年來リシ商船ノ如クニ亂暴ヲ爲サンカト思ヘリ又日本人ハ露人ノ毎ニ不意ニ我等ヲ襲ヒ多クノ人ヲ殺シ又捕ヘ歸リ或ハ家屋ヲ燒キ器械米酒ヲモ盜ミ取リ我等ヲ飢寒ニ苦シメタリト云ムリ貴官等モ此ノ如キ惡ムヘキ所業ヲ爲スヘキ者ニ非サル事ハ確信シ難キヲ以テ貴重ナル物品ハ悉ク島内ノ與ヘ持運ヘリト此クリーリ人ノ話ヲ聞テ大ニ失望セリクリーリ人等余ヲ慰メテ曰ク日本人皆悉ク露人ヲ憎ムニ非ス唯該島ノ長官並ニ之ニ屬スル二三ノ官吏ノミ露人ヲ強奪者ト見做セリ然レモ畢竟彼等事ニ怯懦ナルカ故ニ斯ノ如キ思慮ヲ起セシナルヘシ蓋シ日本人

ノ露人ニ怨恨ヲ抱クノ狀ハ我等ノ身上ニ就テモ亦タ知ルヲ得ヘシ我等去年ノ夏難風ニ逢ヒ此島ノ海濱ニ漂着セシニ忽チ日本人等出テ我等ヲ捕ヘテ獄ニ繋キ其後屢フオストーフ暴掠ノ事由ヲ詰問セリ我等答フルニ我等ハ少シモ彼カ暴掠ニ與ミシタル者ニハ非スフオストーフノ徒ハカムチャツカ半島ノ者ニテ露國皇帝ノ武官ニ非ス獵船ノ持主ニシテ嘗テクリーリ地方ニ於テ暴掠ヲ爲シタルハ全ク自己ノ所爲ニ出シモノナリ故ニ露國官吏之ヲ捕ヘテ罪ヲ糺シ且ツ日本國ヨリ掠奪セシ物品ハ皆沒収シテ官庫ニ納メタル由ヲ聞及ヘリト辨セシカハ其後ハ日本人モ心解ケテ獄ヨリ出シ米酒煙草衣服其外要用ノ品ヲ與ヘテ扶助シ今ハ本國ニ歸ルヘキノ順風ヲ待チ居レルナリト云ヘリ余彼等ニ燒酎ヲ與ヘシニ二杯ヲ盡シ快ク懷ヲ開ヒテ種々ノ談話ヲ爲ス内ニ冬ノ狩ニ用フル火藥乏シケレハ之ヲ日本人ニ請ヘル與ヘス日本人ハ何ニテモ與フレモ是ノミ與ヘスト喋々已マス彼等強テ余ニ乞ヘル色アリ實ニ狩ニ用フルニ疑ナシト思ヒケレハ余彼ニ火藥一ポンド半煙草硝子ノ珠及ヒ耳鏝ヲ添ヘテ與ヘリ其夜モ十時ナレハ話ヲ止メテ歸ラシム但シ別ル、時モ尙ホ又我等カ逆意ナキヲ日本人ニ告ケヨト精々説諭セリ此クリーリ人等本艦ニ居ル間ニ海軍少尉ビラートヲ陸ニ遣ハシマイオンニ謀リテ煙草ヲ以テ黒百合ト荅葱ニ交易セシ

ム少間有リテ夥シク持歸レリ余之ヲ病人ノ爲メニ貯ヘ置カシム
 六月十八日我五月十日夜海上風無キヲ以テ出發スルヲ能ハス翌早朝小舟有リ白旗ヲ
 延テ我艦ニ向テ來ル余ハ以爲ク日本人我艦ニ訪ヒ來ルナラント相應ニ響應ノ備ヲ
 爲サシメ風モ無ケレハ帆ヲ卸シ其來ルヲ俟ツ八時頃小舟漸ク近クリ是ヲ見レハ先
 ニ白旗ト見ヘシハ白キ疊ナリ舟ノ中ヲ見レハ昨夜船ニ來リテ談話セシクリリ人
 並ニアレキセイマクシモウチユノ外男女數人來レリ凡テ男子ノ服ハ丈長ク幅廣ク
 袖ハ短クシテ廣ク紺地ニ白キ縞アル日本風ノ服ヲ着セリ婦人ハ鳥ノ羽ニテ織レル
 服ヲ着シ背ニトボロトボロク按ニスルニ海國船艙ノ方ノ嘴ヲ糸ニテ繫キタルヲ飾ニ用
 ヒ頭ハ木綿ニテ卷タリ皆ナ海馬ノ皮ニテ造レル筒ノ長キ襪ヲ着ケタリ但シエサウ
 ール長ハ徒跣ナリシカ我等カ前ニ出テルハ同シク襪ヲ着ケタリ余カ前ニ進ミ日
 本人ニ向フカ如ク腰ヲ屈メテ禮ヲ成セリ因テ思フニ徒跣ニテ貴人ノ前ニ出ルハ無
 禮トスルノ習ナルヘシ此エサウールハ年齢五十歳許ナレト甚タ老衰シタル者ノ如
 シ始終其少女ヲ背ニ負ヒ其上ヲ上着ニテ縲ヒ紐ヲ後ヨリ繞ラシ胸ノ前ニ結付タリ
 然レモ手ノ屈伸ニ不便ナルカ故ニ手ヲ鋤カス時ハ其紐ヲ額ニ當ツ之レカ爲メ其額
 ニ當ツル所ニハ帶ノ如キ者ヲ縫付ケタリ男子ノ髪ハ皆ナ濃黒ニシテ我國ノ車夫ニ

彷彿タリ面部其他總体ニ飾ヲ施サス然レ婦人ハ唇ノ周リ幅二分許並ニ兩手ヲ青ク
 染メリ彼等鮭鱈ニアード露ノ一アード我三貫八百四十目外ニ黒百合ト荅葱トヲ少シ添ヘテ我等
 ニ贈レリ

余先彼等ニ日本人ノ舉動ヲ問ヒシニ曰ク昨日貴官等ヨリ贈ラレシ燒酎ニ醉シヤ長
 官ハ今朝マテ熟睡セリ然レモ其餘ノ日本人ハ終夜眠ラスシテ防禦ノ備ヲ爲セリ我
 等日本人ニ露人ノ逆意ナキヲ百方説諭スレモ露人ヲ怨メル心ヲ解ク能ハス其言ニ
 今若シ露人日本人ヲ襲ハ、汝等ハ露國ノ屬下ノ者ナレハ首トシテ汝等ヲ殺戮セン
 ト聲色ヲ厲マシ昨夜ハ嚴ニ我等ヲ禁錮セリ我等ノ外陸ニ居ル者ハ人質トシテ悉ク
 留メ置ケリ今我等ヲ露艦ニ遣ハセシ所以ハ露人何等ノ理由アツテ爰ニ來リシヤ其
 内實ヲ逐一質問スヘキ由ヲ命セリト云フ此者共昨日ノ話ニハ難風ニテ此所ニ漂着
 セシト云シカ今日ノ話ニハ漂着セシニ非ス貿易ノ爲メニ來リシヲ嘗テフオスト
 フノ暴掠セシ故ヲ以テ警敵ト見做サン獄ニ下サレシカ其後宥サレテ本國ニ歸ルヘ
 キヲ逆風ノ爲ニ支ヘラレ此地ニ滞留セシニ我等來リシカハ再ヒ日本人ニ捕ハレ我
 等カ舉動ニ因テハ彼等カ命ヲモ失ハシモ圖リ難シト語レルハ全ク昨日ノ話ト齟
 齬セリ彼等始メ男子七人女子六人小兒二人都テ十五人ニテ此地ニ來リシカ矮陋

ナル小屋ニ禁錮セラレ男子三人女子三人病ニ罹リテ死セリト其病名ヲ問ヒシニ
 彼レ露語ニテ之ヲ説クコト能ハサントモ其話ノ模様ヲ察スルニ皆ツインガ「病」
 ニ罹リシト見ヘタリ日本人等彼ヲ憐ミ直ニ日本ノ醫師ヲシテ治療ヲ加ヘシメタリ
 ト云フ彼等ノ中ニ一人手ニ瘍ヲ發シ足部痙攣ノ症ヲ患シ者アリト日本ノ醫師如何
 シテ是ヲ療セシヤト問ヒシニ初ニ手足ヨリ血ヲ取リタリト余其瀉血セシ道具並ニ
 其用ヒ方ヲ問ヒシニ彼露語ニ熟セサレハ辨スルヲ能ハス余其手足ヲ見ルニ其創口
 愈テ唯、肉脱シタルノミ本艦乗組ナルブランドト云ヘル軍醫ハ醫術ニ最モ老練ノ人
 ニテ彼カ兩手ヲ見テ此肉脱シタルハ全ク他ノ病因ヨリ來ルモノナリト言ヘリ此ク
 リーリ人等ノ話ヲ聽クニ凡テ事理混雜シテ分明ナラサルヲ多シ問答終リテ後切ニ
 彼カ生國第十三島ノラスシューアニ携ヘ行カンコト請フ余彼ニ向テ陸ニ殘セン二人
 ノ婦人並ニ小兒ハ如何スルヤト問ヒシニ默然タリシカ暫クシテ彼等ハ必ス日本人
 ニ殺サルヘケレハ我等ノミ携ヘクレヨト言ヘリ昨夜ハ唯ウループ島ニ行テ狩ニ用
 フル火藥ノ無キヲ語リテ急ニ歸島スルノ念ナク順風ヲ待ツトノミ言シカ今日ノ話
 ヲ聞キ昨夜ノ話ハ皆虛語ナルヲ知ル彼等ハ我カ艦ノ久ク此島ニ在テ氣候ヲ測定シ
 出帆ノ期ヲ待ツトハ素ヨリ知ラサル所ナラン今ヤ海上風無ク且ツ雲霧毎ニ深ケレ

ハイッループ島ヨリウループ島ノ間ハ僅ニ六七里ニ過キサレモ行クコト能ハス然
 ルニ彼等ハ羅盤ヲ所持スルカ故ニ雲霧ヲ恐レスト云ヘリ實ニ彼等ハ其羅盤ヲ重シ
 シ須臾モ手ヨリ離サス我カ艦ニ來ルニモ毎ニ之ヲ携帶セリ

此羅盤ハ圓キ箱ニ入レ其徑凡三チユイム唯、方位ヲ分ツノミニテ度數ヲ刻セス確
 子ニテ蓋フヘキ所ニ雲母ヲ張り又引出シ附キノ外箱ニ納ム此器ハカムチヤツカ
 ニテ得タリト言ヘリ

彼等ノ話ハ前後混雜スレモ其大体ヲ察スルニ若シ我等日本人ヲ襲ハントセハ我屬
 下ノ者ナル故日本人等忽チ彼等ヲ刑スルハ必然ナリトシ彼モ亦我等カ日本人ヲ襲
 ハントスル念慮アリト思フト見ヘ我等ニ依リテ此難ヲ免レン爲メ妻子ヲモ殘シ已
 等ハ余カ艦ニ止リテ恙ナク我等ト共ニ歸島センヲ欲スルナルヘシ余彼ニ向ヒテ
 我等ハ日本人ニ向テ決レテ害ヲ爲ス事ナクハ日本人モ汝等ヲ殺サ、ルヘシ我等
 ノ此地ニ來ルハ唯、安全ノ港灣ヲ探リ其所ニ於テ薪水ヲ貯藏スルノ一點ニ在レハ毫
 モ邪心ヲ挾ムニ非ス薪水ヲ貯藏スレハ速ニ此所ヲ去ルヘシ尙我等ノ惡意ナキハウ
 ルビーチニ於テ能ク日本人ニ陳述スヘシ故ニ恐ル、事ナク元ノ如ク歸レト諭シ且
 ヲ日本國ノ長官ハ殊ニ佛國製ノ燒酎ヲ嗜ムト聞ク此四邊ヲ贈ルヘシ汝齋シテ彼ニ

届クヘシト命シ別ニ臨ンテ汝等ノ内一人此艦ニ止リテウルフ島ニ於ケル安全ノ港ヲ教ヘ又ウルビーチニ航スル時モ余カ通詞ヲランヲ欲セサルヤト問ヒシニ皆留ランヲ請フ然レモ之ヲ許スヲ能ハス論シテアレキセイ一人ヲ留ム彼等深ク余カ日本ヲ襲撃スルノ謀アリト見做シ其中ノ一人別ニ臨ミテ懇ニ余ニ言ヘルハウルビ一チニハ大砲數門ヲ備ヘタリ其所ニ到ラハ直ニ之ヲ放ツナラント又一人ハ彼所ニ備ヘシ大砲ハ唯一門アルノミト言ヘリ

○クナレリ島ニ向航スルヲ

六月十八日午後ニ至リ天晴レ南風頗ル強クレハウルフ島ノ東岸ヲ測量セント欲シ先ツ悉ククリーリ人ヲ送り返シ夫ヨリ本艦ハ帆ヲ揚ケ東ニ向ヒシカクリーリ人ハ本艦ヲ距ル五町許ノ所ヨリ手ヲ揚ケ大聲ヲ發シ余カ艦ヲ招ケリ余クリーリ人等ノ小舟破損スル所アリテ余カ艦ヲ招クナラント察シ之ヲ救ハント艦ノ進行ヲ止メシカ彼等余ニ向テ曰ク貴官等若シ日本人ニ仇セハ我等ハ必ス日本人ニ殺サルヘシト尙疑念已マサレハ余懇懇ニ彼等ヲ諭シタリ彼等ノ性質ハ愚昧ニシテ一度胸間ニ思ヒ込ミシハ容易ニ解ク難シト見ユ別ニ臨ミ彼等ハ舟中ヨリ各大聲ヲ發シ無事ヲ祝シ又日本人ニ殺サレヌンハ貴官等ニ再會シ貴官等カ爲ニ漁獵ヲ爲シ黒百合并

ニ答惹等ヲ探ラント言ヒ其情頗ル慘然タリ
イツループヲ發シテウループ島ニ到リ該島ノ沿岸ヲ測量スルコト三日デフリーザ
ノ海峡ヲ過キテウルピーチニ向ントセシカ逆風烈クシテ進ム能ハス依テ本艦ヲ南
ニ向ケイツループ東岸ニ沿ヒテ該島ヲ測量セリ然ルニ通辯ノ爲メ携ヘ來レルアレ
キセーハ尙ホ我等カ心中日本人ヲ襲フノ謀アリト疑ヒ時々余ヲ誣スルノ意アリ余
以爲ク口舌ニテハ彼等ノ疑念ヲ解キ難カルヘシ實事ヲ以テ感セシメント欲シ或日
艦内ニ於テ操練ヲ爲シ乗員ヲ分テ三分隊ト爲シ其第一分隊ハ大形ノ小銃其第二分
隊ハ小形ノ小銃其第三分隊ハ拳銃ト給トヲ持セ各隊ヲレテ火藥ヲ裝填セシメ齊ク
銃ヲ放ツアレキセー大ニ恐怖ス余乃チ彼ニ諭シテ曰ク我等素ヨリ日本人ニ向テ襲
撃ヲ爲スニ非ス却テ日本人ノ爲メニ襲撃セラレノヲ恐ル、カ故ニ其防禦ノ爲メ
操練ヲ爲スナリ彼レ我ト好ヲ構セハ我モ亦相親シマン何ソ彼ニ仇センヤト謂ヒシ
ニアレキセー其意ヲ曉リシモノニ似タリ然レモ疑念未タ全ク解ケス余彼レニ日本
人ト貿易ノ願末ヲ問ヒシニ秘シテ告ケス或時余彼ト茶ヲ喫シ雜談ノ際彼偶然日本
人ト交易ノ事ヲ語レリ凡ソ彼等ニ問フニ威ヲ示シテ詰問スルヨリハ寧ロ談笑ノ中
ニ於テ之ヲ問フニ若カス彼等カ不意ニ語リシ事ハ却テ實事多ケレハナリ故ニ余ハ

他ノ談話ニ就キ舒ニ余カ欲スル所ニ誘ヒ終ニクリーリ人ノフオストロフ暴掠以前
 日本人ト貿易セシ概略ヲ聞キ得タリ其貿易ノ始ハ年代等詳ナラサレモ互ニ官吏ヲ
 派シ條約ヲ定メシト見ユ其貿易品ハ獵虎海豹ノ毛皮、鷲ノ尾及ヒ翼、狐ノ毛皮等ナリ
 日本ハ狐皮ヲ購買スルヲ甚ダ日本人ヨリ得ル所ノ物品ハ米穀、木綿、煙草、煙管、漆器
 及ヒ衣類、雜具等ナリ日本人ハ米ヲ大俵ト小俵トニ造リ小俵ハ三俵ヲ以テ大俵ノ一
 俵トス大俵ハ一人ノ力ニテ負フニ堪ヘル重サナリト是レヲ以テ察スレハ凡ソ四
 丁^テド餘^レノ四^テ丁^ハ凡^ソ我^レ四^百三^十九^分ニ當^ルモアルヘシ此貿易ハ日露
 兩國人民ノ欲スル所ニ任セ互ニ凌辱シ又ハ抑壓スルナク然シテ其價ノ如キモ歲々
 略均一ニシテ大ナル高下アルコトナリト云フ物品交易上クリーリ人日本人ヨリ得ル
 所ノ價額概テ左ノ如シ

- 最大獵虎ノ毛皮一枚 大俵ノ米十俵
- 海豹ノ毛皮一枚 小俵ノ米七俵
- 鷲ノ尾十個 小俵ノ米二十俵或ハ絹ノ上着一枚
- 鷲ノ尾三個 綿ヲ入レタル木綿ノ上着一枚
- 鷲ノ翼十個 煙草十把

クリーリ人ハ甚ダ煙草ヲ嗜ミ摘テ口中ニテ嚼ミ或ハ鼻ニ容ル、モアリ又日本
 人ニ倣ヒテ煙管ニテ喫スルモノアリ

日本人ハ鷲ノ尾及ヒ其翼ヲ以テ箭ヲ造ル故ニ之ヲ尙ヒ其價貴シ又歐羅巴ノ器具物
 品ヲ好ミ高價ニ購入ス然モクリーリ人ハ之ヲ所持セス然シテ其器具物品ノ重ナル
 モノハ各種ノ羅紗^切珠^ニ淡^紅色^ノ羅^紗チ^好ム其^羅紗^ハ凡^ソ二^尺許^ニ琥珀ノ珠ヲ糸ニ貫
 キタル頸飾、硝子器及ヒ鐵器等ナリ

余アレキセーニ彼等カ獵虎獵ノ有様ヲ問ヒシニ往時ハ獵虎頗ル多カリシカ近來ハ
 次第ニ減少セリト余アレキセーノ言ニ就テ考ルニ近時亞墨利加獵虎獵會社ヨリモ
 獵師ヲアレウ^ツ諸島並ニ亞墨利加ノ海邊ニ出スト雖モ此獸ヲ獲ル甚ダ少シト聞
 ケリ是レ年一年ニ増加セル獵民ニ驅逐セラレ人ノ眼光ニ怖レテ今ハ漸ク南海ニ出
 テ亞墨利加ノ西北ナル島嶼ノ海峽間ニ移リシナラン倍テ彼等獵虎ヲ獵スルニハ夏
 日風波ノ靜ナル間ハ小船ニ乗シ弓ニテ之ヲ射冬ハ岸ヨリ射殺シ或ハ獵虎ノ伏スル
 岩石間ニ網ヲ張りテ之ヲ捕獲スト云フ又彼等黒褐色、淡黑色、或ハ赤色ノ狐ヲ獵スル
 ニ其方法三種アリ一ハ獵銃ニテ射殺シ一ハカムチャツカ半島ニテ捕ル如ク平地ニ
 穴ヲ穿テ餌ヲ容レ上ヨリ利キ鐵ノ尖ヲタルモノヲ設ケ狐來リテ餌ヲ取レハ其上ノ

尖鐵ニ壓撃セラル一ハ狐ノ跡ヲ見出セハ其處ニ罟ヲ設ケテ傍ニ海鷗ヲ縛リ置キ其罟ヲ破リテ逃レ去ラサルカ爲メ人ヲシテ之ヲ窺ハシム狐海鷗ノ羽ウツヲ聞キ躍リ來リテ海鷗ヲ獲ントシ罟ニ陷ルナリ露國ニ産スル「ベセーツ」狐北極ハ總テクリーリ諸島ニハ産セス故ニ土人其皮ヲ見テ白狐ナリトス又海馬及ヒ「チルハ」海豹ノ一種ノ類ハ弓ニテ之ヲ射ル鷲ヲ捕ルニハ冬時ニ小屋ヲ造リ其上而ニ口ヲ開キ内ニ海鷗ヲ縛リ置ク鷲海鷗ヲ見テ飛ヒ降り之ヲ抓ミ食ハントスルニ乘リ射殺スルナリクリーリ諸島ニ鷲ノ來ルハ冬ニ限り夏ニ至レハ皆ナカムチャツカ半島ニ集ル同島ノ河流ニハ鷲ノ餌トナルヘキ魚類多シ故ニ斯クノ如ク多ク輻輳スルト云フ凡テクリーリ人等ノ獵虎海馬海豹及狐鷲ノ類ヲ獵スルハ皆交易ノ爲ニシテ食料ノ爲ニスルハ鷹鴨チビノ諸獵並ニ漁業ナリ然レモ我カ所領ノクリーリ諸島ニハ魚類甚ク少ナシ又第十三島ラスシユニア島及ヒ第十四島ウシシール島ノ海邊ニハ一種ノ魚ヲ産スルニ過キス島人之ヲシールボークト呼フ巖間ニテ釣ル大サ鮭ノ如ク其肉赤シ鷹鴨ノ類ハクリーリ人等多ク獵セス此レ其捕ルノ方法容易ナラス且ツ彈藥ヲ要スレハナリ

カムチャツカ並ニクリーリ土人ノ用フル銃ハ皆火繩ヲ用ヒ且ツ如何ナル小島ニテモ散彈ヲ用ヒサルカ故ニ中ルコト稀ナリ又火藥ノ量モ少ク彈丸モ小ナリ

火藥「フント」ニ「フント」ハ凡我鉛ニ「フント」ヲ凡ソ百發餘ニ用フルナリ

「トボロク」鳥名「類」スタリチヨ「トボロク」北方ノ並ニ彼方言ニテ「マウリドル」ト名クル鳥ノ

如キハ皆ナ其巢ニ就テ捕フルナリ

ビユフオン氏著ノ博物誌ヲ見ルニ此「マウリドル」ト名クル鳥ニ少シモ似タル者ナキ

故其形状ヲ爰ニ擧ク其大サ鳩ノ如ク背ト翼ノ上ハ黒色ト濃綠色ト相混シ胸ト翼ノ

下ハ灰色ナリ翼ハ長クシテ中ニ節アリ開ケハ其廣サ二呎八吋又嘴ヨリ尾ニ至ル長

サ一呎一吋アリ跗ハ三岐ニ裂ケ薄膜ニテ連接セリ爪ハ太タ小ナリ後ニ小キ爪ニ似

タル指アリ足ハ鉛色ニシテ嘴ハ黒ク尖リ其端ハ下ニ曲リ上部ノ嘴ニ二孔アリ

凡ソ一日ノ中一人ニテ捕フル所四五十羽トス此皮ヲ剥キ縫合セテ男女ノ衣服ニ製

ス又此皮ヨリ油ヲ煎シ取り肉ハ焙リテ冬ノ食料ニ貯フ此肉及ヒ菟葉、胡、黑百合、淡菜

ノ類其外種々ノ草根貝類海草等皆彼等カ常食ナリ又日本ヨリ交易ヲ得タル米ヲモ

時々食スルナリ

凡テ我所領ノクリーリ諸島ノ土人ハ皆髭ヲ剃レリ然ルニイツル「ブ」ニ在リシクリ

「リ」人ハ群長「タイ」ンニ倣ヒ髭ヲ長ク垂レタリアレキセイモ既ニ余ノ艦ニ留ルコ

トニ定リケレハ我所領ノクリーリ人ニ倣ヒ髭ヲ剃ント請ヒシカハ之ヲ許セリ且ツ

與フルニ病死セル水兵ノ衣服ヲ以テセリ
 スムシユウ並ニバラムール島ノ土人ハカムチャツカ半島土人ノ如ク犬ニ乘リ
 行クヲ知レドラスシユニア及ヒウシシル島ノ土人ハ其法ヲ知ラス然レド狐ヲ
 狩スル爲メ犬ヲ多ク飼養セリラスシユニア土人ハ最モ狐狩ニ熟セリ又ウシシル
 島ニハ狐ヲ産セス其土人ハ皆ナ諸島ニ渡リテ之ヲ獵ス然シテラスシユニア及ヒウ
 シシル島ノ土人ハ犬ノ皮ヲ以テ服ヲ製スト云フ

○日本人ニ拘ラル、（舊曆七月八日）

アレキセイ余ニ語テ曰ク南方ノ第二十島クナシリニ艦船ノ碇泊ニ便ナル良好ノ灣
 アリ又市邑アリテ薪水米穀野菜ヲモ容易ニ辨スヘシト依テウルビーチニ航スルヲ
 止メ直ニクナシリ島ニ向ハント決セリ抑モ歐洲ノ航海家ト雖モ未ダ曾テ北海道ト
 クナシリ島トノ間ヲ詳ニ測量セシ者アラス又歐洲人ノ調製セシ海圖等ニモ皆ナク
 ナシリ島ヲ以テ北海道ニ接続セシ地ト爲セリ且又プロトン氏ノ海圖ニモ此誤ヲ正
 サレハ余北海道トクナシリ島トノ海峽及ヒ其港ヲモ詳ニ測量セント欲シ方向ヲ
 轉セシナリ又一ニハ艦内ニ貯蓄スル食糧ノ内軍用麵包四、（凡我五十七日）麥六
 俵餘ハ鼠ノ爲メニ食ハレ艦底ニ積メル食糧ヲモ久シク検査セサルヲ以テ若シ不足

ヲ告レハ之ヲ購ハント欲シ急ニ針路ヲクナシリ島ニ向ケタレモ連日逆風又ハ天陰
 リテ雲霧深ク艦ノ進退意ノ如クナラス空シクイツルイブクナシリ、チコタン諸島ノ
 海上ニ漂ヒ展、島嶼ヲ雲霧中ニ見タレモ孰レノ島タルヲ確認スル能ハス七月四日始
 テ北海道トクナシリ島トノ海峽ニ到リ日暮クナシリ島灣ノ東岸ニ長ク突出タル砂
 洲ヲ認シカ夜間入港セハ日本人等ノ騒擾ヲ招カン、（我五十七日）長レ途ニ港外ノ海峽ニ碇泊
 セリ日本人等ハ港口ノ岬ニケ所ニ終夜烽火ヲ放テリ察スルニ是レ我艦ノ入港スル
 ヲ信號セルモノナル可シ翌日、（我五十七日）未明ニ艦ヲ進メ入港セシカ俄然陣營ヨリ
 大砲ヲ放テリ幸ニシテ本艦ニ達セズ彈丸海中ニ墜チタリ因テ考フルニ日本人等斯
 ノ如キ舉動ヲ爲スハ未タイツルイブ島ノ官吏ヨリクナシリ島ノ官吏ニ我等カ來航
 セシ、（我五十七日）ヲ告知セサルカ故ニ斯ノ如ク粗暴ヲナスナラント情テ港内ハ霧深クシテ咫
 尺ヲ辨セサレハ再ヒ港外ノ海峽ニ投錨セリ幾モ無クシテ天晴ル、（我五十七日）ヲ以テ艦艇ヲ出
 シ港ノ淺深ヲ測量シ陣營ヨリ大砲ノ彈達距離内ニ近ヅケモ彼方ヨリ大砲ヲ放タス
 該陣營ハ黑白又ハ紺條ノ廣キ幕ヲ張レリ又大ナル板ヲ以テ處々ニ樹テ之レニ銃眼
 ヲ畫キテ砲台ノ狀ヲ示セトモ其製極メテ拙ク之ヲ遠望スルモ砲臺タラサルヲ知ル
 可シ陣營ノ地ハ稍低ク前ニ堤ヲ築キシヲ以テ屋宇ノ數ハ確認シ難ケレモ唯長官ノ

第宅トモ思フ可キモノハ屋上ニ大小ノ旗旛數百ヲ翻ヘセリ陣營外ノ家ニハ旗ヲ建
テタルトモ其數少シ日本人ノ此ノ如クスルノ何故ナルヤ其理由ヲアレキセイニ問
フニ明言セス唯外國船或ハ貴顯ノ人入港スル時ハ毎ニ此ノ如キ飾ヲ爲ス風習ナリ
ト云ヘリ陸ヲ距ル凡ソ二十町許ノ所ニ本艦ヲ進メ投錨シ航海士補スレイヅノイト
共ニ水兵四人及ヒアレキセイヲ艦艇ニテ陸ヲ距ル凡ソ五十尋ノ所ニ到ラシメシニ
俄然陸上ヨリ余カ艦艇ニ向テ大砲ヲ放テリ依テ水兵等ニ命シテ急ニ艦艇ヲ潛キ戻
セリ其ノ初發ノ彈丸ハ鳴リ渡リテ余カ耳ノ傍ヲ過タリ日本ノ火藥ハ甚タ惡キト見
ヘテ煙甚タ黒シ本艦ニ殘レル副長海軍少佐リコールツ砲聲ヲ聞キ余カ乗リタル端
艇ヲ援ケントシ端艇ニ兵器ヲ載セ來レリ然レトモ日本人放ツ所ノ砲彈幸ニ余カ
乗タル端艇ニ中ラサレハ其援ヲ得ルニ及ハス余カ端艇ヲ返スニ當リ既ニ彈丸ノ達
スル距離ヲ出ツルト雖モ日本人ハ余カ端艇本艦ニ達スル迄ハ間斷ナク發砲セリ抑
モ僅ニ七人ノ乗タル端艇ニ數門ノ大砲ヲ放テタルハ實ニ事理ヲ辨セサル野蠻人ノ
所爲ト謂ツ可シ余幸ニ免カルト雖モ若シ一發ニテモ余カ艇ニ中ラハ艇中ノ人
ハ悉ク粉齏ト爲ラン此ノ如キ日本人等ノ不法ニ對シ實ニ憤怒ニ堪ヘス余既ニ一決
シテ此恨ニ酬フ爲メ陣營ニ向テ試ニ大砲一發ヲ放タシメ尙ホ本艦ノ位置ヲ好キ方向

ニ移サンコトヲ命セシカ此時熟考スルニ此恨ヲ報ヒルハ未タ遲シトセス且ツ本國政
府ノ命ヲ受ケスシテ私闘ヲ爲スハ不正ナリト俄ニ反省シテ本艦ヲ遠ク陣營ヨリ離レ
シメタリ此時余ハフト物体ヲ以テ日本人ニ我意ヲ示サント心付キ翌六日空桶ヲ二
分ニ區割シ一方ニハ水ヲ盛リタル玻璃杯ト薪ノ小片並ニ一握ノ米ヲ容レタリ是レ
米及ヒ薪水ヲ欲スルコトヲ諭スノ意ナリキ他ノ一方ニハ西班牙國ノ銀錢及ヒ赤羅紗
ノ小片水晶器硝子ノ珠ヲ納レタリ是レ銀錢其他ヲ以テ價ヲ償フノ意ヲ示サンカ爲
メナリ又其上ニ少尉ムールノ密書ニテ我艦ノクナシリ島ノ港ニ入り端艇ヲ以テ全
島ノ附近ヲ測量セシ時陣營ヨリ大砲ニテ發射セラレシモ我艦ニ於テハ砲撃セス陣
營ヨリ發射セル砲彈ハ我艦ノ上ヲ過キタル所ノ圖ヲ添ヘタリ是ヲ以テ少シク彼等
カ不法ノ所爲ヲ諷センカ爲メナリ此桶ヲ人家ノ前ニ浮カメシカハ日本人等ハ即時
ニ是ヲ取リ上クテ陣營ニ持行ケリ其答ヲ得ントシ翌日端艇ニ不慮ニ應スヘキ軍備
ヲ爲シ彈遠距離内マテ進ミタルニ本人等少シモ我端艇ニ心ヲ留メサルト見ヘ陣營
ヨリ一人モ出テ見ル者無シ陣營ハ前日ノ如ク幕ヲ張レリ余是ニ於テ百方心ヲ盡シ
何如ナル事情アリトモ其答ヲ得ント決心シ亦彼等ニ於テモ答ヘサルノ理ナシト思
考セリ余曩キニイツルコトヲ島ニ在リシ時日本人ニ邂逅シ其長官ヨリ薪水食料等ヲ

得ヘキ爲メウルビイチノ長官ニ遣ハス可キ書翰ヲ與ヘシハ全ク彼カー己ノ計ヒト見ヘタリ我等ハ彼カ言ヲ信シ薪水食料等ヲ得ント欲シ此所ニ來リテ半月餘ノ光陰ヲ徒費セリ其日數ヲ經ハアホーツスクニ行クヲ得ヘシト雖モ今ニ至リ臍ヲ噬モ及フナシ又艦内ニ貯蓄セル食料ハ既ニ缺乏ヲ告クルヲ以テ價ヲ出シテ之ヲ購ハントスレハ日本人ハ我艦ヲ敬視シ其需メニ應セス又彼等ニ告クルニ毫モ邪心ナキヲ以テスルモ更ニ返答ヲ得ス實ニ進退維レ谷ルノ域ニ至レリ余艦内ノ諸士ト議スルニ孰レモ政府ノ命ヲ俟タスシテ私ニ兵ヲ用フルハ不正當ナル旨ヲ述ヘヨリ余モ固ヨリ同意ナレハ遂ニ一決シテ艦ヲ退ケシム其後副長リコールヅニ兵器ヲ備ヘシ艦艇ニ乘リテ港口ノ漁村ニ至リ西班牙國ノ銀錢及ヒ貨物ヲ以テ薪水及ヒ米穀ニ易ヘ來ル可シト命シ余ハ本艦ヲ陸地ニ近ツケ帆ヲ揚ケ若シ日本人等リコールヅノ上陸ヲ拒マハ武威ヲ以テ薪水米穀ヲ講求セント決セリ然ルニ此漁村ハ極メテ寂寥トシテ土人ヲモ見サレハリコールヅハ其處ニ在リシ雨水ト薪並ニ少シノ米ト乾魚トヲ取リ其價ニ歐羅巴産ノ貨物ヲ殘シテ歸リ來レリ其取リ來リシ物品ト殘レ置ケル貨物ノ價額ヲアレキセイニ問ヒシニ殘シ置ケル貨物ノ價ハ遙ニ倍セリト謂ヘリ其後余日本ノ住スル家屋ノ模様ヲ視ント欲シ上陸シテ其村落ニ到リシカ先ニリコールヅ

ノ強シ置キタル貨物ヲ見サレハリコルツ歸リ去ルノ後日本人來リシト見ヘタリ
然ラハ陣營ニテモ我等カ此處ニ來リシハ奪掠ヲ爲スニ非サルコトヲ悟レルナラン
ト竊ニ喜ヘリ此港口ニ在ルニケ所ノ漁村ハ漁具並ニ鹽醃乾脯又ハ糞沬等ノ器械ア
リ日本人ノ用フル網ハ殊ニ大ナリ又漁獵ニ用フル小舟及ヒ油ヲ盛ル大小ノ桶其他
諸具ノ整頓セルコトハ余大ニ驚愕嘆稱セリ

七月八日我六月一日陸ヨリ送レル桶ヲ見出セリ依テ直ニ鎗ヲ揚ケ艦ヲ進メテ之ヲ取リ
啓キ見レハ内ニ蠟引キ布ニテ包メル箱アリ之ヲ啓ケハ三葉ノ紙有リ其一葉ハ日本
文字ノ書翰ニテ索ヨリ解シ能ハス其二葉ハ孰レモ港内及ヒ陣營ヲ寫シ我艦ヨリ浮
ヘタル桶並ニ之ニ向テ漕キ寄セシ端艇ト旭日トヲ書キタル圖ナリ唯其異ナル所ハ
一葉ハ陣營ヨリ大砲ヲ放チタル圖一葉ハ大砲ヲ後ニ向ケタル圖ナリ孰レモ集リテ
此圖ヲ評セシニ日本人等我等ヲ厭ヒ應對ヲ好マストノ意ナルヘシト謂ヘリ余カ考
ニハ前ニ我方ヨリ陣營ノ前ニ桶ヲ浮メタル時ハ其舟ニ大砲ヲ放タサレ再ヒ來リ
テ桶ヲ浮ムル時ハ大砲ヲ放ツノ意ナルヘシト覺ヘタリ後本艦ヲ港ノ西岸ニシテ水
流アル所ニ移シ鎗ヲ卸シ兵器ヲ備ヘタル端艇ヲ出シ置キ水兵ヲシテ終日水ヲ汲マ
シメタリシニ日本人等ハ之ヲ支ヘス唯陣營ヨリ二三ノクリーリ人等ヲ出シテ我等

ノ勳靜ヲ觀察セシメタリキ
同九日ノ朝用水ヲ汲取ラント端艇ヲ出シテ上陸セシニ暫アリテ陣營ヨリクリーリ
人ヲ遣セリ此クリーリ人ハ恐懼セシ狀ニテ右手ニ十字架ヲ持チ左手ニテ胸ニ十字
形ヲ畫キ徐歩シ來レリ彼ハクジマト呼ビ者ニテ我屬地ノラスシューア島ニ兩三年
モ住居シ聖教ヲ學ヒタリ嘗テ露人ノ十字架ヲ尊敬スルヲ聞シヲ以テ此法ヲ修メテ
露人ニ使セハ兵器ニモ勝ルト思ヒシナラン大尉ルダイコフ出テ、クジマヲ迎ヘ甘
言ヲ以テ應對セシニ彼レ戰慄シテ措ク處ヲ知ラス予モ亦自ラ應對セシカアレキセ
イヲ伴ハサルヲ以テ余カ意ヲ通スル能ハス又本艦ニ伴ヒ去ラント欲スルモ彼カ好
マサル所ナレハ頗ル所置ニ苦メリ幸ニ彼僅ニ十言ニ足ラサル露語ヲ演ヘ且ツ手ヲ
以テ口ニ換ヘ余ニ陣營ノ長官雙方ヨリ同人數ヲ出シ舟中ニ於テ余ト對談セン事ヲ
欲スルノ意ヲ示セリ余大ニ悦ヒ其旨ヲ承諾セシ由ヲ答ヘ且彼ニ贈ルニ糸ニ貫キタ
ル球ヲ以テス彼カ心少ク氷解セシト見ヘ余ニ烟草ヲ乞ヘリ既ニシテ日本人陣營ノ
前ヨリ桶ヲ水上ニ浮ヘリ然ルニ其桶砲臺ニ甚々近ケリ行テ是ヲ取ルモ危險ナリト
思ヒ猶豫シテ陣營ノ方ヨリ舟ノ來ルヲ待チシニ陸ヨリ白旗ヲ以テ我等ヲ招ク者ア
リ依テ先ニクリーリ人ノ手ヲ以テ示シタル事ハ全ク余カ誤解ナルヲ知ル然レモ既

ニ歸艦ノ期ナレハ本艦ノ方ニ向ヒ小舟ヲ進メシニ陸ノ方ヨリ小舟ヲ漕キ出セリ舟
中ニハ日本官吏ト通辯ヲ爲スクリイリ人乗組メリ其人數ヲ見ルニ我艦ノ人數ヨリ
モ多シ然レモ我艦ニハ兵器ヲ備ヘタレハ恐ル、ニ足ラス日本人ハクリイリ人ヲ以
テ前キニ我等カ陸ニ近ツキシ時大砲ヲ放チシ罪ヲ謝シ且我等ヲ敵視スル所以ハ兩
三年前二艘ノ露船來リテ上陸シ大ニ亂暴ヲ爲セシ故ナリ今我等ノ所爲ヲ見ルニ
先年來リシ者ノ所行トハ大ニ異ナレハ我等ヲ敵視スルノ意ハ悉ク氷解セリ依テ何
事ヲ問ハス此所ニ於テ調理スヘキ事件ハ其意ニ任スヘシト言ヘリ故ニ余アレキセ
イヲシテ獲キニ日本ニ來リテ亂暴ヲ爲セシハ商船ニシテ我政府ノ命ニ非ス彼等カ
私意ニ出テシヲ以テ其船長ハ既ニ刑セラレシ事ヲ告ケシメ且前ニイツル一ツ島ニ
於テ日本人ニ諭セシ如ク其信實ナルヲ表セシニ彼大ニ余カ言ニ服シ露人ノ日本人
ニ對シ惡心ナキ事ヲ悅ヘリ余又彼ニ向テ前ニ上陸セシ時諸品ヲ取り去リタレモ之
ヲ償ハンカ爲ニ物品ヲ殘シ置キシカ取り去レル品ヨリ不足ニハ非スヤト問ヒシニ
彼答テ曰ク取去レル物品ハ僅々タル者ニシテ其償ハ過ニ之ニ過キタリト彼又曰ク
何品ヲ問ハス必用ノ物品ハ其欲スル所ニ隨ヒ我長官ヨリ之ヲ贈與スヘシ其欲スル
所ヲ問フト余答フルニ米十俵并鮮魚野菜等ヲ以テス且ツ其報酬ノ如キハ彼等ノ欲

スル所ニ任セ償フニ銀錢ヲ以テセン彼曰ク今ヨリ陣營ニ來リ長官ト應對スヘシト
 余懇ロニ之ヲ謝シ明日ヲ以テ我艦ヲ陣營ニ近ツケ上陸シ應對セント約セリ余前ニ
 クリイリ人ノクジマニ烟草ヲ與ヘント約セシカハ之ヲ與ヘシニ日本役人ノ許可ヲ
 得サレハ敢テ取ラス其役人モ亦之ヲ許サスト余日本人ニ語ラント欲スル事多ケレ
 用アレキセイ夫ノ小舟ニ在リテ知音ノ者ト顯ニ談話シ余カ語ラント欲スル事ヲ通
 辯セス空ク時刻ヲ移セリ

余日本人ニ別レタル後アレキセイ夫ノ舟ニ居ル日本人ヨリ親ク聞キシ事ヲ余ニ語
 レルハ日本人等我艦ノ來ルヲ見テ甚々恐怖シ再ヒ亂暴ヲ爲サンカト疑ヒ大ニ周章
 シ諸具ヲ運搬シ山ニ藏セリト藝キニ我艦ニ大砲ヲ放テルハ唯、恐怖ニ出テ前後ヲ省
 ミサルノ致ス所ナリト又米薪等ヲ取ンカ爲メニ上陸セシ時ハ亂暴猖獗ヲ爲シ家屋
 ヲ燒拂フ等ノ所爲アラシカト漁村ノ人民皆之ヲ思ヒシニ端艇ノ去リシ後毎戸ヲ檢
 セシニ毫モ異狀ナク米薪魚等ヲ取リ去リレモ之ニ酬ユルニ高價ノ物品ヲ殘セシカ
 ハ之ヲ見テ大ニ喜ヒ始テ安堵ノ思ヲ爲セシト余思フニ大砲ヲ放チシハ一ハ恐怖ノ
 餘ニ出テ一ハ我端艇ノ中ニモ兵卒ヲ備ヘシト疑ヘナラン我端艇ハ最モ少形ニシテ
 且ツ兵ヲ潜伏セシムルノ餘地モナケレ用唯々恐怖ノ餘恐クハ風鶴ノ思ヲ爲セシナ

ラン然ラスンハ吾等ノ上陸ヲ俟テ據ト爲スモ容易ナルヘキナリアレキセイ余ニ語
 リシハ日本人ハ露人ヲ恐ル、事虎狼ノ如ク露人ハ砲術ニ長シ其技ノ敏捷ナルハ既
 ニフオスト一フ亂暴ノ時はヲ知レリト日本人等毎ニ語リシト云フ

七月十日三六明朝用水ヲ艦内ニ運搬シ了ルヲ以テ本艦ヲ陣營ノ方ニ寄セントセシニ
 風力俄ニ變シ進ム能ハス時ニ日本人小舟ヲ出シ遙ニ手ヲ以テ我等ヲ招キ對談セン
 事ヲ欲スルノ狀ヲ示セリ依テ速ニ端艇ニ乘リ之ニ赴カントセシニ夫ノ小舟ハ桶ヲ
 海上ニ浮テ去レリ其桶ヲ取リ啓テ之ヲ見レハ前ニ米薪等ヲ償ンカ爲メ殘シ置キシ
 物品並ニ最初桶ニ納レテ贈レル物品ナリ依テ復其上ニ銀錢十八ト東印度製ノ絹布
 ヲ加ヘ再ヒ之ヲ浮ヘ既ニ本艦ニ歸ラントセシ時日本人又白キ扇ヲ以テ我等ヲ招キ
 上陸セヨトノ意ヲ示セリ余ハ四人ノ水兵ニ命シ艇中ノ武器ヲ帆布ノ下ニ隠シ且ツ
 不虞ノ備ヲ爲シ端艇ヲ進メ陣營ヲ距ル凡七八十尋許ノ所ニ到リ艇内ノ者ニ命シ端
 艇ヲシテ潮ニ乾上ケラレサルカ如クナサシメ且日本人ヲシテ之ニ觸ル、ヲ禁セシメ
 余カ往ク所ニ注目シテ命令ヲ待ツヘシト告ケアレキセイト水兵一人トヲ伴ヒ上陸セ
 シニ日本官吏オヤゴダ按スルニ親方ト呼フ者此官ハ我國ノ地方警察所長ニ相當ノ
 者ナラン屬吏二人歩卒二人クリイリ人十餘人ヲ從ヘテ余ヲ迎ヘリ此日本人等ハ何

レモ美麗ナル絹布ノ服ヲ着シ且ツ頭ヨリ足マテ下鎧ヲ着シ長短ノ二刀ヲ佩ヘリク
 リーリ人等ハ皆ナ常服ナリ余ハ一劍ヲ佩ヒ懷ニ拳銃六挺ヲ隠セリ此オヤゴダ徳ニ
 余ニ禮シ告テ曰ク陣營ノ長官モ亦將ニ來ラントス請フ暫ク之ヲ待ツ可シト余彼ニ
 向ヒ前ニ漁村ニ殘セシ諸品ト桶ニ納レテ贈リシ諸品ヲ受納セサルハ何故ナルヤト
 問ヒシニ我等向後貴國ト親密ニ交際スルコトヲ欲セス故ニ何ノ品ヲ問ハス皆ナ受納
 スルヲ欲セストラクスマン先年日本ニ使セシ紀行ニ日本人ハ外國人ト修好ノ契約
 ヲ爲サ、ル内ハ必ス贈品ヲ受クス契約後ハ之ヲ拒ムコトナシト云ヘリ余此紀行等ヲ
 思ヒ日本人ノ風習ナルヲ知リ始テ安心セリ
 既ニシテ長官至ル身ニ具足ヲ着シ其容貌最モ異態ナリ二人ノ歩卒ヲ從ヘ一人ニ槍ヲ
 持タセ一人ニ兜ヲ持セリ此兜ノ上ニハ月形ノ飾アリ該長官ノ舉動實ニ奇ナリ兩眼
 ハ始終地ヲ視兩手ハ左右ノ脇ニツク其歩スルヤ甚々濶ク恰モ小キ溝ヲ跨クカ如シ
 余ハ歐洲風ノ禮ヲ以テ彼レニ接ス彼亦之ニ應シ左手ヲ額ニ掲ケ頭ヲ低レ體ヲ屈シ
 余ニ答禮セリ余先ツ薪水ノ缺耗セシヲ以テ已ムヲ得ス上陸シ其國人ヲ驚カセシ罪
 ヲ謝ス彼亦我等ノ來リシ趣意ヲ了セス親リニ發砲セシ罪ヲ謝セリ且ツ曰ク曩キニ
 發砲セシハ貴艦ノ入港セシ時小舟ヲ出セシニ貴艦ヨリ端艇ヲ出シテ我舟ヲ迎ヘス

故ニ發砲セリト我等ハ貴官等ヨリ小船ヲ出セシヲ知ラス此レ港内霧深キヲ以テ見
 ルヲ得サリレナラント答フレル其實ハ我艦ノ入港セシ時ハ皆ナ四方ヲ照晒シ小島
 タモ見誤ルコトナレ彼通辭ヲ以テ僞ヲ飾ラントセシハ余既ニ之ヲ悟レリ彼復々問テ
 曰ク汝ハ其艦ノ長官ナリヤ又何レノ處ヨリ何用アリテ此地ニ來リシヤ又此地ヨリ
 何レノ國ニ到ルヘキヤト余ハ本艦ノ長官ニシテクリト諸島測量ノ爲メニ航海セ
 シナリト實ヲ以テ答ヘハ彼等却テ恐怖シ疑ヲ起サント思ヒ詭リテ我等ハ露領ノ
 東端ヨリ帝都サンクトペテルブルグニ歸ル所ナリ然ルニ連日ノ逆風ニ遭ヒ航海
 ニ過多ノ日數ヲ費シ薪水ニ缺乏ヲ告ケシ故ニ瓦港ヲ求メテ之ヲ積載セント欲シ圖
 ラスイツルコト島ニ到リ日本人ニ應對シ其長官ヨリウルビーチニ贈ルヘキ書翰ヲ
 托サレタリ是ハ進テ本艦ヨリ持テ進スヘシ右等ノ故ヲ以テ今此所ニ艦ヲ寄セタル
 ナリ又此所ヲ出發シテ捷路ヲ航シ廣東ニ到リ再ヒ薪水ヲ積載セント思ヘリト彼
 難シテ曰ク汝前キニイツルコト島ニテハ交易ノ爲ニ來リシト謂ヒシカ今前言ト異
 ナルハ何ソヤト余答テ曰ク是ハ其時通辭セシクリト人ノ露語ニ熱セサルヲ以テ
 余カ言ヲ誤解セシナルヘシクリト詞ニハ貨幣ト謂フモ買フト謂フ詞モナク唯取
 替ル或ハ交易スルト謂フ詞ニテ事ヲ辨スル故此ノ如キ誤ヲ生セシナラント彼又問

テ曰ク現今ノ國帝ノ名ハ何ト稱スルヤ汝カ名ハ何ト云フヤ先年使節トシテ來リシ
 ザノフヲ知レルヤ又帝都サンクトペテルブルグニハ日本語ヲ解スル者アリヤ
 ト余即チレザノフハ既ニ歿シ又露國ニハ日本語ヲ解スル者ノミナラス日本ノ文
 書ヲ露語ニ譯スル者アリト答ヘリ彼レ我カ答ル所ヲ細密ニ審記セリ既ニシテ煙草
 茶酒魚并ニ鷄卵ヲ出セリ皆ナ臺ニ載セ長短ノ兩刀ヲ佩ヒシ人一々持來リテ余カ前
 ニ陳列セリ余モ亦携ヘ來リシ燒酎ヲ水兵ニ命シテ端艇ヨリ取り寄セ日本人ニ與ヘ
 タリ是時日本人群ヲ成シ余カ側ニ佇立セリ余其人ノ多キヲ厭ヒ請フテ少ク退カシ
 メタリ余以爲ク彼等粗暴ノ事ヲ爲スルハ亦彼等方ニ於テモ自ラ多少損傷アルヲ免
 レサレハ必ス之ヲ敢テセサル可シト思ヒ自若トシテ煙草茶等ヲ喫シ談話中間諧謔
 ヲ交ヘタリ彼等余ニ器物ノ名稱ヲ問ヘリ依テ余ハ之レニ應答セリ余彼ニ向テ言フ
 長官余ニ約セル食料等ヲ與ルルハ若干ノ報酬ヲ爲スヘキヤト懷中ヨリ銀錢ヲ出シ
 テ此數ヲ定メ示スヘシト謂シカハ彼曰ク余ハ陣營ノ長官ニ非サレハ其數ヲ定ムル
 一能ハスト余既ニ彼ヲ以テ長官ナリト思ヒシニ今之ヲ聞テ大ニ失望セリ彼又曰ク
 汝長官ト應對セント欲セハ宜ク陣營ニ來ルヘシト余之ヲ辭シテ曰ク上陸後既ニ數
 刻ヲ移セリ然ルニ今汝ト與ニ陣營ニ往カハ本艦乗組者等疑心ヲ起シ遂ニ之レカ爲

メ疊ヲ開クニ至ランヤモ計リ難シ然レモ貴官等ノ内一人余ヲ本艦ニ送ラハ乗組ノ
 者必ス安心ス可シ然ラハ余今汝ト共ニ露艦ニ到ルヘシト謂ヒ彼承諾シテ陣營ノ長
 官ニ告ケシカ長官ハ嚴ク之ヲ拒ミ自カラ此所ニ來ラント謂ヒ既ニシテ使ヲ以テ告
 ク事故アリ即時往ク能スト余モ久シク之ヲ待ツ能ハサレハ本艦ニ歸リ再ヒ艦ヲ陸
 ニ近ケ上陸シテ陣營ニ往カンコト約セシニ彼敢テ拒マヌ酒一陶ト鮮魚トヲ艇ニ贈
 リ響應ノ腆カラサルヲ謝シ且ツ其處ニ在リシ網ヲ指シ今マ獲ル所ノ魚類ハ悉ク湖
 暮ノ頃端艇ニテ汝等ニ贈ル可シト余因テ彼ニ顯微鏡ト燒酎二三陶ヲ與フ彼ハ之ヲ
 受納スレモクリーリ人ニ與ヘシ煙草ハ受納セシメサリキ又彼レハ親密ノ意ヲ表セ
 シカ爲メトテ余ニ白扇ヲ贈リ汝等陸ニ來ラハ此扇ヲ以テ招クヘシト余諾シテ之ヲ
 受ク前ニ對談中ニアレキセイ十字架ノ事ヲ通辯セシカ其言語不分明ニシテ余解シ
 得ル能ハサルヲ以テ答モ爲サ、リシカ既ニ端艇ニ乘リシ後アレキセイ余ニ向テ日
 本ノ役人ハ露人ノ十字架ヲ尊崇スルヲ知レリ我等カ逆意ナキヲ證スル爲メ十字架
 修法ヲ爲スヘシト謂ヒシ由ヲ語レリ余前ニ其事ヲ解セス其望ミニ應セサリシハ遺
 傳ナリキ

日暮本艦ヲ陣營ヨリ砲彈ノ達シ得ヘキ距離ノトコロニ移シ投錨シタリ上陸スルニ

ハ時刻既ニ晩キヲ以テ少尉ヤクシキンヲシテ武器ヲ備ヘシ端艇ニ乗ラシメ曇キ
 ニイッルイブ島ノ役人ヨリ托セラレタル書翰ヲ日本人ニ渡シ然ル後先キニ約セシ
 魚ヲ携ヘ來ルヘシ且岸ニ達スト雖厄其端艇ヲ離ル、ト勿レト命セリヤクシキン
 ハ其命令ヲ履行シテ間モナク歸リ來リ余ニ告テ曰ク日本人ノ待遇甚ク厚ク贈ルニ
 鮮魚一百餘尾ヲ以テ且ツ日夕明朝ハ乗組ノ士官兩三人ヲ隨ヘ上陸ヲ請フ若シ雲
 霧深ケレハ來ル勿レト謂ヘリトヤクシキンハ好事ノ性質ニテ好テ周旋シ自ラ見
 聞セン事ヲ好ム者ナレハ余其言ヲ信セス且ツ余ノ上陸セシニモ毎ニ彼ヲ伴ハス明
 日ハ必ス隨行セン事ヲ請ヒシカ既ニ少尉ムイルト航海士フレイブニニコフニ隨行
 ヲ命セシカハヤクシキンノ請ヲ許サ、リキ
 七月十一日朝余ハムイルフレイブニニコフ并ニ一等水兵四人及ヒクリーリ人アレ
 キセイヲ率ヒ上陸セントス此時日本人ニ和親ヲ望ムノ意ヲ表セン爲メ特ニ我等ハ
 何レモ武器ヲ携ヘス唯、余トムイルフレイブニニコフ三人ノミ劔ヲ佩ヒフレイブニ
 ニコフハ拳銃ヲ懷ニセリ是ハ若シ俄ニ雲霧ノ深キニ遇ヒ本艦ヲ見失ヒタル時合圖
 ニ用ヒン爲メナリ既ニ端艇ニ乗リテ陸ニ向ヒ漕キ行キシカ海上ニテ前キニ流セシ
 桶ヲ見ヨリ取テ之ヲ啓クニ前キニ納レ、物品尙存セリ因テラクスマンカ謂ヘル日

本國法ニテ修好條約ヲ締結セサル前ニハ贈物ヲ受ケサルノ事ヲ再ヒ思ヒ出タセリ
 漸ク舟ヲ進メ陣營ニ近キタリシカ其時前日達ヒシ官吏二人ノ屬吏ヲ隨ヘ我等ヲ迎
 テ曰ク陣營ニ於テ諸君ヲ待ツノ備ヲ爲セリト我等日本人ニ和親ノ意ヲ示シ乘リ來
 リシ端艇ハ半ハ陸ニ引揚ケサセ唯一人ノ水兵ヲ殘シ置キ其他ノ水兵ニハ椅子并ニ
 日本人ニ贈ルヘキ物品ヲ持タシメ待ツ事十五分間許其間余日本官吏等ト雜話ノ中
 ニ北海道海岸ノ景况并ニ北海道ト日本内地ト交易ヲ爲ス方法ヲ問ヒシニ彼答ルヲ
 好マス既ニシテ我等陣營ニ到リ其門ニ入ル門内甚ク廣ク其右ニ凡ソ三四百人ノ兵
 卒列ヲ爲シ小銃、弓矢或ハ鎗ヲ携ヘタリ左ニハクリーリ人千餘人許條アル大幕ノ側
 ニ群居セリ此所ハ門ヨリ僅ニ三十步許隔テタリ斯ノ如キ粗ニシテ狹小ナル陣營ニ
 此ノ如キ多人數ノ軍兵アラントハ實ニ意想外ニ出タリ思フニ我艦入港セシ時ヨリ
 漸次近邑ヨリ募リシナルヘシ既ニシテ内ニ進、ニ正面ノ高キ處ニ坐スルハ陣營
 ノ長官ナリ身ニハ美麗ナル服ヲ着シ腰ニ長短ノ二刀ヲ帶ヒ背後ニ武器ヲ持タル
 者三人アリ一人ハ鎗一人ハ小銃一人ハ兜ヲ持テリ此兜ハ前日次官ノ持タセシ物ト
 異ナラス唯次官ノ兜ニハ月輪ヲ著ク長官ノモノハ日輪ヲ著ケタルノミ次官ハ長官
 ノ左ニ坐シ亦武器ヲ持タル者ヲ從ヘリ其兩傍ニハ黒キ鎧ヲ着シ腰ニ兩刀ヲ佩ヒ脚

ヲ十字ニ交ヘテ坐セル役人アリ我等進テ長官ノ前ニ至リ我國風ノ禮ヲ爲セリ彼等ハ彼國風ノ禮ヲ以テ之ニ應ス又我等カ爲メニ設ケタル榻アリ余ハ携ヘシ椅子ニ坐シ水兵ヲシテ其榻ニ坐セシム禮終テ後茶ヲ出セリ其茶ハ砂糖ヲ加ヘス皿ヲ用ヒスシテ漆器ノ盃ニ載セタリ又煙草盆及ヒ煙管ヲ出セリ既ニシテ談話ヲ爲ス彼先ツ我等ノ位階姓名並ニ艦名ヲ問ヒ又何ノ處ヨリ來リテ何ノ國ニ到ルヤ何ノ理由有リテ此地ニ來リシヤ又往年露艦來リテ亂暴セシハ何故ナルヤ使節レザリノフヲ知レルヤ彼今何ノ地ニ居ルヤ等ノ事ヲ問ヘリ余前ニ答ヘシ如ク詳ニ之ニ答ヘシニ次官逐一之ヲ筆記セリ又問フ十分ノ食料ヲ與ヘンニハ其艦ノ乗組人員ヲ知リタシト余思フニ過多ニ答フルニ如カスト因テ詭リテ人員ノ一倍ヲ以テ百二人ト答ヘシニアレキセイヤ解セスシテ通辯セザレハ余鉛筆ヲ以テ紙ニ書シ其數ヲ示セリ又該海上ニ軍艦チアーナ號ノ如キ大艦アリヤト問フ余鞭チ答フルニアホーツスクカムチャツカ並ニ我カ亞墨利加ノ領地近海ニモ甚タ多キヲ以テス此外我衣服ノ製作風土習俗等ノ事ヲ問ヘリ此時官吏等ハ余カ其長官ニ贈ラントテ携ヘン地圖及ヒ象牙ノ小刀顯微鏡銀錢ヲ熱覽セリ余ハ其銀錢ヲ示シテ貴國ヨリ與ヘシ品ヲ贖フニハ此銀錢ヲ以テスヘント爾ヘリ問答ノ際少尉ムール余ニ告テ曰フ平地ニ坐スル士卒ノ中刀ヲ拔

キシ者アリト余笑テ曰ク汝見誤リタルナラソ日本人ハ皆ナ刀ヲ帶ヒ居レハ誤テ拔ケ出ル事モアルヘント且ツ今之ヲ拔クヘキ故モナケレハ斯ク爾ヒテ彼カ心ヲ鎮メタリ既ニシテ次官起テ與ニ入り暫クアリテ長官ト耳語セリ長官之ヲ聞キ起テ與ニ入ラントシ別ヲ告ケンカ爲メ我等ヲシテ一同起立セシム余食料其他余ニ與ヘント爾ヒシ物品ノ價ヲ問ヒシニ彼再ヒ坐ニ復シ曰ク未タ時刻早ケレハ午飯ヲ設クレハ之ヲ食スヘント既ニシテ飯及ヒ魚肉野菜ノ羹酒其他嘗テ知ラサル食物ヲ出セリ其味頗ル美ナリ饗應畢リ暫アリテ長官爾ニ行ントセシカ我等モ既ニ數時間ヲ費シ久ク留ル能ハサルヲ以テ別ヲ告ケシニ彼曰ク食料ヲ與フルノ事ハ松前奉行ノ命令ヲ得サレハ返答ニ及ヒ難シ故ニ其事ヲ松前奉行ニ具申シタリ因テ汝等ノ内一人質ト爲リテ奉行ヨリ其答ノ來ルヲ待テト是時日本人等稍其眞面目ヲ露セリ余彼ニ松前マテ往復ノ日數ヲ問ヒシニ十五日ト答フ余思フニ身軍人トシテ異邦ニ質ト爲リ留置カルハ耻辱ナリ又日本人ノ癖トシテ我請フ所ノ事容易ニ決斷スル能ハス且又松前奉行モ政府ノ命令ヲ得ルニ非ラサレハ許可セサルナラン然レハ其許可ヲ得ルニハ冬ニモ至ルヘント思考シ彼ニ答テ曰ク本艦ノ乗込士官等ニ職セスシテ質ヲ殘ス能ハス一旦本艦ニ歸リテ職スヘント直ニ坐ヲ起テリ然ルニ長官俄ニ色ヲ變シ大聲ヲ發シ

レサノトニコライサンツレチノ名ヲ呼ヒ(其餘ハ余ニ解セス)其長刀ヲ敲キ喋々ト演説セシカアレキセイハ恐怖シテ戰慄シ敢テ通辯ヲ爲ス能ハス唯曰ク長官ハ各ノ内一人ニテモ此ノ陣營ヨリ出ス時ハ必ス自カラ屠腹スト謂ヘリト我等之ヲ聞キ前後ノ思慮ナク皆逃出セリ然ルニ日本人吶喊シテ聚リ來リ我等ヲ打倒サントテ後ロヨリ椅子或ハ木片等ヲ擲テリ我等走テ門ニ至ル比口後ヨリ小銃數發ヲ放テリ其彈丸ブレイブニコブノ頭上ヲ鳴リ渡リタレモ幸ニシテ中ラスムトルト水兵マカ
 ーロフトクリーリ人ノアレキセイハ陣營ノ門内ニテ捕ヘラル余ハ遊レテ上陸セシ
 處ニ至リ端艇ヲ求ルニ豈圖ンヤ潮退キテ端艇ハ水ヲ距ル既ニ五尋許リノ海濱ニ在
 リ日本人等余カ端艇ノ乾揚リタルト其艇中ニ兵器ヲ備ナキヲ見テ益勢ヲ得兩手ニ
 長短ノ二刀ヲ揮ヒ或ハ鎗或ハ小銃ヲ持テ追ヒ來リ終ニ取リ圍メリ余之ヲ見テ歎息
 シ獨語シテ曰ク嗚呼命ナル哉今ハ遊ルニ術ナシト自ラ進ミテ縛ニ就ク日本人等
 直ニ余カ兩肘ヲ握リテ陣營ニ拘引シ後ロヨリモ此灰ニ覆ル者陸續拘引サレタルヲ
 見ル海濱ヨリ陣營ニ到ル途中ニテ兵卒等短キ鐵棍ヲ以テ數余カ肩ヲ撲テリ然レモ
 官吏中ノ一人余ヲ毆打スルヲ制シタレハ其後ハ撲テ事ナカリキ

○縛ニ就キタル後松前及ヒ函館ニ赴ク

我等捕レテ陣營ニ至リシニ前ノ長官次官ハ皆營ニ在ラス嚮キニ余ヲ捕フル者兩手
 ヲ背ニ縛セシカ此時ハ敢テ緊ク縛ラサリキ營ヲ出テ其傍ニ在ル海邊ノ長屋ニ至リ
 我等ヲ平坐セシメ更ニ細キ糸ニテ卷ケル大サ指ノ如クナル繩ニテ縛セリ其痛極メ
 テ堪ヘ難シ此時水兵マカローフハ陣營ヲ逃レ何レニ在ルヤヲ知ラサリキ然シテ日
 本國ニテハ人ヲ縛スル定法アリト見ヘ其法胸ト頸ニハ其繩ノ輪アリテ兩腕ヲ背ニ
 テ緊縛シ其繩ノ端ヲ長ク餘シ之ヲ執レリ囚人逃レントスレハ其頸ニ懸リタル輪縛
 リテ呼吸ヲ止ムルナリ又膝ノ上ト腓ノ下トヲ縛シ繩ヲ執ル者頸ニ當レル輪ヲ柱ニ
 繫キ囚人ヲシテ體ヲ動スレ能ハサラシム而シテ我等カ懷ニセシ諸品ヲ悉ク取出シ
 テ後彼等ハ喫煙シテ息ヒ居レリ此中次官兩度來リ告ケル所アリ察スルニ我等ヲシ
 テ死セサラシムル勿レト云ヘルナラン斯ク苦痛ヲ受ケ死地ニ坐スル一時間許頸
 ノ繩ヲ柱ニ引締メラレシ時ハ今ニモ益殺セラル、ナラン可成ハ海岸ニ於テ本艦ニ
 殘レル人々ノ見ル所ニ於テ此辛苦ヲ受ケナハ他日復讐ノ種子トナリ聊カ慰スル所
 アラント思ヘリ既ニシテ我等カ腓ノ下ヲ縛スル繩ヲ去リ膝ノ上ノ繩ヲ少シ緩メテ
 長屋ヨリ曳キ出シ廣原ヲ過キ山中ニ曳キ行ケリ我等一人毎ニ一人ツ、繩ヲ執リシ
 ノミナラス眞庭ヲ着ケシ歩卒前後ニ護衛シ行ケリ

斯ク捕縛セラレテ山中ヲ過キ偶然回顧セシニ遙ニ我艦ノ帆ヲ揚タルヲ見シカハ復
 一層斷腸ノ思ヲ爲セリ剩ヘ後ヨリ同厄ノフレイブニコフ余カ名ヲ呼ヒ最期ニ我
 カ艦ヲ見ヨ最終ニ露西亞ヲ見ヨ歐洲ヲ見ヨト余之ヲ聞テ一層憂苦ヲ増シ心中竊ニ
 我ヲ援ケ一タヒ歐洲ノ地ヲ踏マシメ給ンコトヲ上帝ニ祈レリ嗚呼我徒身未タ死セサ
 レル我等カ見ル所乾坤萬物皆ナ死セリ爾後我カ本國ニ如何ナル事變ノ發スルヤ歐
 洲ニ何タル出來事アルヤ又地球上何等ノ變動アルモ之ヲ見聞スルニ由ナシ何ソ我
 等ヲシテ此極ニ至ラシムルヤ
 陣營ヲ出テ行クコト既ニ二十町許頼リニ砲聲ヲ聞ク陣營ヨリ放テル砲聲ト我艦ノ砲
 聲トハ分明ナリ余痛心シテ以爲ク日本人ノ方ニハ兵員衆ク殊ニ陣營ノ前ニ堅牢ナ
 ル堤アリ我艦ハ僅々タル人員ナレハ本艦ハ擊破セラレテ乘員皆日本人ノ爲メニ殺
 サルハナラシ此ノ如クナレハ我等ノ願末ヲ本國ニ報知スル者モナケン又艦内リコ
 ーブルゾヲ始メ士官等朋友ノ好ヲ思ヒ危險ヲ冒シ命ヲ輕ンシテ陣營ヲ砲撃セシモ艦
 内ノ兵員ハ僅々五十一人ニシテ陣營ノ兵員ハ之ニ數倍ナレハ衆寡敵セサルハ必然
 ナリ假令士官等勇ヲ鼓シテ之ヲ爲スモ我等ハ既ニ「ヂャー」ナ號ノ安否ヲ聞クコトヲ得
 サルト思ヘハ倍々悲歎ニ堪ヘサリキ

行クコト未タ二里ナラス我等ヲ縛スル所ノ頼ト呼吸ヲ止メ苦楚隨フヘカラス
 同厄ノ徒余ヲ見テ面腫レ色土ノ如シト云ヘリ官語ハ勿論唾ヲ吐クモ容易ナラサリ
 シカハアレキセイヲ以テ繩ヲ少シ緩メラレシコトヲ請ヒケレバ日本人等我艦ヨリノ
 砲聲ニ怖レ屢回顧スル而已ニテ我等カ言ハ耳ニモ入ラス唯疾ク歩セヨト云フノミ
 漸ク苦痛ニ堪ヘサレハ若シ川ヲ渉ル所アレハ跳リ入テ死セント決セシニ豈ニ圖シ
 ヤ小川ヲ渉ルニモ捕卒肘ヲ執テ同ク涉レハ望テ果サス斯ノ如クシテ苦痛ニ堪ヘス
 途ニ卒倒シ暫クシテ蘇生スレハ日本人等余カ面ニ水ヲ注ケリ又余カ鼻口ヨリ出血
 セシヲ同厄ノムールフレノコフノ二人之ヲ見テ強テ日本人ニ余カ繩ヲ少シ
 ク緩メンコトヲ請ヒシニ日本人少ク繩ヲ緩メシカハ復起テ歩行スルコトヲ得タリ
 行クコト三里北海道トクナシリ島トノ海峽ニ渡スル小村落ニ至リ一ノ人家ニ賦ヒ我
 等ニ食ヲ與ヘ我等ヲ各別室ニ置キ其繩ヲ壁ニ打付タル鐵ノ鈎フックニ繋キ我等ノ沓ヲ
 脱セシメ再ヒ前ノ如ク脚ノ兩所ヲ縛セリ假令獅子ノ如キ猛獸ト雖モ斯ノ如ク緊縛
 セラルレハ其傍ニ在リテ眠ルトモ逃脫ノ慮ナキニ彼等ハ尙ホ二十分時位毎ニ來リ
 テ其繩ヲ検査セリ是ニ於テ彼等ノ極メテ殘酷ニシテ仁心ナキヲ知リシニ下文ニ記
 スルカ如ク彼等ノ中ニモ慈心ノ人アルヲ聞キ少シク心ヲ慰メタリ

嚮ニ陣營ヲ出テシ後絶テ見サリシ水兵マカローフハ別ニ捕レテ此所ニ來レリ彼ハ長屋ニ繫カレ又此地ニ來リシカ途中ニテ守護ノ士卒時々酒ヲ飲マシメ我等ニ對スルカ如ク残酷ナラサリシト

日暮迄繫カレ居リシカ其間此災厄ニ罹リシ事ヲ思ヒ慘然謂フヘカラス實ニ我徒ヲシテ此厄ニ陷レシハ余一人ノ罪ナルニムイルトフレীবニトコフハ大量ニシテ余カ輕忽ニシテ墮テ日本人ノ奸策ニ陥リシヲ咎メテ却テ余カ心ヲ慰メ且ツ水兵等ノ怨言ヲ聞テ之ヲ諭セリ夫ノ水兵等ハ皆正直ニシテ余ニ心服スル者ナレハ余ハ其怨言ヲ聞テ聊カ不快トセス彼悲歎スルハ實ニ其理ナレハ余ハ身肉ヲ斫ラル、カ如キ思ヲ爲セリ今ヤ貴賤ノ別ナク同穴ニ陷リタレハ再ヒ本國ニ歸ル望モ斷ヘ胸中裂クカ如クナリシ

少シク體ヲ動カシ頸ヲ回ラセハ繩締リテ痛甚シケレハ心中ノ鬱悶ニ堪ヘサレハ其痛ヲ覺ヘス唯速ニ死セン事ヲ天ニ祈リ速ニ死スルヲ得ハ是レ天帝ノ恩典ナリト思ヘリ我等ヲ護送スル兵卒ノ長官ヘ宛テ屢々書翰來ル長官之ヲ讀ミテ屬吏ニ其意ヲ傳フレハ我等ハ日本語ヲ解セサレハ如何ナル大聲ニテ語ルモ通セサルハ勿論ナルニ尙ホ我等ヲ憚リテ低語セリ余アレキセイニ日本人ノ言語ヲ聞取リテ其意ヲ傳フヘシト

命セシカハ右ノ書翰ハ我カ本艦并ニ我等ノ事ヲ陣營ヨリ告知スル者ナリト云ヘリ尙ホ彼等カ低語中デアーナ本艦ニ殘レル者ニ事波及セリト云ヘリ

日暮護送ノ者皆行裝ヲ整ヘ夜半ニ至リ廣キ板ノ四隅ニ繩ヲ付ケ其四隅ノ繩ヲ束テ棒ヲ貫キタルモノニ我等ヲ載セ昇キ出セリ日本人等ハ我等ヲ同所ニ置ク事ヲ好マサレハ此時コソ死別ノ思ヲ爲セリ水兵等ハ號泣シテ別ヲ惜ミ恙ナカレトノ一言ハ骨髓ニ徹スル如ク覺ヘタリ既ニシテ海岸ニ往キ小舟ニ坐乘セシメ又ムイルヲモ昇キ來リ余カ側ニ置ケリ再會期シ難シト思ヒシニ再ヒ余カ側ニ來リシハ實ニ欣然ニ堪ヘサリキ又續テフレীবニトコフ及ヒ水兵ノシモイノフトワシイリエフトヲ昇キ來リ此三人ハ別舟ニ乘セタリ兵卒一人ツ、我等ヲ守護シ我等カ頭上ニ蒲席ヲ覆フテ其所ヲ出船セリ守護ノ者ハ我等カ悲歎ヲ顧ルノ色ナシ其中ニクリーリ語ヲ善クスル二十歳許ノ壯者アリテ通辯セシカ彼ハ願ニ放歌シ或ハ我等ノ苦痛スル狀ヲ爲シ我等ヲ嘲弄セリ

七月十二日我六月五日 朝北海道ノ一端ナル小村ノ傍ニ達セシカ他ノ舟ニ我等ヲ移シ此舟ヲ綱ニテ曳キ東南ノ海邊ニ沿ヒ行ク一晝夜其間處々ニテ休息ス是レ其地ノ者更代シテ曳クカ故アリ此海邊ハ樹木及ヒ人家モ稀疎ニシテ三四十町毎ニ村落アリ

又各所ニテ魚ヲ漁スルヲ見タリ其漁法ハ皆一樣ニテ大ナル網ヲ濱ヨリ二十四五尋ヲ距ル海中ニ張り魚ノ十分ニ入ルヲ俟テ網ノ兩端ヲ數十人ニテ海濱ニ曳キ揚ルナリ魚類中最良トスルモノハ鮭ノ種類ニテカムチャツカ半島近海ニ産スルモノト同一ノ魚ナリ

我等ニ與フル食物ハ毎ニ飯ト炙レル魚肉ニシテ箸ヲ以テ挾ミ食セシム彼等ノ自ラ食スル時モ其箸ヲ用フルヲ恰モ我カ肉刺ヲ用フルカ如シ我等ニ食ヲ進メシモ食氣ナケレハ食セス凡ソ日本人ノ我等ヲ介抱スルニハ頗ル注意ヲ盡シ我等兩便ヲ爲サントスル時ハ其意ヲ隨リ直チニ其用意ヲ爲セリ依テ大便小便ノ二語ヲ教ヘシカハ之ヲ記憶シテ後以テ常トセリ

日本人等ハ能ク我等ヲ守護シ一人ツ、側ヲ離レズ樹枝ヲ以テ絶エズ蚊蠅ヲ拂ヘリ之ニ反シ緊縛セラレテ悲歎ノ聲ヲ發スレモ聞カサルカ如ク更ニ繩ヲ緩ムコトナシ彼等ハ我等ヲ殺サ、ルヲ以テ憐憫ト思フ可ケレモ余ニ於テハ早ク殺サレンコト望ム所ナリ我等カ性命ハ既ニ死地ニ陥リタレモ未タ人欲去ラサレハ屢心ヲ變シ此地ヲ脱シ去ルヘキ時節カ又ハ繩ヲ解カル、日モアランカ或ハ小舟ヲ奪ヒ繩艚ニ渡リ破船セシト口實ヲ設ケテ北京ニ送ラレ支那政府ニ贈フテキヤフタ

府名支那ト譯兩

國交易ヲ至レハ本國ニ歸ルヲ得ヘシ等ノ癡情ヲ發セシカ或時之ヲ夢ミ縲縛ノ苦ヲ脱シ心解ケタレモ一場ノ喜ニシテ夢覺テ四壁ノ中ニ在レハ更ニ一層ノ悲歎ヲ増スノミ若シ破船セシカ又ハ其他ノ事ニテ捕ハレシナレハ命ニ安ンシテ如何ナル艱苦ヲモ忍フヘケレモ全ク余カ淺慮ニテ七人ヲ災厄ニ陥レシ事ナレハ實ニ苦中ノ苦ナリキ同厄ノ輩ハ願リニ余カ後悔ノ益ガキヲ説キ余カ心ヲ慰セリム曰ク子ハ日本人ノ謀計ニ陥リシヲ耻テ深ク心ヲ痛マシムルナレモ古人ニモ高貴ノ人ニテ往々事ヲ誤リ非命ニ死スル者アリククデランクリ及ヒチチアノフ侯等はナリト余思フニ彼等ノ所業ト余ノ所爲トハ似テ非ナル者ナリ彼等ハ一己ノ誤ニテ即時ニ一命ヲ失ヘリ余カ如キハ未タ俄ニ死スルヲ得ヌ剩サヘ罪ナキ朋友ニ至ル迄此厄ニ陥ラシメタリ

七月十三日我六月六日朝舟ヲ小村ノ岸ニ近ケ朝食ヲ爲ス我等ヲ見ントテ土人等群集セリ白髪ノ老翁アリ我等ニ酒食ヲ與ヘンヲ護送ノ者ニ請ヒ許可ヲ得テ酒食ヲ我等カ乘レル小舟ニ持來リ其側ニ立テ我等ノ飲食スルヲ見ル此翁ノ容貌實ニ我等ヲ憐ム者ノ如シ此不幸中外國人ヨリ此ノ如キ哀憐ヲ受ケシハ意外ノ事ニテ始メテ日本人ハ皆無情粗暴ノ者ノミニハ非ラスト思ヘリ

我等朝食了リマレハ舟ヲ海濱ニ引揚タリ此地方ハ陰霧多ケレ是日晴天拭フカ如ク近傍ノ諸山及ヒ我等カ災厄ニ罹タル夫ノクナシリ島モ旭日ニ映シ眺望佳絶ナリ然レチアーナ號ハ何ノ所ニ在ルヤ帆影ヲモ見ス若シ之ヲ見ハ却テ憂ヲ増スナラント思ヒタリ此朝ハクリーリ人ノ住メル小屋ニ憩ヘリ乘リ來タル二艘ノ舟ハ日本人等クリーリ人ト共ニ陸ニ引揚ケ樹木ヲ伐拂ヒ道ヲ闢テ山上ニ引揚ケタリ此舟長サ三丈幅八尺許ナリ之ヲ山上ニ引揚ケシハ何故ナルヲ知ラス彼等ノ考ニハチアーナ號ノ此舟ヲ見出シ追ヒ來ルヲ怖レテ斯クハ爲スナラント初メ思ヒシニ其實左ニ非ラス既ニシテ復タ山ノ背後ニ下シ小川ニ泛ヘ夫ヨリ再ヒ此舟ニ乘リテ三四十町許ヲ往キタリ此時水兵ノワシリエフハ咽血甚ク恰モ刺絡セシ如ク迷シリタリ仍テ我等日本人等ニ其顛ノ繩ヲ緩メンテ請ヒタレ更ニ聽カスシテ綿ヲ鼻孔ニ填メシカ出血止マサレハ已ムヲ得ス少シク繩ヲ緩メタリ

川舟ニ移リシヨリ護送ノ者等我ヲ遇スル事稍寛ナリ彼等我カ本艦今ハ此所ニ來ルヲナシト思ヒシナラン彼等手ヲ以テ我等ニ示シ今ヨリ凡ソ十日ヲ出テスシテ松前ニ達スヘシ然レハ書ヲ以テ執政ニ請ヒ汝等ノ縛ヲ解キ本國ニ返サルヘシト我等其言ノ吉事ニ過キタルヲ全ク信用セサレハ亦悉ク詐ニモ非サランカト始メテ少シク心ニ樂ヲ生セリ

此小川ノ下流ハ大湖ニ注ケリ大湖ハ又他ノ湖水ニ接シタリ舟行一晝夜水漸ク淺シククリーリ人水ニ入テ舟ヲ押セリ是夜暴風雨曉ニ徹シテ止マス日本人ハ我等ニ廷ヲ覆ヒシカ勦モスレハ吹キ落サルヲ以テ屢番人ニ請フテ之ヲ覆ハシム番人中フレ
 一フニニコフノ傍ニ在リシ者ハ甚タ親切ニシテ能ク我等ヲ守護セリ其他ノ番人ハ然ラスムールノ覆ヒシ廷ヲ番人ニ懸ケクレヨト請ヒシニ番人之ヲ怒リムールヲ打擲セリ他ノ番人之ヲ見テ大ニ叱レ夜半ニ至リ小村ニ着シ暫ク舟ヲ止ム舟子ヲ交代セシムルカ爲メナリ其岸ニ篝火ヲ焚キ武卒クリーリ人ト共ニ備ヲ爲シ武卒ハ甲胃ヲ着ケ刀ヲ帶ヒクリーリ人ハ弓箭ヲ持セリ其前ニ立テル長官ハ美麗ノ絹服ヲ着シ手ニ秤ノ如キ者ヲ持テリ隠ナ舟中守護ノ者一人上陸シテ彼長官ノ前ニ進ミ腰ヲ屈シ頭ヲ低レ談話セリ我等ヲ捕ヘシ顛末ヲ語ルナラン其後長官舟中ニ來リ提燈ヲ以テ我等ヲ一人毎ニ點檢セリ余彼ニ番人ヲ以テ我等ノ縛ヲ少シク緩メラレンコトヲ請ヒシニ答ヘスシテ笑ヒ獨語シテ去レリ既ニシテ舟ヲ出シテ復進ミ行ケリ

同十四日我六月七日夜又篝火ヲ見ル守護ノ者我等カ脚ノ繩ヲ解キ上陸セシメ篝火ニ就キ暖ヲ取ラシム夫ヨリ小丘ニ登ル一ノ空屋アリ我等ヲ此ニ居ラシメ復脚ヲ縛シ飯

ト魚肉ヲ食セシム

同十五日我六月八日終日暴雨此處ニ滞留セリ

同十六日我六月九日朝天晴ル、ヲ以テ發途ノ用意ヲ爲シ我等ノ脚ノ繩ヲ解キ膝ノ繩ヲ
 緩メ長靴ヲ穿テシメ我等ニ歩行スルヤ山橋ニ乘ルヤト問フ我等皆歩行セシムコトヲ欲
 スト云フ獨アレキセイハ足腫レテ歩行シ難キヲ以テ山橋ニ乘レリ隣村ノ者二人赤
 キ材ニテ造レル長キ棒ヲ持テテ嚮導ヲ爲セリ此嚮導者ハ村界ニ至ル毎ニ又其村ヨ
 リ出テ、交代セリ此者ノ後ロニ武卒三人宛其後ロニ余余カ側ニ步卒一人又其傍ニ
 一人アリテ余ヲ縛セル繩ノ端ヲ執レリ一人ハ樹枝ヲ以テ始終蚊蠅ヲ拂ヘリ其後ロニ
 一群ノクリーリ人等余カ乗ルヘキ山橋ヲ昇ケリ此山橋ハ長サ四五呎幅二呎五寸許
 樹枝ヲ曲ケ長キ繩ヲ防ケカガニ其上ニ繩ヲ覆ヘリ又其次ニ一群ノクリーリ人ア
 之ヲ荷ヘリ又雨ヲ防ケカガニ其上ニ繩ヲ覆ヘリ又其次ニ一群ノクリーリ人ア
 リ前ノ山橋ヲ昇ケル者ト交代スルカ爲ナリ余カ次ニムール次ニフレীগニコフ
 其次ニ水兵等一人ツ、歩行セリアレキセイハ山橋ニ乘リテ最モ後ニ在リ總行列ノ
 後ニ武卒三人並ニ旅中ノ要具食糧等ヲ荷ヘル數多ノ日本人及ヒクリーリ人等有リ
 人數總計二百人許各腰ニ木牌ヲ付ク其牌ニハ我等ノ中誰ニ屬シテ何ノ役ナルコトヲ
 記セリ長官ハ此木牌ヲ分配セシ事ヲ記載セル簿冊ヲ所持セリ

日本人等途中ニテ屢息ヒ息フ毎ニ米飯、鹽漬大根、乾魚茸及ヒ茶等ヲ與フ正午美麗ナ
 ル人家ニ着ス主人年少ナレモ美酒佳肴ヲ出シテ我等ヲ饗應シ臥床等ヲ設ケテ一泊
 セン事ヲ勸ム護送者等モ之ニ同意シテ一泊セント欲セシカト我等皆テ日本人ノ話
 ニ松前ニ着スレハ繩ヲ免サルヘシト謂ヒシナレハ少シモ早ク行クヘキ處ニ往キ苦
 痛ヲ免カレント欲セリ護送者等モ日暮前ニ厚岸ニ着セント忙ハシク出發セリ是
 日好天氣ナレトモ暑氣頗ル強ク疲勞甚シキヲ以テ山橋ニ乘リタリ然レモクリーリ
 人等山路ヲ疾ク昇キ行ケハ山橋ハ樹木ニ觸レテ身ニ響キ苦痛ニ堪ヘ難シ故ニ暫ク
 乘リテハ又歩行セリ

○厚岸ヲ發シ函館ニ赴ク

日没頃我等ノ一行河流ノ所ニ着ス二艘ノ舟アリ我等ノ到ルヲ待ツ此河ノ下流ハ厚
 岸港ニ入ルト云フ余トムール并ニ二人ノ水兵ヲ其一艘ニ乘ラシメ他ノ一艘ニハフ
 レীগニ乗リコフト其餘ノ者ヲ乘ラシム舟ノ周圍ハ葎ヲ以テ覆ヒタリ我等ノ如キ厄
 ニ罹レタル者ハ聊ノ事ニモ感觸シ易キ者ニテ舟ノ周圍ニ葎ヲ覆ヒテ外ノ見ヘサル
 如クセシハ其意我等ヲシテ此地ノ景况等ヲ知ラシメサル爲メナラン然レハ日本人
 ハ我等ヲ終身拘留シテ還サ、ルノ意ナキハ此一事ニ就テ知ルヘシ嚮導者ニ護送者ノ

早晚歸國スルヲ得可シト語リシハ虚言ニ非サルカト思ヒ大ニ心ヲ安ンシ快ク談話ヲ爲セリ既ニシテ舟厚岸港ニ達ス一人ノ武卒覆ヘル筈ヲ除キ何レモ港ノ景色人家等ノ模様ヲ縦覽セヨト呼ヘリ余之ヲ聞テ心驚キ是迄喜ヒシ事モ一場ノ夢ト爲リ俄ニ深淵ニ陥リシ思ヲ爲セリ然レハ人慾止マサレハ又再思シ二十年前既ニ我國ノ船泊此港ニ入りテ我輩人此港ヲ能ク知リタレハ今日ニ至リ我等ニ隠ス理ナシ又舟ヲ覆ヘルモ別ニ意アルニ非ラス蚊蠅ヲ防ク爲ナラント聊ノ事ニ就キ心迷ヒテ癡想ヲ發セリ夜既ニ深シ一群ノ武卒舟中ニ來リ我等ヲ迎ヘ横條ノ幕ヲ張レル陣營ニ牽キ行キ清潔ナル一室ニ居ラシム此室ニハ美麗ナル日本書ヲ貼セリ一方ノ壁ニ鐵ノ輪アリ之ニ我等ヲ縛セル繩ノ端ヲ繫キ其後美味ナル夜食ヲ與ヘ且ツ臥具ヲ出シ例ノ如ク我等ノ脚ヲ縛シ寝ニ就カムシ

日本ノ夜具ハ其人ノ貧富ニ從テ絹布若クハ木綿製ノモノアリ我等ニ供セシハ皆ナ木綿製ノモノナリ其蒲團ハ厚サ一寸許ニシテ綿ヲ入レタルモノナリ但シ洗フトハ其綿ヲ引出スニ便ナルカ如ク縫ヒ付タリ之ヲニツニ折リテ疊ノ上ニ敷キ寝ル時ハ綿厚キ夜着ヲ上ヨリ覆フ枕ハ木ニテ種々ノ形ニ造レリ賤キ者ハ丸キ木片ヲ其儘用フ中等以上ハ高サ四寸許ニ造レル箱ノ上ニ長サ七八寸幅二三寸許ノ圓

キ小枕ヲ結ヒ付ケタル物ヲ用フ此箱ノ中ニハ剃刀鉄油楊枝齒磨等ヲ入レルナリ七月十七日^{我六月十日}厚岸ニ滞留ス暫時手ノ繩ヲ解キ縛セラレテ皮膚ノ傷キシ處ニ膏藥ヲ貼セリ數日緊縛セラレタルヲ以テ繩ヲ解レシ時ハ手足痙攣シテ屈伸自由ナラス手ヲ取リテ前ノ方ニ廻セシ時ノ苦痛ハ再ヒ縛セラレシ時ヨリ甚シカリキ是日雨終日歇マス冷氣甚シケレハ何レモ木綿ノ夜具ヲ以テ衣服ノ上ヨリ覆ヘリ同十八日^{我六月十日}朝船厚岸灣ヲ出テ暫シテ南方ノ邑ニ上陸シ喫飯シタル後前ノ如キ行裝ニテ歩行シ山嶺ヲモ亦前ノ如ク備ヘタルハ隨意ニ乗ルヲ得ヘシ護送者ハ交馬ニ乗レリ

道中ハ每ニ行列ヲ亂スコトナク殆ト行軍ノ如シ本日モ鷓鴣ニ發足シ村落ニ憩ヒ午餐了テ一時間許憩ヒ復其所ヲ發足シ日没前ニ一ノ村落ニ投宿セリ是ハ相應ノ宅ニテ例ノ横條ノ幕ヲ張レリ

或夜小村ノ空倉ニ宿セルコトアリ是ハ米廩ナル由熱氣堪ヘ難ク且ツ蟲多ク出テ此一宿ハ實ニ苦カリシ

投宿スル毎ニ我等ノ繩ノ端ヲ鐵ノ輪ニ繫ケリ而シテ旅宿ニ達スル毎ニ我等ヲ村長ノ家ニ引キ行キ越ヲカケタル榻ニ就カシメ村長出テ、人數ヲ改メ夫ヨリ旅宿ニ至

ルナリ其入口ニテ靴ヲ脱シ鹽湯ニテ足ヲ洗フヲ常トス又毎日ノ食ハ朝ハ發足前晝
ハ途中夕ハ旅宿ニ着シテ喫スルナリ其食物ハ大抵一様ニシテ麵包ノ代ニ飯ヲ用ヒ
鹽漬ノ蘿蔔二片野菜ノ汁炙リ又ハ煮タル魚肉一片或ハ茸或ハ堅ク煮タル鶏卵ヲ與
ヘリ各欲スル儘ニ之ヲ食ス飲料ハ砂糖ヲ加ヘサル下品ノ茶ナリ又罕ニ酒ヲ飲マシ
ム護送者ノ食物モ我等ト異ナルヲナシ毎ニ護送者ノ内年長ノ者其價ヲ辨スルヲ見
レハ其雜費ハ皆官ヨリ支出スルト見ヘタリ

同十九日我六月十二日手ニ貼スル膏藥モ膿汁ノ爲ニ離レ少ク手ヲ動セハ痛甚シ故ニ膏藥

ヲ貼スル爲メ暫時細ヲ解カレシニ護送者相集テ協議シ護送者ハ皆南軍ノ

者部ヲ指揮スルハ執レモ同格ノ者ナレ我等ノ体ヲ再ヒ改メ若シ金屬ノ器具類ヲ所

持セハ悉ク取上ルト云フヲ名トシ終ニ其請ヲ許セリ我等ノ細ヲ解クモ一時ニ解カ

ス二人ツ、解キテ膏藥ヲ貼リ替ヘ又始ノ如ク縛リ又次ノ二人ヲ解ケリ

是日一人ノ官吏クナシリヨリ來レリ此者爾後護送ノ武卒ヲ統轄セリ此者ノ衣服ハ

護送者ニテ卒モ之ヲ飲スルヲ見レハ高位ノ由護送者等後ヲ長官ノ如ク敬ヒ別室ニ坐

ト同食等モ護送者等
彼ハ格別ニ我等ヲ憫ミ翌二十日ニハ肘ノ上ヲ殘シ手ノ細ヲ悉ク解カシメシカハ捕

ハレシ以來始テ已カ手ニテ食事ヲ爲シ歩行モ自由ナリ但シ川ヲ涉ル時ニ限リ手ヲ

縛セリ我等水涯ノ濕タル沙地ハ歩行ニ快クハ水涯ヲ行ント請ヒタレテ許サス水

涯ノ地ヲ通過スルハ護送者我等ヲ挾ミテ行ケリ是ハ我等ノ水ニ投センコトヲ恐ル

ハノミナラス少ク足ヲ濡サハ疾病ヲ生センコトヲ慮リテナラン故ニ僅ノ溝渠ニテモ

我等ヲ背ニ負ヒテ涉ラシム最初ハ路傍ニ在ル覆盆子ヲ採リ食スルヲ許サ、リキ覆

盆子ハ過食セサレハ害ナシト説キタレハ其後ハ許シテ之ヲ食セシメタリ

同二十一、二十二ノ兩日我六月十五日甚ク川流暴漲スルヲ以テ一小邑ニ滞留セリ醫師

來リテ我等ノ腕ノ剝皮傷ヲ療セリ白キ鉛粉ニ似タル粉末ヲ抹シ其上ニ膏藥ヲ貼セ

リ又手指其他腫ヲ生シタル處ニモ貼セシカ即効アリテ諸所ノ痛大ニ減シタレハ起

臥及ヒ歩行トモ頗ル易ク又疲レタル時山橋ニ乘リテモ痛強カラズ身体ノ動作甚タ

自由ヲ得タリ且ツ日本人ノ取扱モ日ヲ逐テ親切ナリ休息所ニテ村長或ハ官吏等來

リテ閑話ヲ爲シ或ハラクスマン及ヒ其時ニ從ヒ來リテ露人等ノ安否ヲ問ヘララク

スマンノ徒ハ今ニ日本人ニ好ク評セラレタリ又レザノ事ヲモ所々ニテ語レ

リ是二人ハ今ニ日本人間ニ名望ヲ得タリ日本人等我等ノ心ヲ慰メンカ爲メ我政府ハ

汝等ヲ久ク此地ニ拘留スル事ナシ必ス免シテ本國ニ還ラシムヘシト謂ヘリ此ニ不

審ナル一事ハ休息ノ時日本人等我等ト談話中曾テ日本ニ來リシ露人ニ係ルヲ又露國ニ到リシ日本人ヲ能ク待遇セシヲ稱譽セル物語ノミニテ更ニフオストロフ暴掠ノ事ニ及フ者ナシ依テ考フルニ日本國ニ於テ最モ嫌惡スル我等同胞人フオストロフ等ノ所業ヲ語ラハ我等之レカ爲メ終身免カレシト落膽セント推量セシカ又ハ我等同國人ノ惡業ヲ話シ慚愧セシメンハ氣ノ毒ナリトテ語ラサルカ何レモ日本人ノ禮儀厚ク思慮深キ所以ナルヘシ總テ通行セシ沿道ノ村長土人等ハ我等ヲ厚遇シ其村ニ出入ノ時ハ老少群集シテ我等ヲ觀ルモ雖アリテ罵詈嚼罵スル者ナク皆我等ヲ見テ憐憫ノ狀ヲ表シ殊ニ婦人ハ其情深シト思ハル湯茶ヲ請ヘハ喜ヒ争テ之ヲ與ヘントセリ又護送ノ者ニ請テ我等ヲ饗應セント欲スル者多シ或時護送ノ者之ヲ許シケレハ速ニ酒及ヒ砂糖漬ノ菓實等ヲ贈リ村長ヨリモ屢佳キ茶ト砂糖等ヲ贈レリ日本製ノ茶ニハ綠色又ハ黑色ノモノアリ黑色ノ茶ハ支那茶ニ類スレモ香味大ニ劣レリ日本人等茶ヲ喫スルニ砂糖ヲ加ヘス恰カモ我露人ノクワス飲料ヲ喫スルカ如シ又綠色ノ茶ハ日本人常ニ之ヲ用ヒ茶ヲ喫スルニハ先ツ紙ニテ造レル箱ニ入レ火ニ上セ香ヒ強クナル迄焙リ銅罐ノ熱湯中ニ入レルナリ其香味共ニ美ナリ我等ハ好マサレモ日本人ハ甚タ之ヲ嗜ム又棒砂糖ハ此地ニテ製セス尋常精良ナ

ル砂糖ハ和蘭人ノ齋ス所ナリ小キ曲ク物ニ入レ高價ニ賣買ス日本ニテモ砂糖ヲ製スレモ不潔ニシテ色黒ク味劣レリ總テ日本人ハ茶ニ砂糖ヲ加ヘス砂糖ハ別ニヒヲ用ヒ掌ニ受ケテ之ヲ嘗ム我國ノ小兒ノ喫スルカ如シ我等ニ贈ラレタル砂糖ヲ護送ノ者ニ與ヘシカ辭シテ受ケス我等睡眠ノ間ニ悉ク嘗メ盡セリ

又我等ニ歐羅巴ノオランダト稱スル國ノ人民及ヒカボト稱スル地ヲ問ヘリ我等ハ歐羅巴中ニ此ノ如キ地名ヲ知ラスト答ヘシカハ彼等甚タ怪シメリ其後始テゴルランヂヤヲオランダト呼ビ喜望峰ヲカボトト謂ヘル事ヲ聞ケリ余ノ之ヲ解シ得ザリシハ全クアレキセイカ通辯ノ拙キ故ナルヘシ然レモ我々カ知レル事ヲ隱シテ語ラザリキト彼等カ思ヒタルハ最モ遺憾ナリシ余此頃ニ至リ日本人ノ憐ミ深キヲ知レリ又最初我等ニ對シ無狀ナリシハ全ク我露人ノ嘗テ亂暴不法ノ所爲ニ因ルヲ思ヒ知レリ我等未タ其亂暴ノ顛末ヲ詳知セザレモ日本人等我等ニ對シ漸次ニ懇切ニナリタルヲ見レハ其亂暴セシ露船ハ全ク一己ノ企ニ出テタル事由ヲ辨明セハ我等ヲ許スナラント思ハル、ナリ之ヲ辯ントモ亦難カラサレハ再ヒ本國ニ歸ルヲ遠カラサルヘシト心中大ニ喜ヘリ

日ヲ經ルニ從テ日本人我等ヲ遇スル頗ル懇切ニシテ且ツ看守モ稍寛カニナレリ

日日本人等疊キニクナシリノ港ニテ捕ニ納レテ浮ヘレ露船ノ圖ハムールノ書キシ
 一ヲアレキセイヨリ聞テ強テムールニ請テ書カシムール之レカ爲メニ暫時肘ノ
 細ヲ免ルサレ細密ニ書キ與ヘシニ依頼者續々出テ、ムールモ大ニ困却シ後ニハフ
 レーノヒコフヲシテ助ケシメタリキ余ハ書クニ能ハサレハ彼等ノ扇面ニ文字ヲ
 書レテ與ヘシカハ又請フ者多ク其中ニハ朋友ノ爲メニ之ヲ請フ者アリ或ハ扇面數
 十本持テ來リテ我國ノア、ベ、セ文字或ハ我國ノ文字ニテ日本ノ假名或ハ數字又ハ姓
 名等ヲ書センコトヲ請フ者アリ後ニハ余ヨリハムール及ヒフレイブニイコフノ能書
 ナルヲ知リテ專ラ此兩人ニ請フテ余ニハ兩人ノ書キ物多クシテ問ヘシ時ノミ請ヘ
 リ又水兵ヘモ書ヲ請ヒタリシカ水兵等字ヲ知ラスト辭セシヲ日本人等甚タ怪シメ
 ル様子ナリ

日本人ノ用フル文字ニ二種アリ其一ハ支那文字ナリ是ハ一字ニテ一意ヲ成セリ
 日本人曰ク此字ハ數千年前ニ支那ヨリ傳リシト尤モ支那ト日本トハ文字ノ唱ヘ
 ハ異ナレモ字義ハ同一ナリ支那文字ハ書ヲ著シ或ハ貴人ノ書翰往復等ニ用フ其
 一ハ日本ノ假名文字ナリ其數都テ四十八字アリテ平人ノ用フル文字ナリ日本人
 ハ如何ナル卑賤ノ者メリモ此字ヲ知ラサル者ナシト故ニ我カ四人ノ水兵悉ク文

字ヲ知ラスト謂ヘルヲ聞キ奇異ノ思ヲ爲セリ

凡テ日本人ハ露國ノ文字ヲ甚タ珍奇トスルコト殆ト我國ニテ彼國ノ文字ヲ奇トスル
 カ如シ或時余一ノ扇面ヲ見シニ前年ラクスマン氏ト共ニ來リシバビコフ氏ノ筆
 跡ニシテ四行ニ歌ヲ書ケリ既ニ二十年ヲ經シ扇面ナレモ數枚ノ紙ヲ以テ包ミ之ヲ
 貴重スルヲ以テ新規ナルカ如シ我等カ今回紙片及ヒ扇面ニ筆記セルモノハ其數殆
 ト數百ニ及ヘリ彼等毎ニ禮ヲ厚クレテ請ヘリ書シテ與フレハ慰勉ニ其勞ヲ謝シ其
 書ヲ額ニ當テ低頭シ或ハ贈ルニ種々ノ物品又ハ煙草等ヲ以テセリ

我等手ノ細ヲ免サレテ後煙草ヲ喫スル毎ニ看守等余カ煙管ニテ自殺スルヲ恐レ嚴
 ニ注意セシカ後煙管ノ口ニ木ニテ造レル太サ雞卵ノ如キ者ヲ嵌メテ與ヘリ我等之
 ヲ見テ大ニ笑ヒ却テ手ヲ以テ自殺スルニ容易ナルコトヲ示セシカ彼モ亦大ニ笑ヘ
 リ復アレキセイヲ以テ囚虜ノ自殺センコトヲ嚴ク看守スルハ日本ノ國法タルコト告
 ケタリ

日本人ハ奇聞ヲ好ムコト尤モ甚シ我等休息スル毎ニ我等ノ姓名年齢及ヒ兄弟親屬ニ
 係ルコト又我等ノ屬具衣服等ハ何ヲ以テ如何シテ製スルヤ等ヲ問ヒ我等ノ答ヲ一々
 筆記セリ又我國ノ言語及ヒ諸物品ノ名稱ヲ問ヒ筆記シテ辭書ノ如キ者ヲ造レリ余

思フニ日本人ノ此ノ如クスルハ只自己ノ好事ニハ非ス必ス政府ヨリ命ヲ受ケルナ
 ナルヘシ然レハ漫ニ答フヘカラスト心附キタリ
 同二十九日及ヒ三十日我六月二十二日ハ同所ニ滞留セリ或ル日本人ノ言ニ此ニ滞留
 スル所以ハ武卒ノ中ニ病者アル故ナリト又支配役來リテ謂ヘルハ人夫乏シキ故ナ
 リト此ノ如ク彼等カ言ノ齟齬スルヲ以テ察スレハ皆ナ實ナラス必ス他ニ事由アラ
 ント後チニアレキセイカクリーリ人ヨリ聞ケルト告シハ函館ニテ我等ヲ止宿セ
 シムヘキ所未タ調ハサル故ナリ既ニ函館ヨリ重役ノ者三人我等ヲ此所ニ留ムヘキ
 命ヲ蒙リテ來レリト云フ此者ハ重キ役人ナリト思ヒシニ後ニ聞ケハ將軍ノ同心ナ
 リキ

既ニシテ役人等來リ告テ曰ク汝等ヲ函館ニ嚮導シ且ツ道中諸事ヲ辨スヘキ爲メ函
 館ノ長官ヨリノ命令ヲ帶ヒ來レリト此中ノ老輩ヲ山田剛藏ト曰フ我等ヲ遇スル甚
 タ慰勉ニシテ我等ノ傍ヲ去ラス飲食等モ從前ニ比スルニ一層厚キヲ加ヘタリ剛藏
 曰ク汝等ノ爲メニ美麗ナル家屋ヲ設ケタリ自由ニ住居シ細ヲモ免ルシ長官ニ請フ
 テ余カ宅ヘモ招クヘシト我等之ヲ聞キ大ニ心勇ミ氣モ引キ立テリ嘗テ日本人ノ話
 ニ夫ノ邦ニテハ高貴ノ人ト雖モ捕ヘラル、時ハ罪ノ有無ニ拘ラス皆ナ捕縛スルハ

國法ナリト

小學校ニ於テモ生徒學業ヲ怠ルカ又ハ校則ヲ犯セハ其輕重ニ因テ縛ルヲ罰トス
 但シ其時間ハ索ヨリ長短アリト云フ

此話ヲ聞キ日本ノ風俗ハ歐羅巴ト比較スヘカラサルヲ知レリ剛藏ハ甚タ能ク我
 等ヲ守護セシ故彼カ來リシ後ハ左右ノ動靜ヲ窺フヲ止メ凡テ彼カ言ヘル事ヲ信
 用セリ

剛藏ト同時ニ來リシ者アリ南部侯ノ士ナリ威ヲ示サントテ馬尾ヲ附ケシ鎗ヲ持テ
 リ人皆ナ彼ヲ格別ニ敬ヒ彼カ命令ニ從フ由ナレトモ彼ハ我等ヲ守護スル爲メ列ニ
 加ハレルノミニテ旅中ノ諸雜費ハ函館ヨリ來リシ官吏ヨリ償ヘリ又函館ヨリ來リ
 シ者ノ中若年ノ者アリ甚タ伶俐ニシテ應對頗ル柔和ナリ我等ヲ遇スル甚タ懇切ナ
 リシ又一人有リ我等ト語ヲ交ヘシトモナク我等ヲ見ル毎ニ莞爾トシテ笑ヘリ此者
 ハ能ク心ヲ用ヒテ我等ノ話ヲ聞ケリ察スルニ此者ハ嘗テ露國ニ來リシ者ニテ能ク
 露語ヲ解スルヲ以テ我等カ舉動ヲ察スル爲メ此者ヲ從カヘシナラント疑ヒ居リシ
 カ護送者中ニモ松前ニハ露語ヲ解スル者アリト話セシ者モ無ク或ル時一村ニ宿泊
 セシ片彼レハ長官ノ書記ナリト密ニ語レル者アリキ

剛齋來レル後ハ我等ノ尊卑ヲ差別シテ待遇セリ休賦ノ時モ我等ト水兵トハ同シ榻ニ就カシメヌ又坐席モ上下ノ差別ヲ爲シ宿泊スルキハ我等士官ト水兵トハ別室ニ居ラシム但シ食物ハ孰レモ異ナルヲナカリキ

八月七日^{我日} 途中ニテクナシリ島ニ到ル日本ノ官吏ニ逢ヘリ我等ノ囚ニ就キタル現狀ヲ觀察センカ爲メ來リシト云フ彼レ我等ニ逢ヒシ故後へ返ルヘキ由ヲ命セラレタリト因テ察スルニ我等愈々罪ナキニ極リナハ此夏中ニハ我カ所領ノクリーリ島ニ返スヘシト松前奉行ノ命ヲ受ケテ來リシ者ナランカト心中竊カニ喜ヒシニ隣村ニ率ヒ行キテ我等ヲ糺ス事ニ定リタルカ又其職ヲ止メ途中ノ小屋ニ立チ寄りテ我等ニ對面セリ夫ノ役人ハ次官二人並ニ從者ヲ隨ヘテ坐セリ日本ノ街道ニハ往來人ノ便利ノ爲メ四五十町目ニハ必ス人家アルナリ

小屋ノ前面ニ二桶ヲ据ヘ其上ニ板ヲ置キ越テ掛ケタリ我等皆ナ其上ニ腰ヲ掛ケシカ彼我等ノ姓名年齢安否ヲ問ヒ傍ニ書記役アリテ其問答ヲ筆記セリ後途中ノ安全ヲ賀シテ發足セヨト云ヘリ

夫ノ役人ニ別レテ後チ山路ヲ登リ漸ク頂ニ達シ平原ト函館ノ市中トヲ遠望セリ降テ麓ニ到リシニ大ナル村落アリ大野ト曰フ其地ノ周圍凡ソ七八里許三面高山圍繞

シテ北風ヲ防キ南方ニハ函館港及ヒ津輕海峽ヲ臨ム又村中ニ數條ノ小流アリ人家ニハ菜圃及ヒ樹木アリテ殆ト園中ニ一村落アルカ如シ菜圃ニハ歐洲ニ産スル野菜類ト殆ト同一ナルモノアリ

桃梨林檎等孰モ其實熟セルアリ且又處々ニ麻、煙草、稻等アリ大野村ヨリ函館ニ至ル凡ソ二里許ナリト云フ(按スルニ大野村ハ函館南ニ五里)

余茲ニ日本國ノ人口多キト日本人ノ職業ニ勉勵ナルトノヲニ就キ少シク述ヘント欲ス讀者以テ蛇足ト爲ス莫レ我等海岸ニ沿フテ此所マテ來リタル里程凡ソ千百露里餘ナル可シ

日本人ハクナシリ島ヨリ函館迄ヲ二百五十五里ト云フ(按スルニ此里程凡ソ但シ一里ハ露ノ二千尋ニ相當ス)

此間ニ人口多キ村落各地ニ散在セリ又夏ハ處々ニ小屋ヲ築キテ住居シ業ヲ營ム其業ハ漁獵ヲ專トシ獵ル所ノ魚類ハ或ハ鹽藏シ或ハ脯ト爲ス又貝類ヲ拾ヒ或ハ海濱ニ流レ集ル昆布ヲ採リ之ヲ砂上ニ散シテ晒乾シ後我國ニテ枯草ヲ積ム如ク堆積シ其上ニ越テ覆ヒ然ル後船ニ積ミ日本ノ諸港ニ運送スト云フ都テ海産ノ魚、蝦、蟹、貝、螺、蚶等ノ類日本人ノ食料ト爲ラサルハナシ之カ爲メ海産物ノ業ヲ營ム者モ亦多

カル可シ

クリーリ人ノ住メル村ハ函館ヲ距ル四五十里許ニシテ夫ヨリ函館ノ方ハ日本人住居セリ日本人トクリーリ人ノ住居スル界ニハ急流ナル小川アリ我等此川ヲ涉リシ時ハ雨甚ク水高ク幸ニシテ涉ルヲ得タリ凡テクリーリ人ノ住メル村ハ狹小ニシテ菜圃モナク其家屋モ頗ル矮陋ナリ其中ニ漁業及ヒ賣買ノ事ヲ監視スル日本役人ノ住メル家屋アリ菜圃等モアリテ清潔ナリ又日本人ノ住メル家屋ハクリーリ人ノ住屋トハ全ク構造ヲ異ニシ索ヨリ木造ナレモ孰レモ清潔ナリ其村モ較々廣大ニシテ内ニ街衢アリ日本人ノ家屋ハ概シテ木造ナリ日本人曰ク我國ニテモ外國ノ如ク石ヲ以テ家屋ヲ造リ得ヘシ然レモ地震ノ憂アルヲ以テ之ヲ造ラスト)

家毎ニ菜圃アリ又樹林アリ人民ハ頗ル強健ニシテ容貌寛優ナリ又此邊ノクリーリ人ハ我所領ノクリーリ人ノ如ク性質沈黙ナラス孰レモ骨格太ク氣質輕爽ニシテ狀貌モイツルノクナシ島井ニ我所領ノクリーリ人ヨリ太々勝レリ

松前ノクリーリ人ト他ノクリーリ人トハ容貌全ク異ニシテ言語モ稍異ナル所アリアレキセイカ話シニ他ノクリーリ人ハイツルノクナシリノ土人トハ互ニ能ク言語通スレハ松前ノクリーリ人ト談話スル時ハ大ニ勞シテ中ニハ通セサル

アリト然レモ皆一種族ナルヲハ容貌音聲及ヒ言語ノ類似スルヲ以テ知ルヘシ

八月八日我々七月ハ護送ノ者孰レモ函館へ赴ク用意ヲ爲セリ皆新シキ衣服ヲ著シ武器ヲ携ヘ陣笠ヲ戴ケリ朝食ハ常ト異ナリ野菜ト鶏肉ノ羹汁アリ斯ノ如キ美味ヲ與フルハ悪兆ナリ既ニ道中ニテモ我等ニ快カラサルヲ爲スルハ必ス美味ヲ與ヘ且ツ待遇却テ厚シ朝飯ヲ了ルヤ否ヤクナシリ島ヨリ添ヒ來ル南部侯ノ足輕クリーリ人ノ通詞及ヒアレキセイヲ以テ我等ニ告ケシメテ曰ク痛マシケレド函館ニ入ルニハクナシリ島發足ノ時ノ如ク細ヲ懸ルナリト謂テ會釋モナク直ニ縛セリ

日本人我等ニ事ヲ告ントスル時ハ毎ニ嚴重ニ式ヲ爲シ我等ノ前ニ一列ニ并立シ日本ノ通詞トアレキセイトヲ其間ニ居ラシメ其内ノ老輩彼方ノ通詞ニ述ヘ通詞之ヲアレキセイニ告ケアレキセイヨリ其旨ヲ我等ニ傳フルナリ

剛藏并ニ其同役及ヒ南部ノ兵士等ハ我等ノ手ヲモ縛スルヲハ大ニ不同意ナレモ南部ノ足輕ハクナシリ島長官ノ嚴命ナレハ已ムヲ得ス守ラヌンハアルヘカラスト云ヒ更ニ剛藏等ノ首ヲ用ヒスシテ我等ノ兩手ヲ後ロニ回シテ縛レリ剛藏暫ク考ヘ斯ク論スルモ益ナシトテ大野村ヨリ函館マテ凡ニ三十町ヲ隔ツレハ使ヲ馳セテ其事ヲ伺ヒシニ兩手ハ縛スルニ及ハスト回答アリレカハ又細ヲ解ケリ我等ハ此所ニ

止リテ函館ニ赴クヘキ命ヲ俟テリ
 此時函館ヨリ老若男女群ヲ爲シ來觀スル者多シ又兩三人衣服馬具等ヲ美麗ニ飾リ
 馬ニ騎リ來レリ是ハ高位ノ人ナラン午後此地ヲ發足シ行列ヲ正シテ進ミ行ケリ來
 觀人ハ路ノ左右ニ并立セリ余注意シテ來觀人ノ顔色ヲ見ルニ余カ心中此地ニ着ス
 ルヲ喜ヒシ故ナルヤ孰レモ我等ヲ惡ミ又ハ我等ノ捕ハレシヲ愉快ナリト思フ色ハ
 絶ヘテ見ヘサリキ
 既ニ函館ノ市中ニ入りシニ來觀人ノ群集スルヲ殊ニ夥シ護送者等モ大ニ勞シテ往
 來ノ道ヲ開カセタリ長ク幅狹キ市街ヲ五町許モ行キ又横ニ曲レリ是ハ原野ニ續キ
 タル所ナリ原野ノ稍高キ所ニ我等ヲ入レ置ク可キ屋舎アリ其周圍ニ高キ垣アリ唯
 長キ家屋ノ棟ノミ見ヘタリ此様子ヲ見テ我等先ツ恐怖セリ此垣ノ外ニ堤アリ堤上
 ニ横條アル幕ヲ張レリ門ノ傍ニ衛所アリテ門衛居レリ是ヨリ内ハ都テ武器ヲ携ヘ
 タル歩卒ニ尋位ツ、相離レニ重ニ排列セリ彼等ノ携ヘシ武器ハ皆同シカラス或ハ
 小銃或ハ弓箭或ハ鎗ヲ持テリ其前ニ兵士等并立セリ此門ニテ我等ニ附添ヘル護送
 者我等ノ姓名ヲ記セル簿冊ヲ其門衛ニ與ヘ門衛ハ此簿冊ヲ検査シテ我等ヲシテ門
 内ニ入ラシム諸我等ヲ置クヘキ所ヲ見ルニ其室内素ヨリ暗キニ尙ホ大ナル木材ニ

テ區隔セシカ故愈暗ク殆ト大ナル烏籠ニ異ナラス一見シテ戰慄ノ思ヲ爲セリ
 日本人等垣ニ沿フテ我等ヲ一列ニ並立セシメ年内ニ配置スルヲ評議セシテ凡半
 時間許ナリ我等ハ此牢内ニテ生涯ヲ過スナラント孰レモ覺悟セリ其後日本人余
 トムールニ向ヒテ水兵ノ内何人ヲ傍ニ置ント欲スルヤト問ヒシカハ余心ニ喜ヒフ
 レイブニニコフハ何レニ置クヤト問ヒシニ是ハ別室ニ置クナリ孰レモ士官等ハ室
 ヲ分チ水兵ヲ一人宛付ケ置クヘシ小人ハ能ク落膽シ途ニ無法ノ事ヲ爲スアレハ
 水兵一人宛士官ノ傍ニ置クハ常ニ慰メ諭サシメシカ爲メニレテ我長官深ク虜徒ノ
 安全ヲ謀ル所以ナリト云ヘリフレイブニコフノ次ニ余其次ニムール及シカイエ
 フヲ一方ノ室内ニ曳キ行ケリ我等今此所ニテ別ル、ハ生キ別レナルヘト相共ニ
 涕泣シテ別ヲ告ケリ
 日本人等余ヲ柵ノ内ヘ曳キ行キ香ヲ脱セ悉ク細ヲ解キテ木造ノ格子ニテ圍メル小
 室ニ入ルヘシト命セリ余ハムール及ヒシカイエフヲ見ント欲シ四方ヲ回顧スレバ
 兩人共近傍ニ居ラサレハ頗ル落膽セリ日本人ハ一語ヲ交ヘスシテ小室ノ戸ヲ閉チ
 又柵ノ門ヲ鎖シテ去レリ是時余一人此小室ニ在リテ舊キニ朋友ニ別レシハ生涯ノ
 別離ナリト思ヒ神氣閉チテ前後ヲ覺ヘサリキ

○函館獄中ノ一

余獄内ニテ氣絶シ暫時ニシテ甦リシニ一人アリ窓ニ近寄り手ヲ以テ余ヲ招キ格子ノ間ヨリ餅二ツヲ余ニ贈リ人ノ見サル間ニ速ニ食フヘシ否ラサレハ我モ亦罪ヲ得ント言ヘリ余食氣ナク且ツ口ニ馴レサル食物ナレモ其厚意ニ感シ直ニ喫シテ厚ク謝辭ヲ述ヘタリ夫ノ人ハ喜ヘル色ニテ重テ斯ノ如キ品ヲ與ヘント約シテ去レリ其容貌甚タ賤シキ者ナルニ此災ニ罹レル外國人ヲ憐ミテ事願ルレハ己モ罪セラルヘキニ其禁ヲ犯シテ余ヲ慰ントスル志ハ實ニ感激ニ堪ヘサリキ
既ニシテ午食ヲ持來レモ食氣ナクハ之ヲ戻シ夜ニ入り又持來レモ食スル能ハス唯獄舎ヲ逃出セン事ノミ工夫セリ余カ察カレタル室内ハ高サ八尺許横縦共六尺四方ニシテ室ト前面ノ廊下トノ間ハ太キ材木ノ格子ヲ以テ隔リ其格子ノ中央ニ戸アリ大ナル鍵ニテ鎖セリ壁ニ二ノ窓アリ孰レモ太キ木ヲ以テ格子ト爲シ其内面ニハ紙貼ノ障子アリテ開闔自在ナリ其一方ノ窓ノ前ハ僅ニ二尺許ヲ隔テ垣アリ他ノ一窓ハ南面ニテ獄舎ヲ圍メル外柵ニ對ス此窓ヨリ僅カニ山野曠原及ヒ津輕海峽ノ一部ヲ眺望スヘシ然シテ入口木戸ノ傍ニ一ノ圓アリ板ヲ鋪キ中央ニ深キ箱アリ又木ニテ造レル一箇ノ楯アリ甚小形ニシテ僅ニ坐スルヲ得

倍テ余ハ獨リ黙坐シ室内四方ヲ見廻シテ考一考スルニ今若シ一小刀アレハ夜半一時半以內ノ時間ニテ此窓ノ格子ヲ斫リ抜キ外柵并ニ塙ヲモ踰ルヲ得ヘシ若シ小刀ヲ余ニ與フル者アリテ恙無ク逃レ出ルモ余一人ニテ何レニカ往ン若シ幸ニ海邊ニ到リ小舟ヲ得テ東風ニ棹シ難輿地方ニ達スルモ殘レル同厄ノ聲ハ尙ホ嚴ク禁錮セラレ一層艱難ニ陥リ或ハ殺害セララル、モ圖リ難シト思ヘハ余一人遁レ去ルモ不可ナリト其發念モ烟ノ如ク消失セリ
夜半ノ頃夜着ト蒲團トヲ持來レリ蒲團ハ新シケレモ夜着ハ古ク汚レテ臭氣アレハ隅ニ投捨テ置キ用ヒス又終夜凡ソ一時間毎ニ番人構ノ外ヲ環視シテ廻レリ
始メ日本ノ番人ハ唯木ヲ鳴スノミト思ヒシニ一小片ノ木ヲ二ツ打合セラ時刻ヲ報シナカラ構ノ外ヲ廻リ非常ヲ戒ムルナリ
又構内ニ居ル番人ハ時々燭ヲ照シテ余ノ舉動ヲ視查セリ
曉ニ至リ四圍寂寥タリシカ露語ニテ物語レル聲ノ耳ニ入りシカハ怪ミテ窓ノ側ニ往キ耳ヲ欽テ、之ヲ聞ケハムトシカトエフト話ヲ爲セルナリ不意ニ露語ヲ聞キタレハ同厄ノ聲モ同ク獄内ニ在リテ互ニ談話シ心ヲ慰メ鬱悶スルヲモ少カリシト思ヒ心婦シク覺ヘタリ又余カ密謀ヲ彼等ニ告テ一同ニ逃レ去ル可キ機會モアラ

ンカト樂ミ居レリ兩人ノ話ハムールカアルハンゲリスクノ事ヲ夢ミシトシカトエ
フニ語レルナリ彼等ニ余カ爰ニ居ル事ヲ知ラセント思ヘ凡若シ聲ヲ揚ケナハ尙災
ヲモ惹キ起サンコトヲ恐レテ黙セリ既ニシテ歩卒并ニ牢番等起キ來リ水ト湯トヲ持
來タリ盥嗽ニ供セリ盥嗽ノ間ハ入口ノ戸ヲ開キ置キ盥嗽了リタレハ其戸ヲ閉タリ
夫ヨリ朝飯ヲ持來レ凡余未タ食氣無ケレハ食セサリキ
晝頃ニ至リ獄舎ノ頭役ノ如キ者クリトリ通詞ト醫師及ヒアレキセイトヲ伴ヒ來レ
リ

後ニ聞ケハクリトリ通詞ハ上原熊次郎ト稱シ年ハ五十歳前後ナラン醫師ハ東江
ト稱スルモノナリキ

彼等格子ノ外ヨリ言ヘルハ若シ病氣ナレハ其趣ヲ此醫師ニ告クヘシ此醫師ハ汝等
ノ安否ヲ問ンカ爲メ松前奉行ヨリ差遣セシ者ナリト彼等談話ノ間ニ余竊ニアレキ
セイノ話ニテフレレブニニコフハシモトノフマカロフ及ビワシリエフト同居シ
アレキセイハ余カ如ク獨居シ其室ニ窓ナキヲ以テ甚タ暗ク且ツ不潔ナリト聽ケリ
既ニシテ晝食ヲ持來リシカ食スル能ハス入口ノ戸ヲ開キ竊ニ罵リ其食物ヲ余ノ側
ニ置キ出テ往キテ戸ヲ閉チタリ然レ凡余ハ少シモ食氣ナケレハ食セサリキ

薄暮又獄舎ノ頭役通詞熊次郎トアレキセイトヲ伴ヒ來リテ余ニ告ケテ曰ク此地ノ
長官汝ノ徒然ニシテ鬱悶ニ堪ヘサランヲ察シ水兵ノ中汝カ好メル者一人ヲ側ラニ
居ラシムヘシト命セリ依テ指名セヨト余實ハムールトフレレブニニコフト望メ
凡只難ニテモ好シト答ヘシカ必ス一人ヲ指名スヘシ是レ長官ノ意ナリト勸メシカ
ハ然ラハ順次ニ交代セシムヘシ先マカロフヲ呼フヘシト云シニ即時マカロフ
ヲ連來レリ余アレキセイヲ以テ今マカロフ余カ方ニ來リタレハワシリエフハ
ムールノガニ置カレンコトヲ日本人ニ請ヒシニ其事ハ許サレスト答ヘリ水兵ヲ側ニ居
ラシムルハ固ヨリ日本人ノ實意ニ出シ事ナルニムールニ水兵ヲ付ケ置クコトヲ許サ
ルハ余ニ於テ大ニ疑ヘリ余始アレキセイヲ連來リシ官吏ハ獄舎ノ頭役ナリト
思ヒシニ此時アレキセイノ話ニテ此人ハ此地ノ長官ニ次テ重役ナルコトヲ始メテ聞
ケリ余アレキセイヲ以テ我等ヲ何レノ日マテ斯ク禁獄スルヤト問ヒシニ幾ナラス
シテ孰レモ同居セシメ遂ニハ本國ヘモ歸ラシムヘシト云ヘリ余又其同居スルハ近
キニ在リヤト問ヒシニ否ト云ヘリ我等此ノ如キ災厄ニ罹リシヲ以テ總テ日本人ノ
一言半句ニモ注意シテ深思熟慮セリ若シ彼役人ノ日同居サスヘシト云ハ、却テ疑
ヲ生スヘケレ凡期限ヲ答ヘサレハ其首ノ實ナルヲ察シ心中少シク喜ヲ生セリ

日本人等出去レル後余マカローフヲ回顧セシニマカローフハ甚々驚ケル体ニテ余カ面ヲ見且ツ曰ク此所ハ窓ヨリ山水ノ眺望アリテ實ニ絶景ナリフレীবニコーフワシローエフアレキセイ等ノ居ル所ニ比スレハ實カニ優レリ他ノ者ノ居ル所ハ大ナル材木ニテ造ル矮屋ニテ其人口ハ匍匐セスンハ出入スヘカラス日光モ見ヘス眞ニ暗室ナリト余此言ヲ聞キ大ニ驚キタリ

夫ノ官吏ノ言トマカローフノ話トヲ聞キテ鬱悶モ稍散シ函館ニ達セシヨリ以來今夕始テ少シク食ヲ喫セリ

我等函館ニ達セシ以來食物甚々粗ナリ大抵飯ト蘿蔔又ハ葱ヲ入レタル汁ト煮豆ナリ煮豆ノ代ニ鹽漬ノ蘿蔔二片ヲ與ヘシ事モアリ又種ニハ素麵又ハ敗腐セシ麵ノ煮タルモノヲ與ヘ或ハ蘿蔔汁ノ代リニ鯨汁ヲ與ヘシ事モアリ凡ソ函館在留五十日間ニ兩度蝶ノ半分ニ切リタルヲ醬油ニテ煮タルモノヲ與ヘタリ毎日ノ食事ハ朝入時晝ハ十二時夕ハ四時ナリ飲物ハ湯ナリ又時々砂糖ヲ入レサル茶ヲ與ヘ

夜ニ至レハ丸キ枕ニテ持來レリ枕蒲團ハ木綿ノ袋ニ麻ノ實ヲ容レタル物ナリ

○函館ノ官廷ニ出テ糾問ヲ受ケル

八月十日朝通詞熊次郎來リ告ケテ曰ク今日此地ノ長官汝等ニ面會セントス因テ午後官廷ニ出ツヘシト其時刻ニ至リ我等ヲ獄舎ヨリ出シ兩手ヲ殘シ身体ヲ縛シ一人毎ニ縛シタル繩ノ端ヲ執リ一列ニ並立セシメ途中ヲ守護スル爲ニ來リシ官吏指揮シテ諸般ノ用意ヲ爲サシム用意整テ後白髪ノ老人二人羽織ヲ着シ手ニ大ナル棒ノ先ニ斧ヲ付タル武器按ヌルニヲ持テ先ニ立テリ次ニ兩刀ヲ帶ヘル南部ノ足輕三人其次ニ余余カ側ニ官ノ同心一人後ロニ又一人アリテ余ヲ縛スル繩ノ端ヲ取レリ其後ロニムールフレীবニコーフ水兵及アレキセイ等皆同様ノ体ニテ列ヲ正シ歩行セシム最後ニ又南部ノ足輕三人後ヲ押ヘリ

右ノ如キ行列ニテ長キ街ヲ舒ニ歩行セシム家毎ニ來觀者群集セリ余始テ此所ノ人家ハ皆商店ナルヲ知レリ此街ヲ過キ左ノ方ニ曲リテ山アリ其上ニ堤及ヒ柵ニテ圍メル官舎アリ此門ニ入レハ庭ニ甚々粗造ナル車臺ニ銅砲ヲ載置セルモノアリ此所ヨリ小キ木戸ヲ過キ又別ノ庭ニ到レハ官ノ同心數人居リテ皆弓銃ヲ備ヘ疊ノ上ニ坐セリ夫ヨリ我等ヲ家屋ト倉庫トノ間ニ率ヒ行キ庭ヲ覆ヒタル榻ニ我等三人ヲ坐セシメ水兵トアレキセイトハ地ニ庭ヲ敷キテ坐セシム既ニシテ長官ノ命ナリトテ上品ノ煙草ト茶ト砂糖トヲ與ヘリ函館ニ着セシ以來煙草ヲ喫セサレハ是ヲ嗜メル

者ハ何ヨリ優レル應ナリト謂ヘリ

是ヨリ後我等ノ煙草ヲ嗜メルヲ知リ余并ニムールヲ看守スル者時々煙管ニ煙草ヲ吸ヒ付テ格子ノ外ヨリ喫セシメタリ但兩人ノ外ニハ與ヘサリキ

此所ニ待ツ久シケレハ互ニ種々ノ談話ヲ爲スヲ得タリフレイブニイコフノ居ル室ハ嚮キニマカいろフカ話セシ如クナリト又ムールノ居ル室ハ余カ居ル所ト同ク窓モニツアリテ眺望モ甚タ好シト云ヘリ

此所ニ待ツ凡ソ一時間餘傍ナル家ヨリ甲比丹ホワリント呼ヘリ日本人ハ余カ姓ヲホワリント解セシト見ニ

即チ余ニ添附ヘル二人ノ同心余ヲ率ヒ大ナル門ヲ過キ直ニ其扉ヲ鎖シ廣キ白洲ニ入レハ又二人ノ同心來リテ余ヲ受取レリ此所半ハ天井モナク床モナク唯小石ヲ敷キテ殆ト納屋ニ似タリ一方ハ地ヨリ高サ三尺許ナル床アリ其上ニ疊ヲ敷ケリ其床ハ廣サ十尋高サ一丈八尺許ナリ頗ル美麗ニ畫ケル襖ヲ以テ他ノ諸室ト區隔ヲ爲セリ窓三ツ皆木ノ格子アリテ障子ヲ遮テ硝子ヲ用フヘキ所ニ紙ヲ貼セリ此床ノ上右方ナル壁ノ高サ四尺許ノ所ニ手械テカキ鐵鏈捕細其外種々拷問用ノ器具ヲ吊置セリ余始メ此所ニ來リシ時ハ拷問所ナリト思ヘリ同厄ノ輩モ皆左コソ思ヒシナラン長官ハ其

疊ヲ敷ケル中央ニ坐シ後ロニ書記役二人其前ニ紙ト硯箱トヲ置ケリ長官ノ左右ニ次官着坐シ又其左右ニ輕キ官吏一人ツ、各其間五六尺許ヲ隔テ嚴然トシテ列坐セリ何レモ日本風ノ黒キ衣服ニテ腰ニ短刀ヲ佩ヒ左側ニハ各長刀ヲ置ケリ床前ノ左右ニハ圓坐ヲ敷キ守護ノ者無刀ニテ坐シ通詞熊次郎ハ床ノ右方ノ端ニ座ヲ占メタリ

余ヲ受取リタル同心余ヲ敷石ノ上ニ坐セシメントセシニ長官特ニ命スル所アリテ余ヲ長官ノ前ニ立シメタリ其後テムール來リ余カ右側ニ立ツ又フレイブニイコフ來リテムールノ側ニ立テリ夫ヨリ水兵一人ツ、來リ皆余カ後ロニ坐シ最後ニフレイブニイコフ來リテムールノ右側ニ立テリ

都テ日本人ハ左ヲ上トシ右ヲ下トス余曾テ之レニ注目セシニ何レノ所ニテモ然リ其後之ヲ日本人ニ問ヒシニ理由ハ知ラサレ左ヲ以テ上トスト云ヘリ坐定リテ後通詞我等ニ告ケテ曰ク上坐ニ在ルハ長官ナリト我等彼ニ向テ禮ヲ爲セハ彼亦頭ヲ低レテ答禮シ懷中ヨリ書面ヲ出シ余カ官位姓名生國ヲ問ヘリ余答フレハ書記二人アリテ逐一之ヲ記セリ

余カ姓名ヲ問ヘル時アレキセイクリトリ語ニテ汝ノ名ニ何ト云尾アリヤト問ヘ

リ尾ト云詞ハ彼等ハ終ト云フニ用アルノ外他ノ意味ナケレハ何ノヲタルヲ解セ
 ス其時アレキセイ譬ヲ設ケテ云ヘルハ己ヲアレキセイト曰フ然レモ尙下ニマク
 シ一モウ井チト云尾アリト余之ニテ父名ヲ問フ事ナルヲ悟レリ凡テアレキセイ
 カ通辯ハ率テ此類ナレハ之ヲ解スルニ時ヲ費スフ多カリキ
 ムールフレイブニニコフ及ヒ水兵ニ至ル迄姓名等ヲ問ヒ其答ヲ筆記セリ次ニ又余
 ヨリ始メ順次ニ年齢、父母ノ名、兄弟、妻子有無ヲ問ヒ又出生地ヨリサンクツペテルブ
 ールグ府ニ至ル迄ノ里數ヲ問ヘリ我等各出生地ヲ答ヘシ時日本人不審ヲ起シ汝等
 各出生地斯クノ如ク異ナルニ何故ニ同船ニ乗組來レルヤト問ヘリ我等出生地ハ各
 異ナレモ皆ナ本國ノ一帝王ニ仕フル者ナレハナリト答ヘリ又余ハ陸上ニ於テ幾許
 ノ兵ヲ指揮スル職權ヲ有スルヤ各艦兵員ノ數ハ幾許ナルヤヲ問ヘリ此答ニハ余甚
 タ困却セリ然ルニ彼頻リニ兵員ノ數ヲ問シカハ余彼ニ答フ艦ノ大小又ハ場合ニ依
 リ其數ハ甚タ差等アリテ一定セスト云ヒシニ汝カ官職ニテハ兵員幾許ヲ指揮スル
 一ヲ得ルヤ其大略ヲ聞カン事ヲ欲セリ余此難問ヲ遣レント思ヒ彼ニ陸軍武官ノ官
 等ヲ示シ譬ヘハ陸軍少佐ハ大隊ヲ指揮シ陸軍大尉ハ中隊ヲ指揮スルカ如シト答ヘ
 シニ日本人ハ猶ホ此事ニ就キ種々ノ問ヲ發シテ我等ヲ苦シメタリ夫ヨリ我艦名其

大サ及ヒ備裝セシ大砲ノ數等ヲ問ヒ又先年日本國ニ來リシラクスマツハ黒キ髪ヲ
 長ク垂レ毎日之レニ粉末ヲ搽セリ今汝等ハ其髪皆短シ之レニ關シ定メテ國法改正
 セシナル可シト問ヘリ余頭髮ノ制ハ國法ニ拘ルヲナシト答ヘシカハ日本人大ニ笑
 ヘリ又次ニ我等カサンクツペテルブールグ府ヲ發シテヨリノ航路ヲ問ハンカ爲メ
 我女帝エカタリーナノ頃露國大學校ニ使用セシ地球儀ヨリ描寫シテ刊行シタル地
 圖ヲ出シテ余ニ示セリ余此圖ニ就テ我等カ航路ヲ示シ且ツ前キニクナシリ島ニ於
 テ日本官吏ニ贈リタル地圖ニハ詳ニ航路ヲ記載セシカ今其圖ハ何レノ所ニ在リヤ
 ト問フ日本人曰ク其地圖ハ未タ此所ニ來ラスト右ノ如ク航路ヲ問ヘルノミナラス
 何ノ日何ノ地ニ到リシヤ等詳ニ問テ逐一筆記セリ且ツ通詞再三問ヒ返シ相違ナキ
 ヤ否ヤヲ聞糺セリ此日本語ノ通詞熊次郎並ニクローリ語ノ通詞アレキセイモ通辯
 ニ未熟ナル上加ルニ日本人ノ問ハ甚タ細密ナレハ一事件ニ就テモ多ク時間ヲ費セ
 リ問答了リ長官我等ニ告クテ曰ク尙ホ問フ事アレハ再ヒ呼出スヘシ先ツ歸リテ休
 息スヘシトテ我等ヲ退カシム
 日沒頃官廷ヲ退キ獄舎ニ歸レリ途中見物人夥ク群集セリ是ハ何レモ晝ノ業ヲ畢リ
 タル故斯ノ如ク多人數ナリト覺ユ既ニ獄舎ニ歸リタレハ長官ヨリ我等ニ木綿ノ襪

衣一枚宛ヲ給シ且ツ其夜ハ酒ヲ與ヘリ我等官廷ニ出テタル後余カ居レル獄舎ノ廊下トムールノ居レル獄舎ノ廊下トヲ隔テタル板ヲ取リ外シ其間ニ看守ノ看張所ヲ設ケ其所ヨリ余トムールノ獄舎ヲ監視セリ是ニ因テ余トムールハ互ニ談話スル事ヲ得タレモ然レモ脱獄ノ計策ハ敗レタルカ如シ夫ヨリ數日ノ後余ハ夫ノ次官ナル太田彦助ニ向ヒ我等互ニ接話スルモ妨ナキヤト問ヒシニ汝等互ニ談セント欲セハ高聲ニテ語ルヘシト答ヘシカ夫ヨリ牢内ニ於テ互ニ談話スルヲ得タリ但日本人ノ耳ニ入り害ト爲ルヘキ事ハ慎ミテ言ハス是レ若シ露語ヲ解スル人アリテ事ノ漏ルハヲ恐レテナリ且ツ露語ノ外ハ他國ノ語ヲ交ユル事無シ疑心深キ日本人ナレハ若シ之ヲ聞キテ禍ヲ招ンコトヲ慮レハナリ

我等函館ニ於テ初メテ長官ノ前ニ出シ後既ニ十八日ヲ經過スレモ再ヒ呼出スコトモナカリシカ余日本人ニ其故ヲ問ヒシニ只知ラスト答ヘリ毎日巡視ノ官吏醫師ト通詞トヲ伴ヒ來リ我等ニ無病ナルヤ又ハ要用ノ事ハナキヤト問ヘリ是ハ日本人ノ厚ク意ヲ用ル所ト見ヘタリ然レモ日々與フル所ノ食物ハ甚タ粗惡ニシテ味ナキ蘿蔔汁ナリキムール胸痛ヲ患ヒタレハ醫師來診シテ草根ノ藥劑ヲ投シ時々之ヲ飲ムヘシト云ヒ更ニ滋養物ヲ與フルコトナク只務メテ多ク食セヨト云ヘル而已ナリキ

日本ノ醫師ハ患者ニ滋養物ヲ與フルニハ更ニ注意セス只多ク食セヨト云フ若シ患者其勸メニ任セ多ク食スルハ疾病快愈ノ前兆トセリ一日ムール日本人ニ向ヒ食物ノ粗惡ナルヲ歎キテ此ノ如キ食物ニテハ醫藥ヲ服スルモ效驗ハアラシト云シカ夫ノ次官ナル太田彦助ムールニ向ヒ露人ハ疾病ノ時ニハ何ヲ食スルヤトムール答テ曰ク此ノ如キ時ハ常ニ雞ノ羹ヲ食スルナリト彼又曰ク如何ナル製法ナルヤ其法ニテ製シ與ヘント云シニ因リムール委ク製法ヲ教ヘケレハ彼之ヲ筆記シタレハ全ク彼カ好事ニテ聽シ事ト見ヘ其後雞ノ羹ヲ出セシトモナク遂ニ書餅ニ屬シ食物ハ前ト異ナル事ナカリキ太田彦助ハ毎度我等ヲ嘲弄セリ一日我等ニ向ヒ牛肉牛乳ハ露人ノ好ム所ナレハ與フヘシト約セシカ數日ヲ經テ此節牛ハ昔ナ農業ニ使用中ナレハ約ヲ蹈ムヲ得スト云ヘリ又一日我等ニ酒ヲ飲マシムヘシ水兵等ヲシテ歌舞セシメヨ先年ラクスマンカ來リシ時露人ノ歌舞ヲ見シカ甚面白カリシト云ヘリ余答テ曰ク我等此ノ如キ災厄ニ陥リ何ソ歌舞ヲ爲スノ念アラシト云ヘリ聞キテ實ニ然リ日本人ニテモ此ノ如キ身上トナリテハ歌舞ヲ爲シ快シトスル者ナシト云ヘリ毎日獄舎ヲ巡視スル官吏ハ時刻ヲ定メテ來レリ通詞ノ熊次郎ト醫師ノ東江モ亦日

々來リテ數時間我等ノ側ニ在リテ種々ノ器械ヲ示シ露國ノ名稱ヲ問ヒ筆記シテ辭
 書ノ如キ一冊ヲ作レリ一人余ニ就テ問ヘハ又一人フレীবニコフニ就テ問ヒ
 少シモ間隙ナシ東江ハ頗ル地理ヲ好メルニヤ歐洲版ノ地球圖ニ倣ヒ日本國ニテ版
 刻セル地球圖及日本國州郡圖ヲ持來リテ我等ニ示セリ日本ノ諸官吏及ヒ監守ノ步
 卒等紙ト扇トヲ多ク持來リテ我等ニ露國ノ文字ヲ書センコトヲ願ニ請ヘリ尤モ之ヲ
 請フニ甚タ丁寧ニシテ書シ與フレハ厚ク謝スルヲ以テ我等モ謝絶シ難ク其需ニ應
 セリ然レモ一時二十本或ハ二十本ノ扇ヲ持來リ強テ請フニハ殆ト困却セリムール
 フレীবニコフハ殊ニ書ヲ善クシケレハ頼リニ書シテ與ヘタリムールハ一步卒
 ノ爲メニ紙面七十枚ヲ書セリ彼等ハ其書ヲ購求スル者ニ與ヘテ多ク利ヲ得タリト
 聞ケリ

日本人ハ尤モ新奇ヲ嗜好スル性質ニテ諸邦ノ物品ヲ集メテ弄フコトヲ樂シメリ夫
 ノ步卒等カ珍奇ナリトシテ秘藏シ我等ニ示シタル物品ハラクスマンカ此地ニ來
 リシ時水兵等ヨリ得タル所ノ書畫小刀銅錢鈕釦及ヒ寶石ノ類ナリ
 其内ニモ官吏等ノ書ヲ請ヘルニハ最モ煩勞ニ堪ヘザリキ如何トナレハ書シテ與フ
 レハ其譯ヲ問ヒ再ヒ又フレীবニコフニ就テ譯ヲ問ヒ其譯辭ノ異同ヲ試メリフ

レীবニアコフノ書スル時モ亦然リ或ル時一官吏余ニ大ナル紙ニ露國ノ文字ヲ書
セシテ請ヒシト三タヒ余書シテ與ヘタルニ尙ホ又頼リニ請ヒシヲ以テ余ハ既ニ
煩ニ堪ヘス強テ其望ニ應シムレモ文意ノ頗ル過激ニ涉リタルヲ以テ大ナル災害ヲ
來サシカト後悔セリ其書セシ辭ニ曰ク

囚虜ニ非スシテ武装儼然タル露兵此地ニ來ル時ハ必ス我等七人日本人ノ爲メ館
僞ニ陥リ毫モ罪過ナキヲ罪人ト爲シテ捕縛シ囚獄ノ苦ヲ受タル事ヲ聞知スルナ
ラン願クハ同胞ノ露人ヨ此狀ヲ露國臣民ニ汎ク告知シ正當ノ帥ヲ起シ我等ノ爲
メ仇ヲ報シテ

ト書レテ與ヘケレハ彼其譯ヲ問シ故是ハ露國ノ僱歌ナリ若シ露人此地ニ來ラハ出
シテ唱ヘサセヨ夫マテハ秘藏スヘシト答ヘシカハ彼又之ヲフレীবニアコフニ示
シテ其譯ヲ請ヘリフレীবニアコフ之ヲ見テ大ニ驚シカ良久シテ余カ意ト同ク此
唱歌ハ甚ク六ヶ敷事ニテ譯シ難シト答ヘテ止ミヌ

八月廿五日我七月十九日太田彦助足輕人足等多人數ヲ率ヒ來リテ獄舎ノ前ニ群集セリ余
何事カト怪ミシニ二人ノ男アリテ余カ獄内所持ノ權トムール及ヒフレীবニアコ
フノ草袋等ヲ攜ヒ來レリ余大ニ驚キ此等ノ品ハ何故ニ日本人ノ手ニ入りシヤ我カ

艦「チアーナ」號ハ春ニ取ラレシヤ如何ニシテ「チアーナ」號ハ此地ニ來リシヤト大ニ怪
ミシニ彼等此品ハ誰々ノ所持ナルヤト問ヒ且ツ「チアーナ」號ノクナシリ島ヲ出帆セ
シ時此等ノ物品ヲ海岸ニ遺シ置キタルヲ聞キ始テ安堵シ又「チアーナ」號カ露國ニ
歸航セハ我等カ此ノ如キ災厄ニ罹リシコトモ上聞ニ達スルナラント思ヒ稍心ヲ慰
メタリキ

右ノ諸品ハ我等カ所有ナルヲ夫々答ヘタリ察スルニ是ハリコルツカ厚意ニテ
我等ノ用フル事モアラソカトテ送リシナルヘシ日本人等其品ヲハ我等ニ渡サ、リ
シモ是等ハ實ニ要用ナル物品ニテリコルツカ厚意ニ感シタリ

余ハ今回遭難ノヲ逐一日誌ニ記載セント思ヘ紙墨ナケレハ偶然思ヒ付テ一種
ノ工夫ヲ爲セリ夫ハ衣服ノ糸ヲ抽キ取り之ヲ結ヒテ配臚ノ印トスルナリ我等カ意
ニ快カリシ事ヲ配臚セントスル時ハ襦袢ノ袖ヨリ白キ糸ヲ取りテ之ヲ結ヒ不快ニ
感シタル事ヲ配臚セントスル時ハ領巾ノ黒キ糸ヲ抽テ之ヲ結ヘリ又善フヘク憂フ
ヘキ事ニ非スシテ只珍ラシキト思フ事ニハ衣服ノ裏線ノ糸ヲ以テ印トシタリ
是日看守者ノ一人來リテ竊カニムールニ告テ曰ク汝等ハ最早久ク此函館ニ居ラサ
ルヘシト余考ルニ此言信スヘカラス何トナレハ第一ニハ此頃日本人ヨリ我等ノ臥

具ニセヨトテ綿ヲ入レタル襪衣ヲ贈レリ是レ旅中ニ携ヘ行クヘキ者ニ非ス第二ニ
ハ我等入獄ノ後數日ヲ經テ其周圍ニ新ニ數ヶ所ノ監舎ヲ設ケ且又獄舎ノ事務ヲモ
改正セレ事多シ此ニ因テ見レハ尙ホ久ク此所ニ置ク事ナル可シ

○再ヒ函館ノ官廷ニ出テ糾問ヲ受クル

八月二十八日^{我七月廿二日}再ヒ官廷ニ呼出サレヨリ路次并ニ官廷ノ景况モ疊日ト異ナル
ナシ官吏等モ皆ナ初メ見タリシ人々ナリキ我等坐ニ就テ後チ長官襖ノ内ヨリ出テ
坐ニ就キ懷中ヨリ書札ヲ出シ我等ノ名ヲ呼ヒ通詞ニ命シテ言ハシムルニ先日汝等
カ答ヘタル條々松前奉行ニ達セシニ尙ホ審ニ問ヒ糺スヘシト故ニ我カ問フ事ヲ聊
モ包藏セス逐一答フ可シト余答テ曰ク我等日本人ニ對シ少シモ偽リ飾ル事ナク何
事モ正直ニ言フヨリ外ナシト

松前ノ奉行ハクナリ諸島并ニサハリノ島ヲ統轄スル官ニシテ歐羅巴ニ於ケル
縣知事ト同シ日本人ヲオブニヤウ又ブニヤウ^{奉行ノ事}ト稱ス

是日其間ヘル所大抵疊日ト異ナルヲナケレ或ハ其順次ヲ變シ或ハ前ト異ナル事
ヲ二三件問ヒシカハ我等之ヲ了解スルニ甚タ容易ナラサリキ要スルニ其問答數端
ニシテ枚舉ニ違フラス且其時我等筆墨ヲ有セサレハ一々其問答ヲ筆記セサリシヲ

以テ今順序ヲ逐テ之ヲ詳叙スルヲ得ス其内著シキ者ヲ擧レハ大概ヲ左ノ如シ

- 一レザノフハ日本國ヨリ出發シテ何レノ所ニ行キシヤ
- 一彼ハ何所ヨリ露國ニ歸リシヤ
- 一彼レノ露國ニ歸リシハ何頃ナリシヤ
- 一二隻ノ露艦ニ日本ノ海岸ヲ亂暴セシムルヲ命シタルハ何人ナリシ
- 一何故ニ亂暴ヲ爲セシヤ
- 一何故ニ村落船舶米穀其他諸物品ヲ燒キ拂ヒシヤ
- 一其時捕ヘ行ケル日本人ヲ如何セシヤ
- 余右ノ條々ニ答ル事左ノ如シ
- 一レザノフハ日本國ヨリカムチャツカ半島ニ渡航シ又亞墨利加商社所轄ノ村落ニ行キアホーツスク府ニ返リ夫ヨリサンクトペラルプーノルグ府ニ歸ラントスル途中クラスノヤールスク府ニテ病死セリ
- 一日本ノ屬地ヲ襲ヒタル船ハ商船ニテ露國皇帝陛下ノ軍艦ニ非ス故ニ其乘員モ公務ニ服スル者ニ非ス
- 一其亂暴セシハ全ク彼カ自己ノ意ニ出テタル事ニテ彼等ノ目的ハ單ニ日本人ノ財

物ヲ掠奪スルニ在リシナラン且彼等ノ考ニハ己レノ所業ニ關シテ日本國ヨリ露國政府ニ向テ訴フルノ患ナシ何トナレハ日本國ト露國トハ互ニ交際セザルト云フ事ヲ彼等ハ他ヨリ聞知スレハナリ

一家屋船舶其他諸物品ヲ燒拂ヒタルハ索ヨリ彼等カ暴虐ノ所爲タルヲ勿論ナリ

一其捕ヘ返リシ二人ノ日本人ハアホーツスクニ於テ放免シ索ヨリ獄ニモ繋キ置カサルカ故ニ或夜小船ニ乘シ遁レ去リタレハ其蹤跡ヲ詳ニセス

日本人ハ先年北海道ニ寇シタル露艦々長ノ名ヲ聞ヒシ故フオストロフ及ヒダウイ

ドフト答ヘシカハ之ヲ聞キテ驚愕セル色ニテニコライアレキサンヅロウイチ及ヒ

ガウリロイワリノウイチト稱スル者ト同人ナリヤト言ヘリ余ハ日本官吏ガフオ

ストロフ等ノ名ト父名トヲ委ク知リテ其姓ヲ知ラサルニ驚ケリ思フニフオストロ

フニ捕ハレシ二人ノ者日本國ニ歸リテ其名ト父名トヲ告タル者カ若シ然ラハ彼等

ノ姓ヲモ明ニ知ルヘキニ之ヲ知ラサルハ實ニ怪ムヘキ事ナリ余モ其實フオストロ

フ及ヒダウイドフトハ知己ナレド只フオストロフ及ヒダウイドフト云フ名ノミヲ

知ルト答ヘシハ又彼等ノ身上其他ノ件ニ關シ日本人ヨリ種々ノ問ヲ起サレシヲ

恐テナリ然ルニ果シテ日本人彼カ親族職業等ヲ問ヒケレハ余ハ只彼等ニ關シテ風

評ノミヲ聞キシナレハ詳ナル事ヲ知ラスト答ヘシニ日本人ハ半信半疑ニテニコラ
 イアレキサソングロウイチトフオストトフトハ同人ニ非スト思ヘル様子ナリキ
 又問ヒクルハフオストトフカ北海道ニ寇シタルヲ露國政府ハ別ニ之ヲ附セス剩ヘ
 彼等再ヒ襲ヒ來リタルハ何等ノ理由ナルヤト余答テ曰ク其頗未ハ委ク知ラサレト
 モ察スルニ彼ハ其乗組員ト共ニ其事ヲ秘シカムチャツカ半島ノ長官ニモ告ケサリ
 シナル可シ何レニモ彼カ一己ノ私慾ヨリ出タルトニ疑ヒナシト言シカハ日本人之
 ヲ聞キ尙了解セスシテフオストトフノ乗込タル船ト共ニカムチャツカ半島ノ港ニ
 在リシ船舶ハナカリシヤ又汝等ハカムチャツカニ於テ彼等ト居合セサリシヤト問
 ヒ夫ヨリ露國ノ帝都ヨリカムチャツカ半島ノベツロバウロウスク港迄ノ路程ヲ
 問ヒ又我等カ日本海岸ニ來レル時ト彼賊船ノ船ヲ云フノ來レル時侯トヲ委ク穿
 鑿シテ比較シ又一ニハ我等ハレザノフカサンクツペラルブルグ府ニ返リ彼カ
 日本國ニ使ヲ奉シ充分ニ目的ヲ達スルヲ得サリシヲ以テ之ヲ爲メ我等ハ特ニ來
 航シタルモノト考ルカ如シ又何故ニ我等ハ遠洋ヲ航海スルヤ其艦ノ裝置ハ如何ナ
 ルヤ兵卒ハ幾許大砲ハ幾門ヲ備ヘルヤ露國ニ於テ航海術ハ何程進ミシヤ等ヲ問ヒ
 其他種々ノ問アリテ逐一記スル能ハス彼等ノ最モ驚歎スルトコロハ我艦船ハ薪水

食料等購求スル爲メ屢々諸港灣ニ寄航セスシテ斯ノ如ク久シク大洋ニ在ルヲ得ル
 ハ如何ナルヲナルヤ何故ニ露人ハ巨大ナル軍艦ヲ造リテ大洋ヲ航スルヤ何故ニ大
 砲ヲ始メ其他ノ武器ヲ備ルヤ何故ニ汝等ハサンクツペラルブルグ府ヨリ海濱ニ
 沿フテカムチャツカ半島ニ到ラスシテ大洋ヲ航スルヤ等ヲ問ヒ終リニ我等カ航海
 ノ主意ヲ委ク聞ント請フ是ハ余ガ前ニモ記セシ如ク我等ハ未測ノ海灣ヲ測量セシ
 カ爲ナリト云ハ、彼等ノ疑惑ヲ生セシトテ恐レテ只カムチャツカ半島ニ官府ノ貨
 物ヲ運送シ且ツ又他ニ一二ノ要件アリテ航海セシト答ヘタリ
 我等ノ航海中ノ事ヲ問ヘル内ニカムチャツカ半島ヨリアホーツスク港又同所ヨリ
 イルクーツスク府同府ヨリサンクツペラルブルグ府迄ノ路程ヲ問ヘリ因テ思フ
 ニ我等サンクツペラルブルグ府ヲ發セシ時ハ既ニレサノフハ日本ヨリ同地ニ
 歸着セシヤヲ聞カント欲セシナラン又レザノフカ日本國ニ渡航セシ船ノサンク
 ツペラルブルグ府ニ返リシ時彼ハ其船ニテ返ラスクカムチャツカ半島ニ止リ居テ
 他ノ船ニテ亞墨利加ニ行キシヤト問ヒタルモ矢張前記ノ問ヒト同シ意ナル可シ
 余熟考スルニ日本人ハ極メテ狭少ノ意思ヲ抱キシト見ニ何トナレハフオストトフ
 ノ日本北海道地方ニ亂暴セシ事ハ露西亞全國ハ勿論獨ク歐羅巴洲ニモ知レタル事

ト思ヘルナラン是其自國ノ狹小ニシテ他邦ト交通セス僅ニ他邦ノ人其境ヲ侵セハ日本全國ニ係ル一大事件ト認メ子孫ニ至ル迄永ク其事ヲ記憶ニ存ス斯ノ如キ重大ノ事件ナレハ我等モ夫ノフオストトフノ日本ニ寇シテ物品ヲ掠奪シ人民ヲ俘ニゼシ事ハ素ヨリ詳知シテ特ニ之ヲ隱蔽スト思ヘルカ如シ嗚呼日本邊境一二ノ寒村ニ商船來テ掠奪セシ小事ノ如キ豈ニ偏ク歐羅巴人ノ詳ニ聞知スルヘキ事アラシヤ只其亂暴セシハ露國政府ノ意ニ出タルニ非スト云フヲ聞ケハ自ラ明白ナルヘシ日本人ハ此答ヲ以テ敢テ凌辱セラレタリト思フノ色ナク只笑ヲ含メリ日本人ハ耐忍力ニ富ミ一事ヲ問フモ先ツ其事ヲ二三度ツ、通詞ニ説キ示シ通詞之ヲ聽キテ其辭ヲ考ヘ夫ヨリ我等ニ之ヲ通ス我等ノ答モ亦此ノ如ク丁寧反覆シテ一事ノ問答毎ニ一時間ヲ費セリ其間ノ中ニハ無益ノ事ヲ交ヘ假令ハ離々ノ勤ハ何ナルヤ海上ニテ如何シテ風雨ヲ豫知スルヤ出帆スルニ一定時ノアリヤ等ナリ余之ニ答テ其事ニ就テハ別ニ掌ル者モナク大抵皆ナ艦長ノ指揮ナリト云シカ彼大ニ驚ケリ何トナレハ日本ニテハ各船ニ風候ヲ豫知スル者乘込メハナリ

是日ハ黄昏ニ至ル迄官廷ニ在リ其間兩度外廳ニ出テ、休息シ食事ハ米飯ト羹タル鱈白魚ヲ出シ食後ニ日本酒一椀ヲ飲シム又煙草ヲ出シ砂糖ヲ加ヘタル茶ヲ喫セシ

ム夜ニ入テ獄舎ニ歸レリ

八月二十九日^{我七月十三日}又官廷ニ出ツ官廷ノ景况前日ト異ナルヲナシ長官席ニ就キ數葉ノ書ヲ出シテ太田彦助ニ授ク彦助之ヲ受ケ通詞熊次郎ニ授ク熊次郎長官ノ命ナリトテ披キテ之ヲ讀ム即チ我チア「ナ」號ニ殘レル士官ヨリ贈タル書翰ナリシカハ余大ニ驚キ我等此ノ如キ線綫ノ中ニ陷リシカ該諸士官トハ久シキ親友ナリシモ今ハ各遠隔ノ地ニ在リテ相會スルノ期ナシト思ヒ潸然トシテ涙ヲ拭ヘリムールモ亦之ヲ見テ驚キ其書翰ヲ讀ニアテ、悲歎セリ日本人モ我等カ此狀ヲ見テ落涙セシ者モアリシカ獨リ太田彦助ニ至テハ毫モ憐ムノ色モナク却テ笑ヲ含メリ其書翰ニ曰ク

嗚呼此一片ノ書ハ公等ノ掌中ニ違スルヤ又公等ハ果シテ強健ナルヤ否余輩之ヲ密ニスルヲ得ス公等ノ跡ニ殘レル者一同會議シ遂ニ公等ノ難ヲ救ハン事ニ一決セシカ其時ニ際シ忽チ銃丸アリ飛來テ本艦ノ後ニ墜ツ是ニ於テ我等施スヘキ術ナケレハ砲ヲ放チ敵ヲ防カシム然ルニ我彈丸ハ小ニシテ陸ニ達スル能ハス又兵團ヲ上陸セシメ攻撃ヲ試ントスルモ衆寡敵セサルハ必然ナリ此ニ因テ已ムヲ得ス一策ヲ設ケ公等ニ告ク我等是ヨリ速ニアホ「ア」スク港ニ返リ一層軍備ヲ整頓

シ直ニ此所ニ來リテ公等ヲ救フヘシ若シ事成ラスンハ此海濱ヲ去ラス我等命ヲ
棄ツヘシ若シ日本人返書ヲ贈ル事ヲ公等ニ許サハ宜ク方略ヲ示セヨ我等唯其方
略ニ從ハン艦内ノ諸士一同唯公等ノ爲ニ命ヲ棄ツルヲ俟ツノミ

千八百十一年第七月十一日

ビヨールリコールズ
イーリヤルダート

其外

我等此書翰ヲ再三讀ミシカハ日本人通詞ヲ以テ譯ヲ問ヘリ余直ニ通辯シ處々原文
ノ意ヲ更改シテ之ヲ説ケリ其趣意ハ「デアーナ」號ヨリ放テル砲彈ハ防禦ノ爲ニシテ
敢テ日本人ニ敵スルニ非ス日本ノ陣營ヨリ先ツ放砲セシヲ以テ之ヲ防カン爲メニ
放テタルナリ是レ「デアーナ」號ヨリ放テル砲彈ノ小ナルト艦内銃砲ノ少キヲ以テ察
スヘシ又リコールズカ兵員ヲ上陸セシメ陣營ヲ攻撃セントスル云々ノ策略ハ秘シ
テ告ケス何トナレハ之カ爲メ吾等ヲシテ又他所ニ移轉セシメン「ト」ヲ恐レテナリ又
露國政府ヨリノ命令ナケレハ日本人ヲ攻撃スル「ト」能ハサルカ故ニア「ホーツ」スク港
ニ返リ政府ノ命ヲ待チ且「ト」軍備ヲ補充セント「ト」ヲ辯セリ

右ノ如クリコールズノ書翰ノ主旨ヲ辯セシカ凡ソ一時間許ニシテ日本人其意ヲ了
解シ余ニ向テ若シ答書ヲ送ル「ト」ヲ許サハ汝ハ之レニ如何ナル答辭ヲ爲スヤト余ハ
之レニ答書ヲ爲スニハ本艦ハ成ル可ク速ニ露國ニ歸航シ道般ノ事件ヲ露國政府ニ
具狀ス可シト「ト」ヲ以テス可シト答ヘタリ

リコールズノ書翰ニ就テハ日本人別ニ問ヲ起ス「ト」ナクシテ止ミヌ其他ノ問ハ前日
ノ如ク諸事混錯シテ順序ナク無益ノ事ヲ多ク問ヘリ其内著シキモノハ左ノ如シ
汝等ハラクスマンカ日本ニ使ヲ奉シタル「ト」ヲ知リシヤ又其時日本ヨリ彼レニ如
何ナル答ヲ爲シタルヤ汝等ハ聞タルヤ

長崎ニ於テ日本官吏ハ如何ナル答書ヲレザ「ト」ウニ與ヘタルヤ

ラクスマンカ日本國ニ使セシ時日本官吏ヨリ彼レニ與ヘシ命令書アルヲ知レルヤ
又長崎ニテレザ「ト」ウニモ與ヘシ諭書アリ然ルニ汝等何故ニ日本國ノ海濱ニ來
ルヤ我邦ニテハ唯露人ニ限ラス總テ外人ノ入ルヲ禁ス若シ異邦ノ船舶妄ニ日本
海濱ニ來ル時ハ其人ヲ捕ヘ生涯獄ニ繋キ其船舶ヲ燒キ棄ルハ日本ノ國法ナル「ト」
ヲレザ「ト」ウヨリモ聞知スヘキ答ナリト

余答テ云フラクスマン及ヒレザ「ト」ウノ日本國ニ來リテ聞キシ日本ノ國法ハ曾

テ風聞ニ依リテ之ヲ知リタレモ我政府ヨリノ遠令等ニテ之ヲ確知シタルコトナシ
 但シ日本人ハ露國ト交易スルヲ許サズ又其船舶ノ入港ヲ禁スルコトヲ聞キタレモ
 日本國近海ニテ危難ニ遇ヒタル船舶ヲモ其海濱ニ寄スルヲ禁スルヲ聞タルコトナ
 シ如何ナル野蠻人ト雖モ危難ニ遇ヘル航海者ヲ扶助スルコトヲ知ラサルヘケンヤ
 余カ艦ハ食料薪水ニ乏シキヲ以テ日本國ノ海濱ニ寄セシナリ已ニ余カイツル
 プ島ニテ邂逅セシ日本官吏ハ余ニ奮ヲ與ヘテ懇ニウルピーチニ行クヲ能ハス因テ艦ヲク
 ヲ求ムヘシト救ヘタリ然ルニ逆風ニ遇ヒウルピーチニ行クヲ能ハス因テ艦ヲク
 ナシリ島ニ寄セ日本人ニ我輩ノ逆意ナキヲ告ケ艦内欠乏ノ物品ヲ乞ヒ求メント
 欲セシナリ然ルニ日本人ハ我等ニ接スルニ極メテ無法ナリキ
 夫ノ官吏等ハイツルプ島ニテ我等初メテ日本人ニ逢ヒシヨリクナシリ島ニテ捕
 ハレタル間ノ顛末ヲ問ヒシカ其狀恰モ我等ニ關スル是マテノ出來事ヲ全ク知ラサ
 ル者ノ如シ且クナシリ島ノ漁村ニ遺シ置ケル物品並ニ樽ニ入レ浮ヘ置タル物ノ未
 タ爰ニ送リ來ラサルコトヲ類リニ怪メルカ如シ彼又問フ汝等食料ニ乏クナリテ何ノ
 所ニ針路ヲ向ケタルヤ地圖ニテ悉ク示スヘシト余即チ地圖ニ就キ詳ニ航路ヲ示セ
 リ

是日ノ間モ無用ノ事多ク其一ニヲ舉レハ丁抹國英國等ノ風俗或ハ其國ノ造船所ハ
 何ノ處ニ在ルヤ艦材ハ何ヲ用フルヤ幾何日數ニテ竣工スルヤ等皆彼カ好事ニ出タ
 リト見ユ其内我國陸海軍ノ兵勢ヲ問ヒシカハ余ハシビーリニ在ル城堡屯成ノ員數
 アホーツヌク港カムチャツカノ港灣及ヒ亞墨米利加西北海岸ニ在ル艦船ノ事ヲ告
 ケシニ又其數ヲ問ヒシ故漫リニ答ヘシカ後其數偶然ニモクリーリ人ノ偽言ト暗合
 シタルハ後日ニ至リ余カ不幸トナリヌ此事後ニ詳ナリ
 是日モ屢席ヲ退キ食事ヲ爲シ日没ニ及テ獄舎ニ返リヌ
 次ノ兩日ハ終日獄舎ニ在リ但日本人ハ稍我等ヲ憐ムノ心起リシト見ヘ水兵等ニ湯
 ヲ與ヘテ獄舎ノ廊下ニ於テ我等ノ襦袢ヲ濯ハシム
 又チアトナ號ヨリ送致セシ衣服ヲ預チ與ヘラル又水兵等ヘハ我等カ願ニ隨テ襦袢
 ヲ與ヘ又据風呂ニ湯ヲ沸カシ我等ヲシテ入浴セシム
 此据風呂ハ銅管ヲ側方ニ嵌タルモノニテ之レニ火ヲ納レテ水ヲ沸スナリ我等ハ
 人順序ニ入浴シ了リシカ後チ看守ノ者一兩人來リ聊憚ル色モ無ク右ノ風呂ニテ
 入浴セリ余之ヲ見テ大ニ驚歎セリ此看守等ハ平常頗ル威ヲ振ヒシカ斯ク浴スル
 ヲ見レハ日本人ハ他ノ亞細亞人ト異ナリテキリスト教ヲ奉スルノ人ヲ嫌惡セサ

ル事ト見ヘタリ

是日モ例ノ如ク官吏來リテ我等ニ茶砂糖果實酒等ヲ與ヘタリ其内ニ佐川仲右衛門ト稱スル者アリ甚々慰勸ニ我等ヲ遇シ別ニ惠メル品モアラキ毎ニ我等ヲ憐ムノ色アリ後ニ聞ケハ近頃彼ノ兄弟小舟ニテ風波ニ逢ヒ蹤跡ナシト彼其同胞ノ何ノ國ニテ我等ノ如ク不幸ニ逢フイモアランカト思ヒ遣リテ我等ヲ憐ムノ情ヲ發セシナラシ八月三十一日^{我七月朝例ノ如ク}官吏醫師通詞來ル官吏ムールヲ呼テ一通ノ書ヲ示スムール之ヲ讀ミ笑テ曰ク是全ク偽書ナリト爾ヒ忙シクワシイリミハイロウイナト呼ヒ之ヲ聞ケトテ其文ヲ讀ムト左ノ如シ

千八百六十年十月二日^{我文化三年九月一日}露國軍艦ニノナノ艦ノ艦長フオストフサハリノ島井ニ島内ノ人民ヲ自今露國アレキサンヅル第一世帝ノ所轄ニ屬セシム故ニ其徴トシテ該島アニワ港西側諸村ノ酋長ニ賜與スルニウラヂイミル綬ニ佩帶スヘキ銀製勳章ヲ以テス此ニ因テ露國及ヒ他邦ノ船舶モ此所ニ到ラハ必ス該酋長ハ露國ノ臣屬タルヲ信認スヘシ

露國軍艦フレガート形艦長海軍大尉フオストフ自署抑モ日本ノ官吏ハ諸事ヲ締密ニ察鑿シ其所置甚々嚴酷ニシテ少シノ過失ナルモ重

刑ニ處スルノ國法ニ依テ我等ヲ處分セントスルノ考ヘナレハ我等今回ノ件ヲ明白ニ説明シ彼等ヲシテ了解セシメント欲シ斷然夫ノ官吏ニ向ヒ告テ曰クフオストフノ事ハ概言スレハ實ニ無智無法ノ所業ニシテ他邦ノ人民ヲ露國ノ版圖ニ屬セント計ルニ其威力ナケレハ夫ノ野人等ニ我皇帝陛下ノ肖像ヲ刻タル勳章ヲ與ヘバカ商船ヲ露國軍艦ト詭ル者ナリ諸君熟思セヨ我カ強大ナル露西亞帝國ニシテ僅々ノ荒地ヲ取ラントシ且ツ僅々ノ人數ヲシテ村落ヲ亂暴放火シ自ラ大國ノ耻辱ヲ招カシヤ又何ヲ以テ皇帝陛下ノ肖像アル勳章ヲ屢キ商船ノ艦長ニ與ヘルコアラシヤ是レ全ク勳章ノ用法ヲ知ラサル者ノ所爲ニシテ實ニ笑フヘキノ甚シキ者ナリ若シ我カ皇帝陛下ニシテ外國ノ臣民ニ勳章ヲ贈ラントセラル、片ハ一定ノ法則アリ豈ニ亂暴放火等ノ惡事ヲ爲ス者ニ斯ノ如キ貴重ノ物ヲ贈ラル、コアラシヤ素ヨリフオトイフカ如キ者ニ如何ソ露國政府ヨリ此重任ヲ授クルノ理アラシヤ又假令日本ノ商船二三艘我カクリリ諸島ヲ襲ヒシ事アルモ直チニ之ヲ以テ日本政府ノ命ヲ受ク來攻スルモノト斷定スルカ如キハ實ニ愚ナリト云フ可シ若シ公等我言ヲ信セスンハ速ニ我等ヲ殺スヘシ我等命ヲ失フヲ恐レヌ唯早晚實事ノ顯ハル、時アルヘシ其時余カ言ヲ信セサルヲ悔ヒ却テ我等カ非命ノ死ヲ愁ムモ及フナケン且露國政府

ニ於テ日本人ノ不仁ナル所爲ヲ恨ムヘシト説キシカハ夫ノ官吏モ默然トシテ之ヲ
 聽キ心服セシ如クナレモ敢テ之ヲ色ニ顯ハサス微笑スルノミ夫ヨリ又フオスト
 フカ書面ノ解ヲ問ヒ且ツ勳章ヲ彼カ所持スル理由並ニニコライアレキサンヅロウ
 イチトフオストフトハ同人ナリヤト問フ余逐一之ニ答ヘ且フレガイト形ナル船
 ハ唯軍艦ニ限ラス商船中ニモアル事ヲ説キ又ウラヂミルノ勳章ヲ佩ル紐ハ編ア
 ル打紐ナリ之ヲ佩用スルハ露國政府ノ許可ヲ得サレハ恣ニ佩用スル能ハス又銀ノ
 勳章ハ軍功アル兵士及ヒ國家ニ勳勞アル者ニ授與スル者ナレモ其人死スレハ他人
 之ヲ買ヒ得テ愛翫スルコトアリト雖モ素ヨリ之ヲ佩用スルヲ許サスフオストフトモ
 定メテ勳章ヲ買得タル者ナルヘシ又彼ハ亞墨利加商船ノ船長ト爲リテフオスト
 フト呼ヘリ日本人ノニコライサンドレエツト呼ヘル者ハ即チフオストフトノ姓ニ
 シテ同一ノ人ナリト答ヘタリ
 九月一日^我七月^{廿六}日雨例ノ如ク呼出サレテ官廷ニ出ツ長官フオストフトノ書ト勳章ノ
 事トヲ問ヘリ余之ニ答ル前日ノ如シ彼又撰寫セル旗章ヲ出シテ何ノ記號ナリヤト
 問フ余答テ曰ク軍艦ノ旗章ハ政府ヨリ賜フ所トス商船ノ旗章ハ各自ニ標スルヲ以
 テ此摸スル所ハ何ナルヲ知ラス思フニフオストフトモ軍艦ト商船トヲ別タントノ

意ナルヘシト日本ノ官吏余カ答ヲ了解セスシテ又問フ是二個ノ旗章ハ共ニ官ヨリ
 出ス者ニシテ一ハ敵國ト戰爭スル時ニ用ヒ一ハ交易スル時ニ用フル者ナラスヤト
 日本人ノ意ニハ軍艦モ貿易スル者ト思ヒシナラン當時日本ニテ外國ト貿易スル
 ハ唯和蘭支那朝鮮琉球ノミニシテ官ニ定法アリテ貿易ヲ爲シ其貨物ハ先ツ悉ク
 官ニ於テ買ヒ取り而シテ後チ再ヒ其國ノ商買ニ賣リ渡スヲ常トセリ
 余答テ曰ク歐羅巴ニテハ軍艦ニテ貿易スルコトナシト彼問フフオストフトハ何故ニ
 軍艦旗ヲ翻シテ日本ノ海濱ニ來リシヤ余答フ當時斯ノ如キ遠隔ノ海洋ニ於テフオ
 ストフトノ所業ヲ誰人モ詳ニ我露國政府ニ告知スル者ナシ故ニ彼ハ己ノ欲スル所
 ヲ肆ニシ毫モ他ニ畏懼セザレハ軍艦旗ハ言ヲ俟タス我露國皇帝ノ皇旗ヲモ自己ノ
 乘船ニ掲揚セシナラン抑モ皇旗ト稱スルモノハ皇帝陛下ノ其場ニ現在スル時ニ限
 リ之ヲ用フル者ナリ彼レ又皇旗ノ大小形狀ヲ問ヒ又如何ナル時ニ之ヲ揚ケ露國皇
 帝ハ屢軍艦等ニ親臨スルヤ等無用ノ事ヲ多ク問ヒ之レカ爲メ一二時間程モ苦メラ
 レタリ
 又日本人ハ二個ノ小キ銅板ヲ出セリ是ハ我等カイツループ及ヒクナシリ島ニ遺シ
 置キタル者ニテイツループ島ニテハ之ヲ日本ノ官吏ニ與ヘクナシリ島ニテハ島人

ノ住居セル一村ニ遣シ置ケリ其銅飯ニハ羅旬語ト露語トニ左ノ如ク記載セリ

露西亞帝國軍艦「デアーナ」號 海軍少佐 ガローウニ

西曆千八百十一年

此銅飯ハ我等航海中寄港スル所人民ノ在不在ヲ論セス必ス一枚宛ヲ遣シ置キ無人島ニテハ之ヲ木ニ打チ付ケ置クナリ其理由ハ若シ我艦風波ノ爲ニ沈没シタルトアレハ後チ此銅飯ヲ見テ我艦ノ寄港セシ地ニ就キ搜索ニ便ナラシメンカ爲ナリト頼リニ説明セシモ日本人ヲシテ我等ノ意ヲ充分ニ了解セシムルコト能ハサリキ彼等其銅飯ノ文字ヲ問ヒシカ余其字義ヲ説キシニ又問フ長崎ニ來ル和蘭人ヨリ聞シハ歐羅巴人ニシテ此ノ如キ銅飯ヲ諸島ニ遣シ置クハ其島ヲ己カ國ニ屬セント欲スルノ證ナリト此銅飯モ定メテ其意ナルヘシト余答テ曰ク歐羅巴人ノ其事ニ用ラル者ハ刑ニ定法アリテ此品トハ異ナレリト然レモ余カ言ヲ信セサル色有リ是日ハフオスト
I / F / ノ書勳章及ヒ銅飯ノ事ニテ多ク時ヲ費シ其他ハ露西亞及ヒ歐州各國軍艦ノ數海港ノ數等ヲ問ヘリ余之ニ答ヘタレモ悉ク記スニ遠アラシクニ至リ獄舎ニ歸リヌ是日官廷ニテ休息シ食事ノ時廳外ニテ互ニ話シケルハ今日訊問等ノ次第何レモ好事トハ思ハレス且ツフオストI / F / ノ書面ノ辯解モ日本人能ク了解セシモ見ヘス我

等ヲフオストI / F / ノ問者ノ如クニ思ヘルカ然ラハ我等終ニハ死刑ニ處セラル、モ知ルヘカラス否ラサレハ終身囚トナルヘキカ今日ニ至リテハ逃走スルノ外身ヲ救フノ術ナシ我等兩人ツ、獄中ニ在レハ一同讎スルコト能ハス余竊ニ思フ官廷ヨリ歸ル途中勇ヲ奮テ逃レ出ント謀レモ守護ノ人多ク且ツ道路ニハ縦覽人群集シテ僅ニ通行スルヲ得ル程ナレハ容易ニ其事ヲ遂クヘシトモ思ハレス實ニ計術モ盡キタリ我等一同獄舎ヲ同フレタランニハ相共ニ謀ル事モアルヘキカト互ニ歎息セシノミナリキ

二三日ヲ經テ獄舎ヲ巡視スル官吏及ヒ醫師通詞等來リ其官吏ムールノ側ニ坐シ一
二ノ露語ヲ問ヒ居リシ時アレキセイ來リ格子ヨリ余ヲ窺ヒ余ニ物ヲ屈ケタキ色アリ余彼ニ言フ所アレハ答ヘスシテ隙ヲ窺ヒ卷キタル紙ヲ投ケ入タリ之ヲ見レハ其中ニ鉄釘アリ又別ニ釘ニテ書ケルフレイブニニコフノ書アリ之ヲ讀ムニカムチャ
ツカ半島ノ警察署長ラマキンアレキセイクリーリ人共ニ戒心ヒヨトノミアリ余其意ヲ解セス思フニフレイブニコフノ書ナレハ定メテ我等ニ關係スル事ナルヘシ然レモラマキント呼シ者ハ余嘗テ聞カス察スルニフレイブニコフハ全ク發狂セシヤ歎ハシキ事ナリト思ヒ居レリ其夕アレキセイ復余カ室ノ前ニ來レリ余彼ニ問

フフレイブニニコフハ在氣セシヤ前キノ書ハ全ク解シ難シト彼謂フ公等早晚其意ヲ解スルコトヲ得ヘシト余之ヲ聞テ愈々疑惑シ之ヲムールニ渡シ見セシムルニ彼モ亦其意ヲ解セスシテラマキントハ如何ナル者ニテ我等ト日本入トノ間ニ何ノ關係ヲ有スルモノナルヤト

九月四日廿九日我々等又官廷ニ呼ビ出サル長官ノ未タ出席セサル前我等一所ニ聚リ煙草ヲ喫シ居タリ是時フレイブニニコフ竊ニアレキセイヨリ告ケタル事ヲ余ニ話セシハ一年以前アレキセイハ其同伴ト共ニ日本人ニ捕ハレシニ何故ニ此所ニ來タリシヤト質問セラレケレハ彼カ同伴ノ者共告クルニ我等ハカムチャツカ半島ノ警察署長ラマキンヨリ此ニ遣ハサレタル者ナリ是レ日本北海道諸村落ヲ窺ヒ奪ヒ取ランカ爲ナリト日本人又何レノ時ニ來リ襲ハントスルヤト問ヒケレハ明年ベツロパウロウスタ港ヨリ軍艦七艘ヲ出シ三艘ハイツルノ島ヘ向ヒ四艘ハ北海道ニ向ハン何レモフオストノ如キ趣意ナリト云ヘリ是ハ日本人ニ強ク責ラレ其苦ヲ免レント欲シテ此ノ僞言ヲ述テ日本人ヲ欺キ露西亞人ニ脅迫セラレテ愛ニ來リタリト云ハ、日本人ヲ免サンカト思ヒシ者ナリトアレキセイ此時フレイブニニコフニ款願スルハ此ラマキンカ命セシト云シ事ハ全ク事實ナリト日本人ニ我等ヨ

リ説明シ吳ヨトナリ

夫ノクリーリ人ノ明年露艦襲ヒ來ルト云々年月ヲ考ルニ我等カ日本海濱ニ來リシ時ト暗ニ符合ス又前日在ベツロパウロウスタ港ノ艦船ノ數ヲ問ヒシ時余カ答タルトクリーリ人ノ僞言ト其數暗合セリ

嗚呼今我身ニ取リテハ嚮キニクリーリ人カ日本人ヲ基督教ニ導ントシテ日本ノ屬島ニ到リシ事トフオストノ亂暴ト勳章及ヒ勳記等ヲ日本人ノ手ニ渡セシ事ト又クリーリ人等カ僞言トハ昔日本人ニ於テ我等ヲ深ク疑ハシムルノ原因トナリタレハ何程之ヲ辯解スルモ皆ナ詐欺ト爲シ信セサルモ理ナシトセス余嘗テ日本人ニ説クニ露帝若シ日本ヲ襲撃セントセハ何ソ僅々二艘ノ艦船ヲ用ンヤト謂フヲ以テシフオストノ亂暴ハ露國政府ノ知ル所ニ非サルヲ証セシカ今ニテハ僅々二隻ノ弱劣ナル艦船ノ所業モ我政府ノ命令ナリトシ又日本人モシビリヨリサシクツベテルプールの府迄通行シテ日本ニ近キ露領ニハ兵備モ極メテ微々タル事ヲ見聞セシ者モアレハ右暴舉ハ全ク該地方暴民ノ所業ト思料スル事能ハサルト見ユ今我等カ爲ニ証據ト爲ルヘキハアレキセイノ詞ナリ然ルニ今ニ至テアレキセイハ幾ニクリーリ人ノ述タル言ハ悉ク事實ナリト我等ヨリ日本人ニ證明サセ己カ身ヲ潔白

ニセシ事ヲ願ヘリ余熟考スルニ我等飽マテ正當ナレモ今アレキセイノ願ヒニ應シ
 テ彼レカ偽言ヲ事實ナリト証明セハ是レ却テ自ラ罪ヲ招ク可シ然モ若シ之ニ應セ
 サレハアレキセイハ益々我等ヲ怨ムヘシ又彼レハ我等ト共ニ露國ニ歸リタル後之カ
 爲メ答ヲ得ン事ヲ慮リテ務メテ我等カ歸國ノ事ヲ妨ケルナラン然レハ只柔カニ彼
 ニ我意ヲ諭スヨリ外ナシト思ヒ余アレキセイニ向ヒ汝カ身ノ上ヲ我等ヨリ證明セ
 ン事ヲ望メル我等ヨリ日本人ニ對シ明白ニスヘキノ術ヲシテ説諭セシニアレキセ
 イ黙シテ答ヘサツキ是時余ハアレキセイヲ以テ實ニ心ヲ許スヘカラサル歎ナリト
 覺ヘタリキ

既ニシテ長官ノ前ニ出シカ長官問フカムチヤツカ半島ノ官吏ヨリククリトリ人ヲ日
 本ノ屬地ニ送り其村落ヲ竊ハシムトハ實事ナリヤト余答フ其事ハ曾テ聞カス是全
 クアルヘキ事ニ非スト長官又アレキセイト問答スレモ通辯ナケレハ何事ナルヲ知
 ラス其後我等退キシ後ニアレキセイ一人ヲ留メ暫アリテ出テ來リシカハ余アレキ
 セイニ何事ヲ問ヒシヤト問フニ我等カ以前アリシ事ナリトノミ答ヘリ其後二度ア
 レキセイ一人ノミ呼出シタルモ何事ナリシヤ彼ハ告ケ知ラセサリキ
 是日日本官吏ヨリ種々ノ問アリシニ就キ余其國法ノ嚴酷ナルヲ知レリ彼問フ何故

ニ無斷ニ我國ノ漁村ヨリ薪米ヲ取り去ルヤト余答フクナシ島ノ官吏ニ我等カ此
 地ニ軍艦ヲ寄セシ理由ヲ告セントスレモ土民ヲ盡ク陣營ニ匿シ村落ヲシテ空虚ナ
 ラシムルニ因リ陣營ニ近寄ラントセシニ何ノ理由ヲ問ハス大砲ヲ撃チ懸ケタリ我
 等元トイツルノ島官吏ノ救ニ從ヒ艦内缺乏品ヲ支辨セント欲シ彼カ書簡ヲ持シ
 日本ノ海濱ニ上陸セシニ右ノ如クナレハ其意ヲ通スル事能ハス且艦内食料ニ乏シ
 キヲ以テ已ムヲ得ス夫ノ無人ノ村落ニ棄テタル値ノ薪米ヲ取り其價ニ歐羅巴ノ物
 品ヲ殘シ置キタリ是全ク其取ル所ノ品ニ酬ユル爲ナリ長官又問フ歐羅巴ニ於テハ
 此ノ如キ場合ニハ他人ノ物品ヲ奪掠スルノ法則ナリヤト余答フ是レ法則ト云フニ
 ハ非ス固ヨリ權道ナリ譬ヘハ饑テ死ントスル時若シ明キ屋ニ打チ棄タル食物アラ
 ンニハ之ヲ取リテ生命ヲ救フナラン况ヤ其價トシテ物品ヲ酬ヒタルモハ歐羅巴ニ
 於テ誰カ其人ニ罪アリトセンヤ日本人之ヲ聞テ夫ハ全ク我邦ト異ナリ凡ソ日本ノ
 國法ニテハ假令飢テ死スルモノノ許サ、ル以上ハ一粒ノ米ヲモ奪フ事ハ爲サスト
 云ヘリ日本人右等ノ事ヲ問フニ丁寧和順ニシテ常ニ笑ヲ含ミ務テ我等ニ隔意ナキ
 ヲ示セリ

九月五日我七月我等又長官ノ前ニ出テ朝ヨリ晝ニ至ル迄種々ノ問アリ其時七人ノ

日本人有り彼等ハ曾テカムチャツカ半島ノ海岸ニ漂着セシ者ニテ我等同所出船ノ
 所ハ彼等ハ下部カムチャツカニ在リシ等ノ事ヲ詳細ニ話シタリ實ニムールハ彼等
 ヲ見シ事モアリケレ此等ヲ言ハ、又例ノ如ク枝葉多ク種々ノ問ヲ引キ出サン事
 ヲ恐レテ話サ、リキ
 午後別室ニテ茶煙草等ヲ喫シ休息セシカ熊次郎余等カ側ニ來リ二三ノ露西亞語ヲ
 習ヘリ夫ヨリ再ヒ長官ノ前ニ出シニ一老人アリ年七十許此人ハラクスマンノ日本
 ニ來リシ時ヨリ露西亞語ヲ聞覺ヘ書集メシトテ小冊子ヲ出シテ自ラ讀メルヲ聽シ
 ニ初メハ全ク何ノ國ノ語タルヲ解セザリシカ彼ハ自ラ露西亞語ナリトテ聽リ聞ケ
 ル儘ノ單音ヲ書キ集メタル者ナリ我等是ヲ聞テ思ハス失笑セリ彼老人モ是ハ余カ
 四十年來學ヒシ露語ナリトテ亦大ニ笑ヘリ長官退キテ我等モ亦獄舎ニ返リヌ
 日本人モ日ヲ逐テ我等ト漸ク親シミ特ニ看守者ハ親ミ厚ク時々ムールニ許シテ廊
 下ニ出テ火爐ニ煖マラシム
 此地八月下旬ハ我七月最早寒氣加ハリムールハ尤モ寒ニ苦シミシカハ看守者朝
 タムールヲシテ獄舎ノ後ロナル廊下ノ爐ニ煖タマラシメタリキ
 是レニ因テムールハ時々余カ獄舎ノ格子ニ近ツキ種々ノ話ヲ爲セリ但シ看守者中

露西亞語ヲ知ル者アラソフヲ恐レ高聲ニテハ語ラサリキ食物ハ從前ノ如ク醜惡ニ
 シテ屢請願スレモ改ムル事ナシ一日ムール熊次郎ニ向ヒ我等ヲ以テ恰モ犬馬ヲ飼
 フ如ク心得タリヤト言ヒシニ熊次郎答テ曰ク君等ノ言ハ實ニ當然ナレモ余カ與ラ
 サル事ナレハ之ヲ改ムルニ由ナシ然レモ此ノ如キ言ハ猥リニ吐クコト勿レ他人之ヲ
 聞カハ益、惡シカリナント

我等ノ身上ハ到底如何ニ成リ行クヤ日本官吏ハ我等カ辯明ヲ如何ニ考フルヤト熊
 心苦思セシ折柄我等ハ甯、地上ノ變災ノミナラス彗星出テ、天上ノ異變ニ際會スル
 ニ至レリ即チ此時彗星出テケレハ日本人ハ此彗星ヲ見テ如何ナル推測ヲ爲スヤ定
 テ天體ヲ知ル者モアルヘシ其說ヲ聞ント欲シ一日之ヲ問ヒシニ是ハ變災ノ兆ナリ
 ト言ヘリ余思フニ日本人モ他ノ亞細亞諸邦ノ如ク彗星ヲ變災ノ兆ト思ヘルヤ若シ
 其意ナレハ我等カ爲ニ方便トナル事モアラント又其事ヲ問ヒケレハ果シテ日本人
 ノ意ニモ彗星ノ出タルハ天ヨリ政治ノ不正ナルヲ懲戒スル所以ナリ先年文化四
 オストロフノ日本ヲ襲ヒシ時ニモ此ノ如キ星現ハレタリト云ヘリ
 九月十三日我八月長官ノ次席ナル官吏長官ノ命ヲ帯ヒ來リ我等ニ告ケテ曰ククナ
 シリ島ニテ取リ收メシ汝等カ衣服ヲ與フヘシ其好メル品ヲ言フヘシト是漸ク寒氣

強ケレハ冬ノ衣服ヲ備ル爲メナリ余ハ外套袴襪帽子莫大小襪鼻巾等ヲ乞ヒ得タ
 リムールフレイブニコーフ并ニ水兵等モ各其品ヲ乞ヒ得タリ儲水兵等交代ノ期ナ
 レハ八月三十一日^{我七月廿五日}ムールカ方ニハワシ^{エフ}來リテシカ^{エフ}ニ代リ九月
 二十三日^{我八月十八日}余カ方ニハシカ^{エフ}來リテマカ^{エフ}ニ代レリシカ^{エフ}私ニ余ニ
 告ケテ曰ク爰ニ一奇事アリ或ル日シモ^{エフ}ノフハ日本人ノ粗忽ニテ一箇ノ小刀ヲ得
 タリ其故ハ水兵等ハ艦内ニテ橋ニ上ルヲ常トスレハ其携ヘル所ノ品具ノ落チサラ
 ン爲メ常ニ小刀ヲ筒ニサシ革ノ紐ヲ附ケ鈕釦ノ孔ニ串シ結ビ置クナリシモ^{エフ}ノフ
 カ小刀ヲ衣囊ニ匿シ置キシヲ日本人ハ其儘彼ニ與ヘリ其革ノ紐ハ目ニ立ツ者ナル
 ニ氣附カサルハ幸ナリト余謂フ日本人ハ諸事ニ心ヲ用フル細密ニシテ且ツ物ヲ好
 メル性質ナルニ其小刀ヲ認メ得サルハ甚ク怪シムヘキ事ナリ彼等之ヲ見ハ必ス取
 上クルナラン余嘗テ爪ヲ剪ラント欲シ鉄刀ヲ乞ヒシニ與ヘス我手ヲ格子ノ間ヨリ
 出サシメ爪ヲトリタリ又一日衣ノ錠ヲ綴ラント針ヲ乞ヒシニ與ヘス彼等來リテ
 之ヲ綴レリ然ルニ今其小刀ヲ見付ケサルハ實ニ大幸ト謂フヘシ其小刀ハ尤モ要用
 ノ品ナレハシモ^{エフ}ノフヲシテ能ク之ヲ秘藏セシメ若シ日本人其革ノ紐ヲ見答メシ
 カハ是レハ帽子ヲ風ニ取去ラレサル爲ニ結ビ留ル紐ナリト欺クヘシト故ヘヌシカ

エフ又告ケケルハ看守等ノ語ルヲ聞ケハ我等ヲ松前ニ送ルトテ先頃乘リシ山橋
 ヲ此所ニ持出シテ我等ニ其用意ヲ爲スヘシト云ヘリ果シテ此日ノ晚方官吏ヨリ我
 等ニ日本製ノ木綿ノ雨衣笠脚絆草鞋等ヲ與ヘリ

○函館ヲ發シ松前ノ獄舎ニ繋カル

九月二十六日^{我八月廿一日}夜官吏獄舎ノ前ニ來リ通詞ヲ以テ姓名ヲ通シ我等ニ告テ曰ク
 明日晴天ナレハ汝等ヲ松前ニ護送ス可シト云ヘリ夫ヨリ翌日ニ至リ諸官吏其他我
 等方ニ來リ懇ロニ告別ノ意ヲ表セリ我等獄舎ヲ出テ旅途ニ就カントスル時繩ヲ以
 テ我等ヲ繋キ一人ノ步卒繩ヲ取リ一人ハ之ヲ守レリ其待遇前ニ別テ告ケ無事ヲ祝
 セシ狀トハ頗ル齟齬セリ然レモ縱覽人ハ我等ノ体ヲ見テ毫モ嘲ル色モ見ハサリキ
 正午時函館ヲ發ス其行列ハ先キニクナシリ島ヨリ函館ニ來リシ時ノ如シ但我等カ
 乘ルヘキ山橋ノ外ニ駄馬ト乘馬トアリ駄馬ハ我等カ衣服夜具等ヲ駄セリ獄舎ヲ距
 ル凡ソ百間許ナル市街ニ一行ノ步卒アリ武器ヲ携ヘテ排列セリ此所ヨリ旅途ニ就
 クナリ是日ハ好天氣ナレハ縱覽人群集シ又我等ヲ送リ來ル者モ多ク凡ソ二里許モ
 從ヒ來レリ我等ヲ護送スル者ハ長官一人次官二人其他從フ者頗ル多ク或ハ山橋ヲ
 荷ヒ馬ヲ牽ク者アリ中ニハ小休所ニテ交代スル者モアリ又外ニ通詞熊次郎醫師東

江毛隨(リ)

我等函館ノ獄舎ニ在ルヲ既ニ五十日許ナルヲ以テ歩行ヲ喜ヒ疲レサレハ馬ニモ乘ルマシト首ヒケレハ我等カ意ニ任セテ歩行セシメ繩ヲモ卷キテ革帶ニ挿ミ自由ニ歩行スルヲ得セシム但其途中村落ニ到ル時ハ始ノ如ク繩ヲ取り行ケリ
 既ニ函館ヲ離レ海濱ニ出ツ一ノ岬アリ其麓ニ市街アリ夫ヨリ小山ニ登ル山上ニ砲臺アリ是レ灣口ノ防禦ト見ヘタリ然レモ斯ノ如キ廣淵ナル海峽ニ臨メル高山ノ頂上ニ砲臺ヲ設ケルハ實ニ効用ヲ爲サ、ルナラン

此砲臺ハ前ニ低キ土塙ヲ築キ其後ニ車臺ニ載セタル三四門ノ銅砲アリ其車臺ハ全ク歐羅巴ノ製ト異ナリ又土塙ノ下ニ二十四斤位ナル鑄鉄砲アリ右ハ歐羅巴製式ノモノト見ユ此大砲ハ横木ノ上ニ載セヨリ蓋シ此ノ如キ大砲ヲ車臺ニ載セテ放ツ時ハ一發シテ其砲臺壞ル、カ故ニ此横木ノ臺ニ載セ置クト見ヘタリ

我等此砲臺ノ前ヲ通行シテ大ニ失望セル所アリキ何トナレハ此備ヲ我等ニ隠サス之ヲ見セシムルハ生涯囚ト爲スヘキ獄ナラスヤ是ニ就キテモ函館ニテ屢考ル如ク此有様ニテハ我等カ身ヲ救ハンニハ只脱走スルヨリ他ニ策ナシ今更ニ之ヲ慮ルニ如何シテ之ヲ遂クヘキヤ今旅途ニ在テ夜ハ全ク繩ヲ解ケモ守護ノ者交代シテ眠ラ

サレハ其隙ナク又途中ニテ不意ニ間道ヨリ遣レ去ンユハ彼等多ク取圍ム可ケレハ威力ヲ奮ハサレハ爲スヘカラス然ルニ我等カ身ニ添フ者ハシモ一ノフカ持タル小刀ノミニシテ彼等ニ敵スヘキ兵器ナケレハ千慮萬計モ殆ント盡キ果テタリキ
 旅中食物ハ前ノ如ク粗惡ニシテ晝ハ小休所ニテ食セリ沿道ノ村落モ數多アリテ人民モ甚タ多シ其人民ハ漁獵或ハ海藻採リヲ業トス又大ナル園圃アリテ多ク蘿蔔ヲ植ヘタリ

日本人ハ貧富ヲ問ハス美ニ蘿蔔ヲ用ユ霜露西亞人ノ蔬菜ヲ用フルカ如シ又之ヲ鹽漬ト爲シ飯ヲ食スル時鹽ニ代ヘ用ユ又魚肉ト共ニ鹽漬蘿蔔二三片ヲ食ス

同月二十九日廿四日我八月廿四日松前マテ半日許ナル路程ノ一村宿ニ宿セリ熊次郎余ニ告テ曰ク松前ニ到ラハ奉行所ニテ汝等ニ問フ事アラン其時前日答ヘシ事ト齟齬セサル如ク述フヘシ其時齟齬スル時ハ日本國法ニテ大ニ咎メラルヘシト又我等ニ上等ノ煙草ト紙トヲ多ク與ヘタリ

日本人ハ鼻涕ヲ拭フニ布ヲ用ヒス紙ヲ用ユ富貴ノ人ハ上等ノ紙ヲ用ヒ貧賤ノ者ハ粗紙ヲ用フ函館ニテハ我等ニ粗紙ヲ與ヘシカ爰ニテハ好キ紙ヲ與ヘタリ

熊次郎曰ク此紙ト煙草ト二品ハ松前ニ到リテ汝等カ此二品ニ乏シキヲ告クル時ハ

護送スル我等ノ過失ト爲ル故斯ク多ク與フルナリト彼又曰ク醫師東江カ豫メ汝等ニ告ケシ如ク松前ニテハ好キ家屋ニ住スル事ト思フヘカラス只一箇ノ獄舎ニテ何レモ一同ニ置クヘキナリト此煙艸ト紙トヲ與ヘシハ如何ナル心ナルヤ余ハ理會セザリキ

同月三十日同日廿一村落ニ休憩ス此松前ヲ距ル凡三十町許ナリト云フ爰ニ歩卒及ヒ人夫等多ク來リ半時間許モ時ヲ費セリ護送者ハ孰レモ皆ナ衣服ヲ改メ是ヨリ松前ニ入ルナリトテ函館ニ到リシ時ノ如ク我等ヲ伴ヒ海濱ニ沿フテ行クテ四五町許ニシテ廣キ所ニ到リ又縦覽人極メテ多シ少シ高キ山ニ沿テ岸ニ隨ヒテ行ケリ是ハ松前城ノ外堡ナリ夫ヨリ奥ニ入り一ノ柵ヲ以テ圍ミシ所ニ到リ其柵ノ内ニ入レリ爰ニテ我等ヲ護送セシ歩卒等ニ別レタリ夫ヨリ又内ニ入レハ尙ホ又高キ柵ニテ圍ミシ所ニ小門アリ其門ニ入レハ我等ヲ置ク所ニテ暗キ獄舎アリ余トムトルフレ

フニニコフノ三人ヲ置クフレキセイト水兵トハ別ノ獄舎ニ入レタリ此日ハ最も好天氣ナリシモ我等カ居ル可キ獄舎ハ日光ノ入ル事ナキカ故ニ舍内ハ薄暗シ獄舎ノ周圍ニハ板塀ヲ繞ラシ其内ニ守舎アリ何レモ新タニ造リシト見ヘテ處々ニ木屑ノ落散レルモ未タ掃除セザリキ都テ好キ材木ニテ其毀モ又少ナカラス

ト見ユ我等ヲ早ク免シ返サンニ此ノ如キ土木ヲ起スハ實ニ無益ノ事ナリ假令一兩年居ラシムル尙ホ簡易ノ方法モアランニ斯ノ如ク堅牢壯大ノ構造ナルハ必ス我等ヲ生涯囚ヘ置ク設ケナルヘシト思ハルレハ鬱々トシテ樂マス何レモ打沈ミ默然タリシカ爰ニ晩飯トテ飯ト魚肉一片煮豆一握許ヲ格子ノ間ヨリ入レ置ク者アリ余ハ隅ノ方ニ居シ故其人ヲハ見ザリシカ拙劣ナル露西亞語ニテ第三ノ人ハ何所ニ在ルト問ヘリムール取取ス彼ニ向テ汝ハ露西亞語ヲ何レノ所ニテ學ヘルヤト問ヒケレハカムチャツカニテ答フムール又汝自ラカムチャツカニ居リシヤト云ヒケレハ彼ハムールカ己ヲ見知レリト心得テ大ニ悦ビ此事ヲ直チニ通詞ニ語リシトナリ先ニ我等日本人ニ答ヘシハカムチャツカニハ昨春漂泊セシ七人ノ日本人ヨリ外ニナシ其者共ハ我等答テ見タル事ナシト答ヘシ事アレハ彼等ノ心得違ナルヲ通詞ニ説キケレハ通詞ハ唯、虚言ナリト謂テ立チ去リヌ此ニ因テ我等又日本人ニ疑ハレ隠スヲ多キ者ト者ハル、モ亦不幸ノ一ナリシ情モ彼男ハフオストリフカ爲ニ捕ハレカムチャツカニ行キタルヤ或ハ自ラ漂流シテ彼所ニ居タルヤ其實否ヲ聞カマホシカリキ

獄舎ノ構造ハ長サ二十五歩幅十五歩高サ二尋許ニシテ三面ハ皆壁ニテ少シノ隙

ナク唯、南面ハ各四寸許ノ間ヲ隔テ太キ材木ニテ格子ノ如ク作レリ此ニ引戸ト耳門アリ常時はヲ鎖ス此小屋ノ中央ニ二個ノ室アリ亦皆太キ材木ニテ格子ヲ造リ繞ラセリ一個所ハ長サ六步廣サ一丈許ナリ爰ニ余トムールフレトブニコフノ三人ヲ居ラシム又他ノ一個所ハ長サ八步廣サ前ト同シ此所ニハフレキセイ及ヒ水兵等ヲ居ラシム此二室ノ間ハ板ニテ隔テ我等ト水兵等ノ居ル處ト互ニ見ヘサラシメタリ其室ノ入口ハ甚タ低ク僅カニ身ヲ容ルヘシ此ニ太キ門アリ之レニ鐵錠ヲ鎖シタリ其側ニ小キ窓アリテ此ヨリ飲食ヲ入ル又壁ノ後ニ廁アリ其形押入ニ似タル構造ニシテ下ニ孔ヲ穿テ水溜ノ如クシ兩便所トス獄舎ノ側ニ守舎アリ官ノ兵卒二人ツ、看守シ須臾モ其處ヲ去ルコトナシ獄舎ヲ七八步離レテ高キ塀アリ獄舎ノ口ト對セシ所ニ小キ門ヲ穿テリ此塀ノ外ニ又塀アリ其間ハ空地ニシテ守舎ト厨房ト人夫小屋ノ如キ者アリ此守舎ニハ津輕侯ノ步卒屯在ス下云フ彼等ハ獄舎ヘハ出入セス高塚ノ外圍ヲ半時毎ニ廻リ夜ハ絶エス燈ヲ點シ廻ル時ハ柵ヲ擊テリ内ノ看守等ハ此ト異ニシテ半時毎ニ獄舎ノ外圍ヲ廻リ格子ノ外ヨリ内ヲ點檢セリ儲此所一方ハ崖高ク一方ハ低キ地ニテ小川アリ之ニ沿テ小路アリテ城ノ外郭ト隔ツ夜ハ一層寂寥タリ牢内燈火ナク只守舎ノミハ紙ニテ張リタル燈

燭ニ魚油ノ燈火ヲ點セリ光リ暗ク格子ノ間ヨリ僅ニ獄内ノ物ヲ辨スルマテニシテ其他ハ眞ニ暗黒深更ニ至レハ物音モ絶エ靜マリ半時間毎ニ夜廻リノ步卒戸ノ門ヲ打鳴ス音ニ驚サレ寢時モ眠ル能ハス或ハ少シク眠ムレハ怖シキ事ヲ夢ミテ驚キ覺ル故少シモ安眠スルコトヲ得サリキ

十月一日我八月廿六日明日ハ我等ヲ奉行所ニ呼ヒ出スヘシト告ル者アリ翌二日朝函館ニテ呼出セシ時ノ如シ但シ此度ハ兵卒繩ヲ取リ伴ヒ行キ堤ノ間ノ凹キ道ヲ通り城ノ南門ニ入ル獄舎ヨリ此迄凡ソ二町餘アリ今日雨降り道惡キヲ以テ板ヲ敷キ其上ヲ歩ミ傍ヨリ傘ヲ蓋フテ行タリ斯クテ小石ヲ敷ケル廣キ庭ニ到リ一棟ノ長舎ニシテ榻アル所ニ入りテ皆一列ニ並ヒ居テ俟ツコト一時間許ニシテ大ナル門ヲ開キ其内ニ伴ヒ行キ第三ノ廣庭ノ門ニ近ツキシ時兵卒等自ラ其兩刀ト履ヲ脱キタリ日本人ハ長沓モ沓モ用ヒス只藁或ハ茅類ニテ紐タル履ヲ穿テリ

門ノ側ニテ我等ニモ長沓ヲ脱セシメ此ヨリ疊ヲ敷キタル廣キ廳堂ニ入り襖ノ前ニ居ラシム日本居家ノ風ニテ此襖ニテ廳堂内ノ隔ヲ爲シ開閉スルヲ得セシム夫ヨリ余トムールフレトブニコフハ少シク高キ席ニ坐セシメ水兵等ハ我等ノ後ロ一段低キ所ニ居ラシム我等ノ左ニアレキセイヲ置キ右ニハ獄舎ニテ給仕スル者二人ヲ

置ケリ。是ハ通詞ノ坐ナリ。獄舎ニ來リ給仕ス。者ノ内露語ヲ知リタル者トシテ遣ハサレタル者二人アリ。一人ハ源七ト稱シ一人ハ福松ト稱ス。又我等ノ左ニ熊次郎居レリ。夫ノ源七福松ハ我等ト奉行トノ間ノ通詞役ト見ユレ。他彼等ノ通辯ハ實ニ覺束ナク思ヘリ。此處ハ甚タ廣ク間毎ニ紙ノ襖アリ。板障アリ。或ハ金箔ヲ貼シテ山水禽獸花卉ヲ畫ケルモノアリ。又ハ貴重ナル木材ニテ物ノ像ヲ彫鑿シタルモノアリ。又ハ屏風ニ彫刻セシモアリ。床板ニハ都テ美麗ナル疊ヲ以テ敷キ詰タリ。奉行席ノ側ニハ常ノ日本服ニテ短刀ヲ挟ミ且ツ各左方ニ太刀ヲ置キタル者五人控ヘタリ。爰ニテ奉行ノ出ルヲ待ツ。二十五分時許此時襖ノ陰ニ多クノ人聲アリ。何ヤラン笑フ聲ナト聞ユ。然ルニ警蹕ノ聲ヲ聞キ乍チ歇止セリ。一人與ナル襖ノ側ニ跪キテ兩手ヲツキ低頭ス。此時奉行ト見ユ。黒キ常服ノ袖ニ大ナル紋ヲ付ケタルモノヲ着シ。帶ノ間ニ短刀ヲ挟ミ。扇從ノ者太刀ヲ持テリ。其持ヤウ帕ニテ太刀ノ下ヲ纏ヒ。堅ニ持テリ。奉行出テ我等ニ向ヒ坐ニ着クト。太刀ヲ持テタル者從テ其太刀ヲ奉行ノ左側ニ置キ退ケリ。斯クテ其席ニ在。者皆ナ一様ニ手ヲツキ頭ヲ低ル。凡三四秒時ノ間丁寧ニ禮ヲ爲セハ奉行モ亦餘程其體ヲ屈メ手ヲ膝上ニ垂レテ答禮セリ。我等ハ歐羅巴ノ風ニテ彼ニ禮ヲ爲セシニ彼

領テ笑ヲ合メリ。是ハ我等ニ温和ノ意ヲ表セルコトト見ユ。斯クテ奉行懷中ヨリ書類ヲ取出シ見テ我等ノ名ヲ逐一ニ呼ビシカハ我等モ隨テ會釋シ答ヘリ。彼レ又源七ニ向ヒ何ヤラン言ヒケレハ源七低頭シテ謹ミ奉行ノ命ヲ聽畢リテ我等ニ向テ通辯セシカ。凡彼カ言フ所全ク了解シ難シ。蓋シ其言フ所汝モ人ナリ。我モ人ナリ。彼モ人ナリ。如何ナル人ナリヤト言ヘルニ似タリ。余源七ニ向ヒ汝通辯ノ未熟ナルヲ隱シ奉行ヲ欺キ却テ奉行ノ怒ヲ得サル様ニ明白ニ汝カ通詞ノ任ニ勝ヘサルヲ申スヘシト言ヒシニ源七余カ詞ヲ聽テ其意ヲ悟ラスシテ奉行ニ向テ何ヤラモ通辯セリ。坐上ニ二人ノ書記役左右ニ列坐シテ源七カ詞ヲ我等カ答ト思ヘル様子ニテ是ヲ書記セリ。我等源七ノ愚謀ニシテ恬然トシテ耻ルコトナキニハ殆ト驚愕セリ。此者我等ノ言フ所ヲ解セス。僞言ヲ述テ答トセハ如何ナル害ヲ生センモ圖ラレスト思ヒ我等ハ汝ヲ通辯セシムル能ハストテ止ミケレハ彼レ尙ホ其詞ヲモ解セス。又何ヤラモ通辯セシ様子ニテ書記役又之レヲ記シ。斯ノ如クシテ又新ニ問ヲ始ム。余其時アレキセイニ向ヒ熊次郎ニ言ハシムルハ彼ハ斯クマテ奉行ヲ欺ケルモ遂ニハ見露サルヘシト然レ。熊次郎ハ上官ノ命ナケレハ憚リテ之ヲ陳ヘ得ス。然ルニ奉行自ラ源七ニ向ヒ親ト云詞ハ露語ニテハ何ト聞フト問ヒケレハ源七遠ニ懷中ヨリ小冊ヲ取出シ暫ク繰リ返シ見

ヲ終ニ其詞ハ知ラスト答ヘシカハ奉行并ニ諸官吏モ高聲ニテ笑ヒ斯ノ如キ常用ノ詞モ知ラスト源七ヲ退ケ熊次郎トアレキセイニ通詞セシメ源七ハ側ニ居テ我等ノ言語ヲ聞カシム是ヨリ函館ニテ呼出サレシ時ノ如ク問答ヲ始メ我等ノ姓名職業父母兄弟妻子ノ有無等尙ホ委シク尋テシナリ其内ニ我等ノ兄弟ノ姓名年齢職業等ヲ聞キ逐一ニ筆記セリ此等ハ皆ナ奉竹自ラ問ヲ爲セリ又レザノフカ日本國ヨリ歸リタル航路彼カ日本國へ來レル趣意等諸種ノ事ヲ交ヘテ問ヘリ其内ニ露西亞人ノ葬式墓所ノ標等都テ貧富ノ別アリヤト問ヘリ余貴人ノ葬式ニハ僧官多ク其櫃ニ隨テ墓所ニ行クト答ヘケレハ奉行日本ニテモ同シク其事アリト云ヘリ終リニ奉行曰ク汝等何ソ願フヘキ事ナキヤト余其意ヲ了解セス是ハ如何ナル間ナルヤ我等ハ斯ク囚ト爲リ今獄舎ニ於テ極メテ殘酷ニ待遇セララル、事ナレハ其願望ハ我等ノ言ヲ俟タスシテ奉行自カラ明ニ之ヲ察セラル、ナラント答ヘケレハ奉行曰ク左ニ非ス汝等松前ニ居リタキヤ將タ日本ノ帝都江戸若クハ他ノ地ニ留リ居リタキヤ又ハ露西亞國ニ歸リタキトカ願フ事ハナキヤト余答フ我等カ願フ所ニアリ一ハ我等ヲシテ本國ニ返ラシムルヲ得ハ何ノ賜カ之ニ若カン若シ返ル丁能ハスンハ命ヲ保タンヨリ速ニ死センヲ願フ人ミナリト云ヒケレハ奉行甚タ感シタル顔色ニテ傍

人ニ向テ種々説示セシカ衆人傾キ聽テ各感セル有様ニテ皆憐愍ノ情ヲ面ニ見ハセリアレキセイ奉行ノ詞ヲ聽テ稍其半ヲ解シ其大意ヲ彼カクリテ語ニテ云ヒケルハ公等モ先ヲ喜フヘシ奉行ノ陳ヘラレタル所ノ大意ハ日本人ノ心モ物ニ感動スルヲハ歐羅巴人ニ異ナルヲナケレハ汝等モ必ス恐ル、ヲナク徒ラニ憂悶スヘカラス審問糾彈ノ上實ニ余ヲ欺クヲナクフオスト、フノ所爲ハ全ク彼カ一己ニ出タルニ相違ナキニ極ラハ米酒其他船中ノ食料等ヲ與ヘ本國ニ歸ルヘキ機計フヘシ依テ無事ニ健康ヲ保ツ可シ此方ヨリモ勉メテ丁寧ニ保護スルナリ若シ衣食等ニ不自由アラハ憚ラス申出ツヘシ速ニ其備ヲ爲サント我等其懇切ナルヲ感シ我等ヲ歸國セシメントアルヲ厚ク謝シケレハ奉行ハ坐ヲ立テ我等ニモ獄舎へ歸ルヘント告ケラレタリ(奉行ノ入ラントスル時諸官ニ對シ會釋セシカハ諸官モ答禮セリ奉行立テハ前ノ如ク太刀ヲ持ツ者從ヒ往ケリ)

我等此ノ如キ災厄ニ陥リ日本人ニ就テハ實ニ嫌惡スヘキ點ハ數多ナレモ今回奉行ノ諭示ニ依リ一時心ヲ安セリ但熱思フニ凡ソ妖魔ノ人ノ腹中ニ住スルニ非サレハ斯ノ如ク偽テ憐愍ノ情ヲ示シ内心奸惡ニシテ表ニ仁愛ヲ飾ル丁能ハサルヘシ我等以前ニ偽計ニ陥リ俘ト爲リシニテ思ヒ合スレハ嘗テ聞ク東邦中特ニ日本國人ハ極

メテ狡猾ナル者ナリト謂ヘルハ實ニ我等カ身上ニ騷シタル事ナレハ此ノ奉行ノ詞ニモ疑ナキヲ能ハス恐クハ詐偽ニ巧ミナル日本人甘言ヲ以テ我等ヲ欺キ命ヲ天運ニ任スヘシト決定セシメ長ク此地ニ在ラシメテ彼等ノ利益トスルノ計ナランカ左レハ我ヲ慰スルニ辭ヲ巧ミニシテ生命ヲ全フセシメ折ヲ得テ歐羅巴ノ技術ヲ習ヒ取リ其利ヲ得ントノ企ナランモ知ルヘカラス

十月三日我八月再ヒ我等ヲ官廷ニ伴ヒ行キ奉行ノ前ニ出ツ其式前日ノ如クニシテ種々ノ問アレモ多クハ歐羅巴ノ風俗世教ノ事ニテ我等ノ事ニ拘ラサル條々ナリ其内ニ露國ニテモ昨夜ノ如キ雷アリヤ日本ニテハ此ノ如キ雷多ク尙ホ烈シキモアリト彼カ言語專ラ我等ニ親愛ノ情ヲ示スト見ユ斯クテ二時間許過キテ暫ク休息スヘシトテ外ナル所ニ伴ヘリ其所ハ廣庭アリテ亭ニ似タリ爰ニテ奉行ノ命トテ茶及ヒ砂糖ヲ給シ看守ノ者モ交、厨下ニ退キ煙草ヲ喫セリ是ハ奉行ノ前ニテハ喫煙ヲ許サ、ルカ故ナリ爰ニ熊次郎ト今一人ノ官吏裁縫匠ヲ伴ヒ來リテ我等ニ謂ヘルハ奉行ノ命ニテ汝等ニ衣服ヲ製シ與ヘヨトノナリ日本風ナリトモ露國風ナリト好ミニ應スヘシト余答テ我等衣服ニ缺乏スルコトナシト謂シニ汝等衣服ニ足レリト奉行ヨリ贈リ給ハルコトナレハ受マシキトハ言難シト因テ之ヲ強テ拒ムモ詮ナケレハ温

カナル外套ヲ望ミ夫ハ本體ヨリ送レルフールニコフカ外套ノ如キ袖形ニ做ヒテ宜シト言ヒシカハ我等ノ品物ヲ藏メ置ケル庫ヨリ其外套ヲ出シ來リ裁縫匠ニ其寸尺ヲ度ラシム彼細カニ星ヲ刻セル尺度ニテ度リ行ケリ

爾後數日ヲ過テ其服ヲ與ヘシニ我等三人ノ服ハ地厚キ木綿ノ類ニテ日本ニテモソバト名クル物ニテ造リ綿ヲ入レ木綿ノ裏ヲ付ケタリ水兵ニハ常ノ木綿ニテ綿ヲ入レタリ但其製上着トモ外套トモ暖衣トモ似サルモノナリ唯アレキセイニハ日本風ノ暖衣ヲ與ヘタリ

斯クテ再ヒ奉行ノ前ニ出テ尙ホ數條ノ問答アリ且我等ヲ慰メ必ス徒ラニ落膽スルコトナク天ヲ祈リ目前ノ事ヲ堪ヘ忍ヒ後日ノ幸ヲ俟ツヘシト謂ヘリ余モ然ク思フナリト答ヘケレハ奉行又曰ク汝等カ露國ノ事ヲ計ランニ其事ノ審査ナクンハアルヘカラス汝等此度斯ル事ニ逢ヒタル始末ヲ記シテ差出スヘシ其書面ヲ譯セシメテ諸官ト商議シ汝等ノ爲ニ好都合ナル所置ヲ行フヘシ又其書面ニ添テ汝等ノ願書モ出スヘシトテ筆紙ヲ與ヨト命セリ我等其厚意ヲ謝シテ歸リ去レリ然レモ此ノ如キ感諭ノ詞ハ誠實ナリヤ否ヤト又少シク疑ヒタリキ

其後同月六日我九月ニ至ル迄ハ奉行ノ前ニ出ルコトナカリキ我等ノ食物ハ函館ニ在

リシ時ヨリモ稍宜シ米飯ト鹽漬ノ蘿蔔ハ日本人ノ常食ニシテ歐羅巴人ノ麵包ト鹽ノ如シ其上ニ鮮魚或ハ鹽魚ヲ炙リ或ハ煮タルモノ又時々露國風ノ魚肉ノ羹汁或ハ蔬菜ノ羹又ハ醬粟油ニテ揚ケタル魚ニ擦シ蘿蔔ト生姜トヲ添ヘタリ雪降リシ時ハ鹿熊兔等ノ肉ヲ添テ食セシム日本人ハ時ニ鯨ト海鰻ノ肉ヲ好ミ是ヲモ時々與ヘタリ中ニモ麥粉ト魚肉ニテ製シタル小キ菓子尤モ美味ナリシ或ハ挽割ノ麥ヲ煮テ出スニアリ是ハ日本ニテモ露國ニテモ同シ卓上ニ列スル品ナリ食事ハ矢張日ニ三度ツ、飲料ニハ熱キ茶湯ヲ用フ我等官廷ニ出テ返ル時ハ常ニ酒ヲ二杯ツ、與フ又格別ニ寒キ時モ酒ヲ出セリ

楮又我等ノ臥具ニハ大ナル熊皮二枚ツ、ヲ與ヘ水兵ニハ大ナル寢衣一枚ツ、ヲ與フ都テ我等カ爲ニ意ヲ用フルト斯ノ如ク篤クシテ少シノ缺點ニモ心ヲ用ヒ懇切ナリシカ之レニ反シ其看守法ハ實ニ嚴酷ナリキ
毎日獄舎ヲ巡視スル官吏ノ外ニ別ニ食物ヲ檢スル者アリ此ノ如ク日本人ノ厚意ナルニ因テ余或ル時一人ノ官吏ニ向テ請ケルハ獄舎ノ後ロナル壁ニ一ノ窓ヲ開キナハ格子ノ間ヨリ樹木ノ梢ニテモ見ヘ少シハ心ヲ慰スルナルヘシ此ノ事ハ成ルマシキヤト謂ケレハ彼者毫モ否ム色ナクシテ彼此ト壁ヲ見廻シ何所ニ窓ヲ開テ好カラ

ンカト問ヒシ故余カ好ミヲ示シケレハ諾シテ去リヌ兩三日過キテ窓ノ事ヲ促シケレハ彼答テ汝等ヲ勞ハリ思慮スルコト一方ナラス常ニ汝等ノ健全ナランコトヲ圖リケルカ今北方ニ窓ヲ開キナハ劇烈ナル北風ノ爲メニ感冒ナトニ罹ルコトモアラント謂シ儘打過キタリ此事ハ定メテ成就スヘシト思ヒ居タリシニ斯ク欺カレシモ笑止ナレ

同日ヨリ其月末マテハ一兩日毎ニ官廷ニ呼ビ出シ或ハ終日彼所ニ在リテ食物ヲモ運ヒ來レルコト數ナリ此月ノ半比ヨリ寒氣嚴シクナリテ以前ノ廣キ廳ヘハ出テス函館ノ如ク拷問ノ器械ナト備ヘアル裁判所ノ如キ所ニテ問答セリ其事我等ニ拘ルコトハ少ナク種々雜事ヲ問ヒ其中ニハ笑フヘキ事モ少カラス折々ニハ我身ニ拘ル事ヲモ問ケレハ是レニハ逐一答辯セリ折節苦々シク彼ニ向テ我等ヲ無益ニ苦シメンヨリ寧ろ速ニ殺シ給ハンコソ好ム所ナリト謂シテモ數度ナリキ

松前ニテ始テ雪降リシハ十月十四日我九月夜ヨリ翌日ニ至レリ二三日モ過ルト此雪ハ消ヘタリ十一月半頃中頃ヨリ大雪ニテ是ヨリ寒氣特ニ嚴シカリキ或時余ニ問シハ縛ニ就キタル時ハ何ソ所持シタル物ハナキヤト余云篋筒及ヒ測量器械箱ノ鍵數箇ヲ所持セリト奉行曰ク其篋筒ニハ何ヲ入レ置タルヤ余其覺ヘシ品

々ヲ答ヘケレハ又問フ其品ハ幾箇アリヤト余答テ此ノ如キトハ余カ從僕ノ掌ルコ
ナレハ余ハ知ラスト又問フ其從僕ハ幾人ニテ名ハ何ト呼ヒ年齡ハ幾歳ナリヤト余
彼ニ向テ此ノ如キ無益ノ事ヲ問テ余ヲ煩ハシ今此所ニナキ我カ從僕及ヒ衣類等ノ
事ヲ審問シテ何ノ用アリヤト謂ケレハ彼大ニ耻タル氣色ニテ余ニ謂ヘルハ唯珍シ
キ事ヲ聞カント欲スル儘ニ此ノ如キ事ニ及ヒシナリ必ス恐ヲ發スル勿レトテ其答
ハ言スシテ止ミタリ此ノ如ク彼ヨリ和ラキケレハ余モ其言ノ不遜ナルヲ謝セリ斯
クシテハ又問テ起シ動モスレハ無益ノ事ニ及ヒ我等モ亦直ニ面色ヲ變ヘテ之ヲ拒
ム凡ソ此ノ如クナルト一日ニハ三四回ニモ互リ互ニ或ハ憤リ或ハ和セリ
其問ノ箇條次第ナク彼ヲ問ヒ是レヲ問テ混錯シ加ルニクリテ語ニテ譯シ難キト
多ク纒ニ其半句ヲ得テ之レヲ推察スル位ナレハ我等實ニ煩勞ニ堪ヘナリキ今其不
順序ナル問題ノ一斑ヲ舉レハ概テ左ノ如シ

- 一 露國皇帝ハ何如ナル服裝ヲ爲スヤ
- 一 何如ナル帝冠ヲ戴クヤ
- 一 ムールハ其帝冠ノ形ヲ書キテ示セリ
- 一 サンクツペテルプールグ府ノ近傍ニハ何如ナル島アリヤ

一 汝等ノ若セル衣服ハ露國ニテ若干ノ假ナリヤ

一 皇城ニハ大砲幾門ヲ備フルヤ

此答ニ歐羅巴諸邦ニテハ大砲ヲ備裝シテ皇城ノ防禦トセスト答ケレハ日本人甚
タ怪ミ驚キヌ

一 何ノ毛ヲ以テ羅紗ヲ織ルヤ

余答テ綿羊ト謂ヘル獸ナリト謂ヒケレハ又直ニムールニ其圖ヲ寫サシメ隨テ羊
驢馬及ヒ馬並ニ車轆ナトノ圖ヲ乞ハレテムールモ辭シ難ク盡ク之ヲ畫テ大ニ勞
セリ

一 露人ハ何如ナル鳥獸又何如ナル魚類ヲ食スルヤ

一 料理ノ仕方ハ如何

一 露國ノ婦人ハ何如ナル衣服ヲ好ムヤ

一 露國皇帝ハ何如ナル馬ニ乘リ給フヤ

一 扈從供奉ノ者ハ何官ナルヤ

一 露國人ハ和蘭人ヲ愛スルヤ

一 露國ニハ許多ノ外國人居住スルヤ

一 サンクツペタルブルグ府ニ於テハ何如ナル品物ヲ買賣スルヤ其商人ハ何等ノ人種ナルヤ

一 宮殿ノ廣幅幾許ナリヤ

此答ニ我等知ラスト云ヒシニ強テ其大略ヲ聞ント請ヒケレニ凡テ此ノ如キ時ハ必ス知ラスト云通シケリ又日本官吏ノ問ニハ左ノ如ク無理ナルコト多シ例ヘハ全歐洲諸國ノ港ハ幾許アリヤ軍艦商船ハ幾許アリヤノ如キコト是レナリ我等多クハ知ラスト答ヘ時宜ニ因リテ一時虛言ヲ云フコトアレハ記者アリテ悉ク筆記スルヲ以テ一度問ヘル事ヲ又時ヲ經テ再三問ヒ返スカ故ニ答ヲ配臆シテ齟齬セサル様ニ答ヘスンハアルヘカラス

一 宮殿ノ窓戸ハ幾個ナルヤ

一 汝等カ俸給ハ幾許ナルヤ

一 汝等ハ其職ニ就テヨリ幾年ヲ經シヤ

一 何ニ因テ其位ヲ得タルヤ

一 露國人ハ月ニ幾度寺院ニ詣テルヤ

一 露國ニテハ一歳ニ幾日ノ祭日アリヤ

一 露國人モ絹ノ衣服ヲ着スルヤ

一 露國ノ婦人ハ幾歳許ニテ始テ子ヲ生ミ幾歳比ニシテ止ムヤ

右ノ外露國皇帝ノ名皇族并ニシビリ總督イルクーツスク府知事アホーツスク港及ヒカムチャツカ半島長官等ノ名ヲ問ヘリ

奉行ノ問ノ内最モ煩悶ニ堪ヘサリシハ兵營ニ關スル問題ニシテ右ハ曾テ函館ニ於テモ我等ヲ頗ル惱マシタルモノニシテ是非トモ之ヲ聞ント欲シ我等ノ官職ニテハ陸地ニ凡ソ幾許ノ兵ヲ指揮スルコトヲ得ヘキヤ又サンクツペタルブルグ府ニテ水兵等ハ何所ニ置クヤト問ヒシ故兵營ノ内ニ置クト答ヘケレハ又ムトルニ向ヒサンクツペタルブルグ府ノ圖ヲ繪キ何レノ所ハ宮城何レノ所ハ兵營ト云フ詳ニ示セト請フムトル漸クニ之ヲ圖ニシテ示スニ彼又兵營ノ廣幅門戸窓牖室房ノ數兵卒ハ何レノ樓上ニ住居スルヤ何レノ所ニテ事業ヲ務メ兵營ノ内幾許ノ官吏アルヤ等ヲ問ヒ尙又陸軍ノ兵卒ヲ置ク兵營ノ事ニ及ヒテ其兵數等ヲ問ヒシ故余過半ハ知ラスト答フレニ強テ是ヲ問テ止マス更ニ又我等カ住スル所ハ都府ノ何方ニ在テ宮城ヲ去ルコト幾里ナリヤトテムトルニ委シク之ヲ書カシメ示スヘト云ヒ遂ニ我等カ家居ノ廣幅ヨリ婢僕ノ數ニ至ル迄ヲ問ヒケレハ余云フ此ノ如キ問ヲ爲スハ我等ヲ惱マシ

實ントナナルヘシ此ノ如キ問ニ一々答ヘント我等ニ取リテハ阿責ニ遇フニ等シト
 依テ奉行モ改メテ懇切ナル詞ヲ以テ我等ヲ慰メ勸モスレハ無用ノ問ヲ爲セリ我等
 カ答ハ短略ニシテ枝葉ニ涉ラサレモ尙ホ其詞ニ就テハ又問ヲ起シ來レハ短ク答フ
 ルモ益ナシ日本人等ムールカ筆跡ノ美ナルト書ノ巧ナルニ驚キ博學ノ人ト思ヒテ
 ムールニ向ヒ汝ハ何ノ所ニテ教育セラレシヤトムール思ヘラク海軍兵學校ニ學ヒ
 シト爾ハ、又夫ヨリ種々ノ問ヲ起サント思ヒ唯伯父ノ所ニテ教育セラレタリト答
 ヘシニ又其伯父ノ事ニ轉シ伯父ハ何所ニ住シ何ヲ業トシ自ラ汝ヲ教ヘシヤナト問
 ヒシ故別ニ師ヲ撰ミテ學ヒシト答ヘケレハ又其師ニ就テ細カニ問ヒタリ彼又余ニ
 向ヒ何所ニテ學ヒシヤト問ヒシ故父ノ許ニテ教ヘラレタリト答ヘ是ニテ事濟ムヘ
 シト思ヒシニ何ノ年何ノ所ニテ教ラレ且其父ニ離レシヨリ今ニ至リ幾年ヲ經タル
 ヤ汝ノ父ハ富裕ナリシヤ何ノ學術ニ長セシヤ等ノ事ヲ問ヒ返一ニ答ヲ爲セリ
 本艦ヂアトナ號ヨリ送リタル我等ノ所持品ヲ持出シ其品名ト用方並ニ何レノ所ニ
 テ造リ値ハ幾許ナルヤヲ問ヒ紙片ニ各其名ヲ記シ其品ニ貼ケタリ又或日奉行ノ前
 ニテ英佛書ヲ入レシ箱ヲ持出シタリ是ハヂアトナ號ヨリ送リタリト見ユレモ今迄
 之ヲ知ラサリキ其書籍ヲ出シ此ハ何事ヲ記シタルモノナリヤト問フ余返一ニ答ヘ

ケレハ彼又紙片ニ記載シ其書ニ貼セリ此書籍數冊ノ内ニハ容易ニ其意ヲ論スヘキ
 モアリ又容易ニ説キ示シ難キモアリテ大ニ思慮ヲ費セシナリ其内ニ佛書ニテリ
 ベソフ氏著ノ物理書三冊アリ種々器械ノ圖ヲ載ス日本人等之ヲ見テ甚々悦ビ好事
 ノ癖止ミ難ク其意義ヲ知ラント欲シ稍著ルシキ條ヲ擧テ其譯ヲ請ヒ求ム然レトモ
 余思フニアレキセイカ如キ通辯ニテ其意義ヲ解シ得ヘキニ非ス無益ニ辭ヲ費スノ
 ミナレモ彼頃リニ請テ止マサレハ余其國中ニ校車ト滑車トアルヲアレキセイニ論
 シケレハアレキセイ之ヲ解シ通辯セリ彼聽テ曰ク此ノ如キ器ハ日本ニテモ常用ノ
 品ニテ人皆ナ知ル所ナリト心ニ満足セズ日蝕ノ圖ヲ出シ問テ曰ク此圖ハ地上ヨ
 リ太陽ノ距離ヲ測ルニ非スヤト余此事ハアレキセイニモ解シ得ヘシト思ヒ先アレ
 キセイニ曰ケルハ汝機ノ一端ヲ水ニ入レシ時其機ノ折レテ見ユル理由ヲ知レリヤ
 トアレキセイ曰ク見知レリ但夫ニ何ノ理アルヤヲ知ラスト余是ニ於テ太陽ノ光線
 ノ屈曲スル理由ヲ説キ示シケレハアレキセイ幸シテ之ヲ了解シ自ラ思ノ絶ユルハ
 カリニ大笑シテ云夫ハ鬼ノ爲ス事ナルヘシ誰人カ日光ヲ屈曲ズル事ヲ得ント我等
 モ此詞ヲ聞テ笑ヲ止ムルヲ能ハス日本人モ皆一同ニ大笑シタリ是ニ於テ日本人モ
 アレキセイハ此等ノ事ヲ通辯スル能ハスト悟レルト見ヘテ彼書籍ヲ丁寧ニ箱ニ納

他日ニ讓ル可シ他日ニ讓ル可シト爾ヲ止メ實ニ此他日ト云ヘル詞コソ後々我等
 フ惱マスフ幾何ナラント恐レヌ諸日本人ハ我等ヲ博學ノ者ト思ヘル様子ニテ特ニ
 夫ノ書籍ニハ悉ク余カ名ヲ記シアルヲ見テ皆余カ所持ナルヲ知リ驚嘆セシナリ彼
 カ他日ト云ヒシフハ實ニ此後時ヲ得テ夫ノ書中ノ圖ヲ委シク聞知リ利益ヲ得ント
 思ヘル心組ナラント察セラレタリ
 右ノ書籍ヲ出セル時余ニ問ヒケルハ此書籍ノ内外國ノ書籍多クシテ露書ハ只二冊
 ナリ露西亞ニテハ書ヲ刊行スルフ少キヤト余答フ然ラス此箱ハ他邦ノ書籍ヲ入レ
 置クモノナリ露西亞ニテ刊行シタル書籍ハ他ノ箱ニ數多アリト又問フ他邦ノ書籍
 ハ皆好キ紙ヲ用ヒタリ露西亞版ノ書ハ甚々紙醜惡ナリ此ハ如何ナル事ナルヤト余
 答テ露西亞版ノモノモ元ヨリ好キ紙ニテ美麗ナルアリ他邦ノ書ニモ醜惡ナルアリ
 一概ニ論スヘカラスト云ヘリ
 種々ノ問ヲ爲セル内ニ勳モスレハ露西亞ノ武備海軍ノ勢力城堡并ニ露國ノ富強ノ
 事ニ及ヘリ我等前ノ如ク同シ答ヲ爲セリ又我邦ニ四十五六貫目ノ大砲アリト云フ
 フヲ答テ實ト思ハサル様子ナリ我等カ小銃ニ燧石ヲ設ケタルヲ見テ笑ヘリ彼等ハ
 火細ヲ用フル故ナルヘシ

奉行我等カ身上ニ係ル事數條ヲ問ヘモ概テ函館ニテ答ヘシ如クナリ然レモ一兩日
 毎ニ我等ヲ呼出シテ種々ノ問ヲ爲セル内ニハ我等カ身上ニ關ル重要ノ問モアリキ
 爰ニ一ノ奇怪ト思ヘルハ我等ノ獄舎ニ來リ給仕スル二人ノ者アリ是ハフオスト
 フカサハリノ島ニテ捕ヘカムチャツカ半島ニ連レ行キシ者ノ由ニテ今ハ日本ニ歸
 リ我等カ官廷ニ呼ヒ出サレル時ハ必ス附從ヒ側ニ在リテ我等カ詞ヲ聞キ居リタリ
 或時奉行此男ニフオストフノ事ヲ問ヒシニ彼云フフオストフノ衣服ノ縫ヒ飾
 ト余及ヒムールノ衣ニ附タル縫飾ト同形ナリト彼カ此詞ハ我等分明ニ聞知リタリ
 右ノ問終リテ後奉行爾ハ是ヨリ當分ハ汝等ヲ呼ヒ出ストナキ故已レノ願意ヲ
 配賦シテ差出スヘシ又熊次郎ニ命シテ我等ヲ看視シ鬱悶セサル様ニ慰ムヘシ又我
 等ニ向ヒ只天ヲ祈リ運ヲ待ツ可シ若シ何事ニテモ缺ルフアラハ憚ルコナク熊次郎
 ニ談スヘシ國法ニテ成ルヘキ事ハ支辨スヘシト云ヘリ
 十月中旬我九月中旬頃ヨリ漸ク寒氣強ケレハ前ニ與ヘラレタル綿入ノ衣服并ニ熊皮ニ
 テモ尙淺キ難キヲ以テ牢外ノ格子ヲ紙ニテ張り風ヲ防キタリ且我等カ望ニ因テ一
 ノ窓ヲ開キ麻繩ヲ以テ開闔ニ便ニセリ此窓ヨリ少シク天ノ色ト樹梢トヲ見ルヲ得
 タリ囚獄ノ身ニテハ此ニテモ少シハ意ヲ慰メリ又獄舎格子前ニ歩許リ離レ土間ニ

大ナル穴ヲ穿チ其周圍ヲ四角ニ切リタル石ニテ發ミ其内ニ砂ヲ入レテ朝夕炭火ヲ置キ其火氣ニテ獄舎ヲ暖メタリ

此地爐ヲ穿ントスル場所ヲ官吏通詞醫師其他大工等來リ評議點檢スルヲ稍一時間許ナリ余初メハ何事カ大ナル事ヲ企ルナラント思ヒシニ左ニハ非ス是レハ牢内ヨリ手ヲ伸シテ爐ノ火ニ達セサル様ニ爲シ又長キ烟管ニテハ烟草ニ火ヲ點スル事ノ自由ナル様ニ其間ヲ隔テントテ斯ク工夫ヲ爲セシナリ凡テ日本人ハ斯ル瑣細ノ事ニモ時刻ヲ費シ鄭重ニ評議シケレハ我等カ身上ノ事ヲ評決センニハ幾許ノ時日ヲ費サント余ハ大ニ心ヲ痛メタリ

其後二三日過テ我等ニ烟草ト烟管トヲ與ヘリ其烟管ハ長クシテ中央ニ木ニテ作レル圓球ヲ付ケタリ其球大ニシテ獄舎ノ格子ノ間ヲ出入セス蓋シ火皿ヲ牢内ニ入レシメサランカ爲ナル可シ抑モ日本人ノ疑心深クシテ斯ル奇異ノ事ヲ爲スハ余ニ於テ甚タ不快ナリケレハ彼等ニ非難シテ日本人ハ歐羅巴人ヲ犬馬視シ此ノ如キ事ヲ爲サト云ヒケレハ彼等笑テ合ミテ答ケルハ日本國法ニテ囚人ニハ自殺ノ點ヲ恐レテ總テ何ニ因ラス一物ト雖トモ手ニ執ラセス况ヤ烟草ヲ喫セシムル事ヲヤ今奉行ノ恩惠ニテ牢外ヘ爐ヲ開キ國法ヲモ破ラサラン爲メ此ノ如キ烟管ヲ與ヘ烟草ヲ

許セシナレハ憤ルヲ勿レト余之ヲ聞テ心解ケ悦ビヌ何トナレハ此ノ如キ條理ナレハ日本人モ強テ法ヲ守ルノミナラス事ニ因テハ時宜ニ從フ事モアリト見ユ是ニ因テ彼等モ露西亞ト戰ヲ起スヲ避クヘキ爲ニ其國法ノ嚴ナルヲモ少シハ我等ヲ寬宥シ怒ヲ鎮メ強敵ヲ自國ニ招カサルヲ好シト思ヘル者カ且彼等余ニ告ケルハ汝等ノ身上今ハ大ニ扱ヒ易クナリテ終ニハ免サレテ歸國スルニモ至ルヘシ但日本人ノ慣習ニテ何事ヲモ速ニ決セス一事ヲ決スルニ當リテハ其事ニ係ル枝葉ヲ悉ク審訊考試シ後悔ナキ様ニ精密ニ議定セシ上ニテ事ヲ處辨スルナリト此言ヲ考ルニ總テ日本人ノ我等ヲ取扱フ様子實ニ皆此ノ如クアリシト後ニ思ヒ合ヒタリ

奉行我等カ無聊ヲ慰センカ爲メ種々計画セシカ或日奉行ノ命ナリトテ一人來リ支那船ノ圖第二世ニカタリ一女帝ノ像ヲ鑄タル露西亞ノ銀錢ト并ニ日本ノ米俵其畫二「ブード」凡我四貫三モアラント見ユル者及ヒ奇麗ナル箱ニ玻璃燵ノ入タル者但其箱ハ金ヲ漆塗ナラシニセシ最モ美シキ品ニテ奉行私藏ノ由右物品等ヲ我等ニ示シ此品ハ歐羅巴ニテ見シ事アリヤ銀錢ハ何ト名ツク其價ハ幾許米俵ハ歐羅巴ノ量目ニテ幾何ナリヤト問ヘリ此回ノ問ハ例ノ枝葉ノ廣カルヲモナク只通常ノ答ニテ止ミヌ尖ノ箱ニ入レタル玻璃燵ヨリ好キ酒砂糖漬菓子等ヲ出シテ我等ニ與ヘタ少能次

郎告テ云フ奉行ノ命ニテ汝等ニ惠ミ給フ所ナリ但國法ニテ奉行ヨリ私ニ食品ヲ贈ルヲ能ハス故ニ斯ク爲シタルナリ是ニテ奉行ノ汝等ヲ憐ムト厚キヲ察スヘシトナリ又日々我等ヲ看廻ル醫師アリ若シ我等少シニテモ病氣ノ時ハ其醫日ニ二三度モ來リ時アリテハ他ノ醫ヲモ伴ヒ來リテ診セシム又或夜市中ニ失火アリテ甚ク騒動セシカ其時半ノ看守等速ニ來リテ火災アルヲ告ケ且ツ驚クト勿レトテ丁寧ニ諭セリ先ニ我等松前ニ來リシ日モ失火アリシカ其節ハ來リ訪フ人モ甚ク遅クシテ心ヲ痛メタリキ

此失火ハ海濱ノ船小屋ニテアリシト凡テ失火ノ時ハ市中ニテ鐘ヲ撞キ大鼓ヲ打テリ

爰ニ一笑セシ事アリ毎日我等ノ食膳ヲ點檢セル六十歳許ノ老人アリ常ニ甚ク親切ニシテ我等ヲ慰メ久シカラスシテ本國ニ歸ルト得ヘシナト云ヘリ或日此翁美麗ナル衣服ヲ着シタル日本婦人ノ番ヲ持來リテ之ヲ示セリ我等其意ヲ察セス只見了リテ翁ニ返シケレハ翁此ヲ留メヨト云ヒ余辭シテ返サントスルモ肯セサレハ何ノ爲メト問ヒシニ時々之ヲ見テ心ヲ慰メヨト余答テ今我等ノ身上ニテ此ノ如キ物ヲ好ムト思ヘルヤ特ニ此ノ番ニ至テハ猥褻ナル者ニシテ歐羅巴人ニ於テハ實ニ嫌惡

ニ堪ヘスト云ヒシカト翁我等カ嫌フヲモ顧ミスシテ投ケ行ケリ後余ハ之ヲ熊次郎ニ與ヘタリキ

十月ノ末我末ヨリ我等身上ノ始末ヲ記載セヨトテ紙墨ヲ贈リ且熊次郎其書面ノ體裁ヲ示セリ但彼カ望ム所我カ意ト合サルト多ク爭フトモ數度ナリキ彼云ヒケルハ余トムール及ヒフレノブニイコフハ各別紙ニ記載スヘシ水兵等ハ一紙ニ集録シテ差シ出スヘシ又各生國父母ノ姓名及ヒ各自仕官セシヨリノ年數等ヲ記スヘシト此等ノ事ハ我等モ敢テ拒ムトナク之ヲ記載セシカ彼又種々雜事ヲモ記載セヨト云ヘリ例ヘハ露西亞ニテ人死スレハ郭外ノ葬地ニ葬リ其所ニ十字架又ハ他ノ墓標ヲ建ル等ノ如キ彼カ嘗テ我等ニ問シ事トモナリ余云フ此ノ如キ無益ノ事ヲ逐一記スルニハ我等生涯記述スト雖モ尙ホ盡サ、ルヘシ奉行モ我等ニ命シテ只身上ノ事ヲ書出スヘシト云ヒタリトテ肯セサリシカハ彼尙ホ強テ書セシメ我カ望ノ如ク記セサルハ汝等ノ爲ニモ宜シカラスト云ケレハ我等拒ミテ肯セス然ラハ汝等カサンクツハテルブール府ヲ出立セシ以後ノ事ハ委シク書シ其以前ノ事ハ略記スヘシ但日本人ニ係ル事ハ瑣細ノ事タリハ遺サス記載シ又レザリノフ並ニフオストノ件ニ就キ汝等カ嘗テ我等ニ話セシ事モ詳細叙述スヘシト云ヘリ余其事ヲ購シテ今ヨリ

詳細ニ書キ置クヘシ爾後爰ニ來リアレキセイヲシテ其書面ノ通辯ヲ爲サシムヘシト云ケレハ然ラハ其書面ノ行間ヲ廣クアケテ書スヘシト別レ去レリ夫ヨリ我等其書面ノ稿ヲ起サントスルニ看守等カ之ヲ見テ草稿ヲ取上ン事ヲ恐レテ竊ニ隠シテ記スルニ如カシト思ヒ大ニ心ヲ勞セリフレニニコフハ常ニ獄舎ノ格子ノ傍ニ居テ腰衣ヲ被リ看守等ノ方ニ背ヲ向ケテ居タリケレハ墨汁ヲ小キ木匙ニ入レ糝藥ヲ筆トシ其稿ヲ起セリ

日本人ハ飲食スルニ肉刺モ匙モ用ヒス只二本ノ箸ヲ用ヒテ羹汁ヲハ直ニ其器ヨリ吸フ一歐羅巴人ノ茶湯ヲ喫スルカ如シ夫故クリーリ人等嘗テ我等ニ與ヘタル小キ木匙ヲ墨壺ニ代用セシナリ又日本人ハ書スルニ簞筆ヲ用ヒスレテ毛ニテ造レル筆ヲ用フ今竊ニ草稿ヲ書スル故簞筆ヲ乞フコ能ハサレハ己ムヲ得ス敷物ノ類ノ心ヲ抜キ取リテ之ニ代ヘシナリ

其時一人ノ看守フレイブーニコウヲ伺ヒ見ル様子ナリケレハ余フレイブーニコフノ例ニ行キ目ヲ以テ之ヲ知ラセリ嚮ニ熊次郎ヨリ紙ヲ贈リテ其書面ノ用ニ供スレル今稿ヲ作ル事ナレハ是ヲ用フル事能ハス鼻紙トシテ與ヘシ鹿紙ヲ用ヒタリキ本書ハ余カ口演スルヲムール聽テカラ之ヲ筆記セリアレキセイヲシテ此書面ヲ熊

次郎ニ通辯セシムルナレハ務メテ鄙言ヲ用ヒアレキセイニ會得シ易キ様ニセシナリ夫故書面ノ文體甚々異様ナレハ尙ホアレキセイニ解シ難キト多ク之ヲ論スニ幾許カ思慮ヲ費セリアレキセイ漸ク其意味ヲ悟リ復彼カクリーリ語ニテ能ク言ヒ取リテ熊次郎ニ理會セシムルモ亦甚々容易ナラザリキ

熊次郎先ッ其書面ノ露語ヲ我等ニ讀マシメ其字音ヲ日本文字ニテ盡ク其傍ニ書付ケタリ此熊次郎ハ年齡五十歲許ト見ニ性鈍ニシテ少モ歐羅巴ノ言語ノ大意ヲモ辨ヘス常ニ我等カ一語ヲ論スニモアレキセイヲ媒トシテ手眞似ヲ用ヒ種々ノ譬ヲ爲シテ漸クニ理會セシムルナリ彼其事ヲ理會スル時ハ毎ニ「オ、オ、オ、オ」ト云ヘリ此詞ハ日本ニテ事理ヲ會得セシ時云フ詞ト見ヘタリ然シテ一語ヲ論スニモ毎ニ二時間許ヲ費シ彼レ一語ヲ會得スレハ又一語ヲ論スコ始ノ如クシテ漸ク理會セシムル事ナレハ我等モ殆ト煩勞ニ堪ヘス怒レルコトモ多カリケレトモ彼ハ毫モ之ヲ意トセス只微笑シテ自ラ老年ナル故ナリト云ヒ居リタリ嘗テ「イムベラ」トリスコイ云フ時ト云語ヲ彼ニ論ストテ二日ヲ費シタリ先ッ種々ノ譬ヲ爲シテアレキセイニ示シアレキセイ之ヲ會得シテ彼カ詞ニテ通シ易キ様ニ言ヒ聞セハ彼之ヲ聽ク尤モ丁寧反復シテ會得スル時ハ微笑シ「オ、ソウ」ト答ヘ其語ハ余好ク記聽シタリ其ス

コイ「スコイ」ト云ハ何ノ義ナル事ヲ解セスト云ハリ是ハ語尾ノ變化ニテ其語ヲ動シ
 働カス「ト」ハ解シ得サルト見ニ特ニ前置詞ニ至テハ彼等カ最モ解シ能ハサル所ニ
 シテ凡ソ日本語ニテハ常ニ語尾ノミニテ變化スルト見ヘタリ又熊次郎カ意ニハ嘗
 テ我等カ詞ハ全ク解スヘカラサル「ト」思ヒ居シニ此頃ハ少シ解スヘキ様ニナリテ
 大ニ驚キタルトナリ彼又露西亞語モ日本語ニテ轉倒ナク直讀スル様ニ綴ル「ヲ」得
 可シト思ヒテ類ニ我等カ文章ヲ書キ改メン「ヲ」請ヘリ余其事ハ決シテ能ハサル「
 ナリト」云ヒケレハ今此書面ニ後トニアル語ヲ轉シテ前ニ置ク時ハ看ル人反譯ノ虞
 漏ト思フヘケレハ強テ詞ノ位置ヲ改メスシテ書スヘシト云ヘリ彼如何ニモ此事ヲ
 會得セザレハ幾許カ爭論セシナリ余彼ニ向ヒ汝試ニク「リ」語ト日本語ヲ同シ様
 ニ綴リ見ヨ必ス其意味ハ解セサルヘシト云ヒケレハ彼答テク「リ」語ハ實ニ野郎
 ニテ文字モナシ露西亞語ニテハ多クノ書籍ヲモ綴レハ其事ノ成ラサル「コ」ハアラサ
 ルヘシト我等之ヲ聞テ實ニ笑ニ堪ヘサリシカハ彼モ同ク笑ヒ居タリ余又彼ニ歐洲
 各國ノ言語大同小異ナレモ其用方一般ナラス况ンヤ日本語ト露西亞語トハ音讀ノ
 差アレハ露ノ文字ヲ日本文字ノ如ク綴ル「コ」能ハスト屢回讀シケレハ彼漸クニ會得
 セシ様子ナリキ

熊次郎我等カ書面ノ意味ヲ漸ク了解シ之ヲ日本語ニ譯シ又我等ニ通辯シテ聞カシ
 ム其内ニ意ノ違ヘル「ア」リテハ書改メシメ漸クニシテ其翻譯成レリ
 十月中旬我九月夫ノ書面ノ件モ畢リテ別ニ我等ヨリ願書ヲ添ヘテ奉行ニ差出セリ
 是ハ我等ノ罪ナキ「ヲ」辨明シ囚獄ヲ免サレテ本國ニ歸サレン「ヲ」願フノ趣意ニテ
 尤モ謙遜ノ詞ヲ用ヒテ筆記セリ是モ亦アレキセイノ通辯ヲ以テ熊次郎ニ和譯セシ
 メダリ總テ此事件畢リテ奉行ヨリ我等ノ書面ヲ尙ホ委レク問ヒ糺シ并ニ反譯セル
 趣ヲモ審訊センカ爲ニ官廷ヘ出ツヘシト告ケ來レリ
 我等右ノ書面ヲ製スル間ハ熊次郎ヲ附ケ置カス只アレキセイノミヲ附ケ置カシム
 此ニ因テ疑フニアレキセイ若シ日本人ト意ヲ合セテ我等ヲ騙フ「ト」モアラシカト互
 ニ言ヒ合セテアレキセイイカ解セサル詞ニテ事ヲ談セシニアレキセイ此ヲ覺レルヤ
 大ニ歎キ我等ニ言ヒケルハ公等余ヲ疎ミテ事ヲ隠サルハ遺憾ナリ余モ公等ト同
 シク露西亞皇帝ニ奉スル者ナレハ何ソ異心アラント又告テ曰ク爾ニ日本人イッル
 「「フ」島ニテ余及ヒク「リ」人數人ヲ捕ヘクナシリ」「「フ」島ニ來レル者ナルヘシトク「リ」人等初ハ然
ラスト答ヘタルカ日本人拷問シテ止マス或ハ驚嚇シ或ハ欺誘シテ然ナリト云ハ、

實ヲ免シ獲美スヘシナト云シカハクリトリ人モ已ムヲ得ス實ヲ通レント思ヒ偽リ
 テ露西亞人ヨリ命ヲ受ケテ來レリト云ヒシナリ今余ハ夫ノクリトリ人ノ言ヒシハ全
 ク偽ナリト日本人ニ辯明シ自ラ實問ニ罹リ死ニ至ルモ毫モ恨ム所ナシ之ヲ以テ余
 モ公等ノ如ク露西亞人ニ劣ラサル精神ヲ天帝ニ證スヘシ余今良心ニ背キテ十年乃
 至二十年ノ壽命ヲ得ルモ神心常ニ憂悶シ死後モ長ク浮マサランコソ怖シケレ仍テ
 願クハ此事ヲ公等カ書面ニ書加ヘラルヘシト云ヘリ其詞常ヨリモ能ク辯明シ實ニ
 思ヒ入りタル様子ナリ余其言ヲ所ヲ感賞シテ云ケルハ汝ノ言ノ如クナラハ露國ニ
 歸ルモ罰スヘキナシ且汝カ同伴ノ者ノ言ヒシコトニ罪ハ彼等ニ在リ但シ今ニ至
 リテハ其件ヲ日本人ニ告ケルハ我等ヨリ汝ニ命シテクリトリ人カ白狀シタル
 ヲ打消サシムルトノ策ト認メラル、ト必然ナリ故ニ先能ク勘考シテ便宜ニ就テ計
 フヘシ今疎忽ニ汝カ主意ヲ説カハ日本人ヨリ問テ云ンニアレキセイハクリトリ人
 ノ偽言ナルト何故ニ我等カ鑑ニ在リシ時カ或ハ囚ト爲リシ時速ニ告ケスシテ今
 ニ至リテ其事ヲ告ルヤト詰ラハ其答ニ窮スヘシトアレキセイ之ヲ聞テ熟考シ云ヒ
 ケルハ日本人ハ余カ言ヲ信用スルモ信用セサルモ夫ニハ拘ハラヌ余ハ只天ニ對シ
 テ誠實ヲ顯ハスナリ假令日本人余ヲ拷殺スルモ死シテ誠ヲ顯スハ余カ本意ナリト

テ頃ニ涙ヲ落セリ是ニ於テ我等モ願クハ此事ヲ日本人ニ證シアレキセイヲシテ苛
 酷ノ實ニ遇ハサラシメント工夫セシカ未タ良策モ得サリキ
 或時アレキセイ親ラ熊次郎ニ向テ云フ鑑ニクリトリ人ノ白狀セシコトハ全ク偽リナ
 リト告ケレハ熊次郎驚キテ汝ハ必ス發狂セシナラント云ヘリアレキセイ云フ余ハ
 決シテ狂氣セシニモ非ラス其誠實ヲ顯サント思ヘル故ニ死ヲ極メテ覺悟セルナリ
 ト答ヘタリ斯クテ熊次郎ハ出テ去リケルカ此事ヲ彼カ長官ニ達セシヤ否ヲ知ラス
 然レハ我等其後官廷ニ出シ時奉行諸官吏皆ナ我等カ書面ノ反譯セシモノヲ見居タ
 リシカアレキセイ自ラ彼一件ノ事ヲ述ヘテクリトリ人共カ白狀セシ事ハ全ク偽言
 ナルト勘考アリタシト簡略ニ言ヒケレハ諸人聞テ驚キ云フ彼自ラ己カ偽ヲ斷ヘ
 出ルハ大ナル痴漢ナリト云シト日本人ハ我等カアレキセイニ命シテ言ハセシト思
 ヒシ故ナラン
 此ヨリ後アレキセイヲ屢官廷ニ呼出シケル故我等彼カ心ノ變シテ再ヒ其詞ヲ改ム
 ルコトナキヤト願慮シ彼カ様子ヲ窺フヘシト思ヒ水兵等ハ元ヨリ我等居ル所ノ爐
 邊ニ來ルトハ禁シナケレハ或ルハ廊下ヲ逍遙シ竊ニ水兵ニ命シテアレキセイヲ試
 ミ其事ヲ問ハシメ若シアレキセイカ答好シト思ハ、汝吸ナスヘシ若シ又其ノ答好

ラスト思ハ、黙止スヘシ此ニ由テ余其善惡ヲ察スヘシト約シ置ヌ其夜ニ至リテ水兵共カ重キ感冒ヲ患シ如ク暖聲絶ヘサレハ余其事ノ好キヲ知リテ喜ビシカ其後彼レ水兵ト幸ニシテ窃ニ說話スルヲ得タリシニ夫ノ水兵等ハアレキセイヲ甚ク疑ヒテ彼カ我等ニ告シト日本人ニ對シテ演ヘルトハ異ニシテ我等カ内意ヲモ日本人ニ明セシナラント思ヘリト語レリ然レモ余思フニアレキセイハ今ハ偽リ飾ルヲナク定テ我等ニ言ヒシ如ク其實ヲ顯ハセシナラント考ヘタリキ

日本人アレキセイヲ札問セシ後我等ヲ官廷ニ呼ヒ出シ奉行ヨリ問ヒケルハ露西亞人ハ實ニクリイリ人ヲ日本ノ領地ニ來ラシメレニハ非スヤアレキセイカクリイリ人等ノ白狀セシヲハ偽ナリト云フヲ何日ニ汝等ニ告ケタリヤト因テ我等詳ニ之ニ答ヘシカアレキセイハ其意ヲ解セスシテ又日本人ニ向ヒ其事ヲ説カサリシカハ日本人等高聲ニ笑ヒ互ニ何事ヲ語リ合シカ其詞ハ我等ニ解スルヲ能ハス但日本人ノ意ニハ我等アレキセイト打合セクリイリ人ノ白狀セシ詞ヲ取消ス工夫ニテ偽リ飾レルト思ヘル様子ヲ察セリアレキセイハ尙其意ヲ悟ラス只辯明シテ自餘ノクリイリ人ト對談セシヲ顯ヘリ然レモ他ノクリイリ人ハ此時尙ホ日本ニ停メアリヤ又ハ己ニ放テ返セシヤ更ニ我等ニ知ラセサリキ其後我等獄舎ノ看守ニ此事ヲ問ヒ

シニ或ハ知ララスト云ヒ或ハ己ニ放テ返セシト云ヒ或ハ尙カ愛ニテ見タリト云ヒ其言一ナラス實ニ日本人ハアレキセイカ斷ヘシヲ虛説トシ我等カ陰謀ト思ヒテ我等ヲ問者詐欺者トスルノ外ナカラン唯天ノミ其罪ナキヲ知ランカ復我等カ願望ノ妨ト爲リヌ我等終身囚獄セラレテ歸國ノ望絶エシヲナラハ此ノ如クニテ生キ延シヨリハ寧ロ速ニ死センニ如カスト思フノミ斯ク我等カ憂慮セシヲ日本人等モ察セシヤ我等ヲ慰メントテ復稍食物ヲ美ニシ我等カ疾病ヲ恐レテ新ニ綿ヲ入タル襪衣ヲ贈レリ

十一月十九日^{十月十六日}官廷ニ出ツヘト告ケ來リ通詞并看守ノ者等モ甚ク喜ヘル色ニテ此回ハ奉行汝等ニ一ノ吉事ヲ達セラル、ヲ以テ汝等悦フヘシト云ヘリ何事ナリヤト思ヒ官廷ニ出シニ我等ヲ大廳ニ導キ諸官吏列坐シ奉行席ニ就キテ先ツ我等カ無事ヲ問ヒ

奉行我等ヲ見ル毎ニ必ス先ツ我等カ無事ヲ問ヒ并ニ同伴互ニ和順ナルヤ食物ハ宜シキヤ他ノ故障ハナキヤ等ヲ問ヘリ

次ニ問ヒケルハ汝等フオストノ事ニ就テ辯明セシ條々聊カ相違ナキヤ汝等カ日本海濱ニ來ルハ寇ヲ爲スノ主意ナラサルヲ實意ナリヤト余直ニ其實ヲ辯明セ

シニ尙又奉行續々ト利害ヲ説キシカアレキセイハ例ノ如ク其大意ノミヲ通辯セリ
 其大要ハ初メ汝等ハ日本ノ村落ヲ亂暴放火スルヲオストトフカ餘徒ト認シカ故ニ
 陣營ニ誘キ寄セ捕ヘテ虜ト爲シ露西亞ヨリ日本ニ抗敵スル理由ヲ糾問セント欲セ
 シナリ是レ昔ヨリ今ニ至リ日本ヨリ露西亞ニ對シテ仇ヲ爲セシト無ク又之ヲ企ン
 トスルノ意ナキカ故ナリ然ルニ汝等カ陳フル所ニ據レハ豈ニ亂暴セシハ全ク露西
 亞政府ノ關スルトニ非スレテ汝等ニ罪ナキト知レリ是ニ由テ今ヨリ囚獄ヲ免シ
 別ニ好キ居所ニ移ラシメ退テ恙ナク本國ニ放テ歸ラシムルヲ得ヘント然レトモ松
 前奉行ハ此國ノ主ニ非ス上ニ皇帝アリ政府アレハ上命ナケレハ奉行ノ意見ニテ我
 等ヲ全ク放免スル能ハス汝等ヲ歸國セシメント欲シテ一人ノ次官ヲ江戸ニ派シ其
 事ヲ奏スヘシ汝等モ落膽スルコトナク天ヲ祈リ日本國天王ヨリ命令ヲ俟ツヘシト
 日本人我等ヲ慰スル毎ニ天ヲ稱スルハ我等ニ於テ喜ハシキコトナリ我等望ノ如ク
 天ノ恵ヲ得テ本國ニ歸リシナラハ此事ヲ況ク日本國人ニモ告ケ亦タ我國人ニモ
 此始末ヲ語リテ天恩ノ辱キヲ衆人ニ知ラセント樂メリ
 アレキセイ右ノ如ク通辯シ我等ハ奉行ノ諭旨ヲ能ク理會シタル旨ヲ奉行ニ通シケ
 レハ日本人來リ直ニ我等カ細ヲ解キ免シテ我等ニ向ヒ祝言ヲ述タリ其場ニ在ル鈴

木甚内上原熊次郎ノ兩人ハ皆眼ニ涙ヲ浮メタリ斯クテ我等奉行及ヒ諸官ニ其惠憐
 ノ篤キヲ謝シケレハ奉行ハ刑ヲ告テ我等ヲ送レリ倍テ我等獄舎ニ歸リケレハ看守
 給仕ノ者並ニ獄舎ニ出入スル者モ皆我等ニ向ヒ祝詞ヲ述ヘタリキ

○松前獄舎景狀ノ一

我等城内ヨリ歸リケルニ獄舎ノ景狀ハ全ク一變セリ日本人カ斯ノ如ク迅速ニ之ヲ
 改造セシニハ實ニ驚歎ノ至ナリキ獄舎ノ格子ヲ取除キ其前ニ在ル板敷ノ所ト合シ
 テ一室ト爲シテ板ヲ張リ其上ニ美麗ナル畳ヲ敷ケリ是ニ由テ我等カ住居スル所甚
 タ廣キ室ト爲リ自由ニ運動スルヲ得タリ又室内ヲ見廻リシニ爐ノ側ニハ小サキ卓
 子ニ我等カ用フヘキ茶碗ヲ排置シ銅鑪ニ茶湯ヲ入レ爐火ニ懸ケ又我等一名毎ニ烟
 管ト烟草トヲ入ルヘキ烟竈ヲ供ヘタリ燈火ハ從前魚油ヲ用ヒシニ蠟燭ニ改ムル等
 實ニ我等ノ意想外ニ出テ大ニ驚嘆セリ
 日本人ハ冬夏ノ別ナク終日爐ニ火ヲ焚キ朝ハ男女共ニ爐ヲ圍ミ烟草ヲ喫スルナ
 一リ又茶瓶ヲ火ヨリ下ストナク常ニ沸シテ之ヲ飲ミ茶ナケレハ温湯ヲ飲ミ更ニ冷
 水ヲ用ヒス酒モ温メテ飲ミ冷飲スルコトナシ是レ其俗習ナリ
 我等皆ナ其様子ノ變リタルニ驚キ居タルニ一人ノ官吏其見ヲ携ヘ來リ我等ヲ賀シ

テ爐ノ側ニ坐シ甚タ親シク談話ヲ交ヘ烟草等ヲ喫シ其懇親ナルノ狀ハ恰モ賓客ヲ待スルカ如ク終ニ囚虜ヲ遇スルカ如キコトナシ晚餐ヲ持來ルエモ從前ト變リテ膳ニ載セ食器等モ殊ノ外美麗ニテ食物ノ味モ大ニ佳ナリ酒モ是マテハ量ヲ限リシカ今ハ隨意ニ飲マシメタリ我等久シク獄舎ニ呻吟シ本國ニ歸ルヘキ望モ絶エタリシニ斯ク意外ニ取扱ノ變リタルヨリ復タ本國ニ歸ルヲ得ヘキヤト想ヒケレハ大ニ心ヲ安シ是ノ夜ハ囚トナリシヨリ以來始メテ熟眠セリ

其後兩三日ハ本國ニ歸ル期モアラント樂ミシカ又新ニ疑フヘキ事アリテ我等ニ話セシ事モ信シ難ク待遇ヲ好クセシ事モ厚意ニ出テシ如ク見ユレトモ其實ハ能ク我等カ健康ヲ保護シ我等ノ學識智能ヲ藉リテ利益ヲ得ントスル策ナラン彼レ奸猾ノ徒假面ヲ被フリテ人ヲ欺クトモ余ニ於テハ其虛假ナルヲ知レリ其故ハ我等カ食物數日ヲ經テ又舊ノ如ク魚蝦トナリ唯膳碗ノミ以前ニ替リタルヲ用ヒ蠟燭モ亦魚油ニ換ヘ我等ヲ縛レル繩モ元アリシ所ニ掛置キタリ是レ皆ナリ日本人ノ表裏齟齬スル所ナリ且ツ聞ククナシリ島ニテ我等ヲ捕ヘタル長官并ニ我等ニ書翰ヲ與ヘタル官吏等松前ニ來リ奉行ノ前ニテ又アレキセイヲ呼ビ出シ糾問セリト此ニ由テ見レハ奉行モ未タ我等カ事情ヲ會得シテ全ク免スヘシト決斷セシニアラサルナルヘシ

アレキセイ官廷ヨリ返リ來リテ余ニ告ケ、ルハ今日奉行ノ前ニ至リシニ櫛キノ口供ヲ疑ヒ拷問スヘシト云ヒケル故之ニ怖ル、色ナク死ヲ決シ前ノ如ク答ヘ誠ヲ顯ハシ稔述セシカハ奉行ハ拷問ヲ止メ今日ハ先ツ休ムヘシ此後又呼ビ出サントテ返セリト云ヘリ一日上原熊次郎二十五歳許ナル村上貞助ト稱スル者ヲ伴ヒ來リテ我等ニ云ヘルハ奉行此者ニ露西亞語ヲ教ヘラレントヲ求ム其故ハ日本國法ニテ汝等カ書面ヲ兩人ニテ和譯スヘキ爲メナリト余又熊次郎ニ向ヒ奉行ハ既ニ我等カ口供ヲ確信シテ取扱ヲ好クシ追テ我等ヲ放免シテ本國ニ歸ラシムヘキ事ハ如何ニ處理セラル、ヤト問ヒシニ彼答ヘテ奉行ハ其事ヲ商議セル故今汝等ノ書面ヲ兩人ノ通詞ニテ和譯セシメント欲スルナリト余之ヲ聞テ甚タ樂マス是ハ我等ヲ免シ還サント云フハ偽ニシテ長ク拘留シ露西亞學ノ教師トスルノ策ナラン我等此地ニ拘ハレテ日夜汝等ヲ教授センヨリハ率口速ニ死スルニ如カスト語リケレハ熊次郎之ヲ聞テ大ニ笑ヒ決シテ汝等ヲ欺クニ非ス只汝等ハ日本ノ國法ヲ知ラサル故ニ斯ク思ヘルナルヘシト云ヘリ此時余ハムール及ヒフレイブニイコフト協議シ來春マテ此者ニ露西亞語ヲ教フヘシ日本人等如何ニ我等ヲ處分スルヤ親ヒ待ツニ如カスト議決セリ

其後アレキセイ再ヒ官廷ニ呼ヒ出サレテ歸リシニ因リ今日ハ何事ヲ糾問セシヤト問ヒシニ只以前アリシ事等ナリトノミ答ヘシカハ彼或ハ心變リ今日ニ至リテ獨ノ口供ヲ復タ改メシニアラスヤト疑ヒ大ニ心ヲ傷マシメタリ

我等新通詞貞助ニ露西亞語ヲ教フルコトヲ承諾シケレハ彼レ一冊ノ書ヲ出シ是ハ以前日本人ノ露西亞ニ至リテ集録シタル露西亞語ノ辭書并ニ見聞セシ事ヲ書集メタルモノナリト云ヘリ又貞助東江熊次郎三人來リ奉行ノ委托ナリトテ熊次郎云ケルハ汝等カ貞助ニ露西亞語ヲ教フルノ間ニ露西亞并ニ歐洲諸國々勢ノ一斑ヲ記述シテ惠マレンニハ尙更感謝ニ堪ヘス云々余篤ト思考スルニ是レ日露兩國人民ノ爲ニハ必ス大ナル裨益トモ爲ルカ故ニ喜ンテ承諾シタレトモ若シ此事ヲ容易ニ日本人ニ示シナハ我等カ身上ニ拘ルノミナラス露國ノ爲ニモ惡シカリナン又俄ノ答ヲ爲サハ例ノ如ク種々ノ問ヲ惹起サンコトヲ恐レ僞リテ我等ハ生來海上ニノミ就役スル者ナルカ故ニ見聞スル所極メテ狭シト答ヘケレハ然ラハ汝等カ聞知セル事ノミニテモ充分ナリトモ云ヘリ

日本人ノ預リ置ケル余カ書籍中英人クーク氏著ノ露國々勢一斑トモ題ス可キ書アリ該書ニハ彼等カ聞カント欲スル事項ヲ盡ク記載セリ然レモ獨キニ彼カ其書

名ヲ問ヒシ時ニ僞リ答ヘ置キタルモ日本人ノ之ヲ覺ラサルコソ幸ナレ若シ其書ノ表題ヲ詳カニ告ケシナラハ其解ヲ爲スヘシト督責セラレタルナラン

貞助ニ露西亞語ヲ教ヘシニ彼學才アリ且ツ記憶力ニ富ミ初日ヨリ甚ク能ク語ノ意味ヲ領解シ加フルニ其發音露西亞人ノ如クナルヲ以テ彼ハ已ニ露西亞語ヲ習ヘルカ或ハ他ノ歐羅巴ノ語學ヲ修メタル者ナラント思ヘリ貞助ハ夫ノ熊次郎カ露西亞語ヲ集録セル書冊ヲ我等ニ示シ我等ノ發音ヲ一語ツ、其傍ニ記セリ

毎日貞助來リ終日習學シ只午飯ノ時休ムノミナリ天氣ノ惡シキ時ニハ午飯モ獄舎ニ持來リテ食セリ

日本人ノ我等ヲ置ク所ハ通常ノ罪人ヲ入レル獄舎トハ異ニシテ名ケテ置所ト云ヒ罪人ヲ入ル、所ヲ牢ト名クト云フ日本人ノ説クトコロヲ聞クニ牢ニテハ火ヲ焚クコトヲ免サス并ニ烟草茶酒ナトヲモ與ヘス食物モ粗惡ニシテ只飯ノミナリト我等カ居ル所ニハ烟草茶ヲ許ルシ與ヘ四五日ニ一度ツ、酒ヲモ出セリ初メ置所トハ軍虜ヲ置ク所ナラント思ヒシニ後ニ聞ケハ日本人ノ罪人モ茲ニ置クト云フ然レハ置所トハ牢ノ較上等ナルモノヲ云フナル可シ

彼カ露西亞語ヲ覺フルコト極メテ敏捷ニシテ日ナラスシテ露西亞ノ文字ヲモ筆記

スルヲ得其會得セシ辭ヲ直ニ露西亞ノ文字ニテ筆記スルニ至レリ是ハ熊次郎ニ於
 ヲハ爲シ能ハサルヲナリキ又我等一語ヲ教授スル毎ニ細カニ日本文字ニテ書シ其
 字義ヲ詳ニ註記シテ後又他ノ辭ヲ問ヘリ
 今ハ我等ニ紙墨ヲ與ヘケレハ日本語ヲ數多蓄集メ置ケリ但シ之レニ譯ヲ施サス何
 トナレハ若シ日本人ニ取上ケラレシ時ニハ惡シカリナント思フノ虞アレハナリ
 數日ヲ過キ貞助其弟ナリトテ十四歳許ノ少年ヲ携ヘ來リテ奉行ノ命ナリ此少年ニ
 モ露西亞語ヲ教ヘ賜ヘト云ヒケレハ余答ヘテ汝ノ奉行ハ實ニ好事家ナリ我等豈ク
 其需ニ應スルコト能ハス已ニ先キニ云ヘル如ク日本ニテ露西亞語學ノ教師トナラ
 シヨリハ寧ロ速ニ死スルニ如カス日本人ノ我等ニ諸般ノ篤惠ヲ施セシモ皆ナ實意
 ニアラスシテ詐詭ナリシコト今ニ至テ知ラレタリ既ニ一人ノ通詞アレトモ露西亞
 文ノ反譯ニ熟セストテ又一人ノ新通詞ヲ設ケ尙ホ其上ニ此少年ニモ教ヘヨト云ヘ
 リ然ラハ遠カラス此處ニ一箇ノ學校ヲ建ルニ至ラン然レトモ我等ハ人數寡ク書籍
 モ無ケレハ人々我等ヲ學校ノ師トハ思フマシト云ヒケレハ貞助甚ク憤レル色ニテ
 忽チ辭アラク日本人ハ汝等ニ對シテ惡意ナシ汝等ニ望ム所強テ違ケ得サルコアラ
 シヤト云ヘリ余モ是ヲ聞テ大ニ怒リ答ケルハ凡ソ地球上露西亞皇帝陛下ヲ除クノ

外權力ニテ我等ヲ抑制スル者アラシヤ我等ヲ殺戮スルハ頗ル容易ナリト雖モ權威
 ヲ以テ我等ヲ屈服セシムルコトハ之ヲ爲シ能ハサルヘシト互ニ怒リ争ヒシカ途ニ
 貞助ハ怒ヲ含ミテ別レ去レリ
 右ノ如ク争ヒケレハ爾後必ス之カ爲メ我等ニ又災害ヲ生スヘシト思ヒシニ何ゾ仔
 細モナク一日ヲ經テ貞助早朝來リテ甚ク温和ノ顔色ニテ應對シ前日不敬ノ罪ヲ謝
 シ以前ノ如ク惡意ノ交ヲ爲サシコトヲ請ヒシ故余モ當時ノ不遜ヲ謝シ速ニ和睦ノ
 思ヲ爲セリ此日ハ彼カ弟ナリト云ヒシ者ヲハ只同伴ノ客ノ如クシテ携ヘ來リシカ
 二三日經テ貞助云ヒケルカ彼レハ其實奉行ノ許ニ在ル者ニテ途ニ通詞ニ爲サント
 スル者ナリ若シ彼ヲ教ヘ給ハラハ實ニ幸ナリト其辭甚ク丁寧謙遜ナリシカハ余モ
 亦丁寧ニ答ヘテ日本人ト露西亞人ト互ニ和睦シテ親密ノ交際國トナルニ至ラハ此
 少年ノミナラス尙ホ幾人ナリトモ露西亞國へ伴ヒ行キ獨リ露西亞語ノミナラス其
 他ノ學術ヲモ教フヘシ然レトモ日本ト露西亞トノ間和睦セラル時ニハ是ヲ教フル
 モ無益ノ事ナリト云ヒケレハ其後ハ貞助モ此事ハ言ヒ出サ、リキ
 爾キニ奉行ノ我等ニ告ケシ事ハ實意ナリヤ否ハ知ラサントモ日本政府ニ於テ我等
 ノ辨明ヲ信用セルトハ思ハレサルナリ何トナレハ前ニ余カ翻譯シテ差出シタルチ

アノナ號ヨリノ書簡ニ就テ日本人ノ疑念尙ホ解ケス其翻譯ノ誤ナキヤ否ヲ糾サン
 トノ心算ト見ヘ或ル日官吏來リテ書冊ヲ我等ニ示セリ是レハ大ナル紙ヲ四ツニ折
 リ其一折面ニ夫ノ書簡ニ在リシ辭ヲ摘ミテ伊呂波文字ノ順次ニ輯録シ我等カ名及
 ヒザアノナ號乗組將校ノ名等總テ解シ得タル者ハ除キテ記載セザリキ我等ニ命ジ
 ケルハ此一折面ニ記セル辭ヲ英語佛語及ヒ蘭語ニ譯シテ白紙ノ所ニ記シテ差出ス
 ヘシ是ハ帝都ヨリ送リ來ルモノニテ誰人カ記セルヲ知ラサレトモ蘭語ヲ知レル日
 本人ノ記セルモノナルヘト云ヘリ余之ヲ見テ其偽首ナルコトヲ察シ余モ亦偽リ
 テ云フ此等ノ語ハ何所ノ語ナリヤ了解シ難キ辭往々見ニ其内ニハ全ク露西亞語ニ
 非ラサル文字モ綴リタルアリ是ハ全ク露西亞語ヲ知ラサル者ノ記シタルナラン我
 等之ヲ譯シ得ストテ辭セリ其書中「露西亞」字ヲ「イニ」ト「エ」ヲ「ケ」ニ誤記シタ
 ルモノアレハナリ

爾後貞助余ニ告ケテ云ク蘭人ヲクスマント云フ者アリテ高給ヲ受ケテ江戸ニ住
 居シ生涯歸國セサル約束ニテ觀象測圖等ノ事ヲ掌トレリ此書ハ其者ノ調製シタ
 ルナリト

余又夫ノ官吏ニ向ヒ我等若シ此露西亞語ニ他邦ノ語ヲ充テ記シナハ通詞ノ蘭人ハ

之ヲ見テ己カ意ニテ反譯スヘシ然ル時ハ我等カ意ハ充分ニ達セサルナラン何トナ
 レハ蘭人ハ元ヨリ露西亞人ヲ嫌惡スルコト甚シケレハナリ其故ハ在時レザノフ
 カ日本ニ使セシ時蘭人其中間ニ立チ大ニ自國ノ利ヲ謀リシト云フコトアレハナリ
 且ツ此書面モ首尾接続セル一文章ナレハ其主旨ヲ明白ニ解シ得ヘケレトモ斯ノ如
 ク文字ヲ一字宛拾ヒ集メテ書シタルモノナレハ到底其真意ヲ穿テ解シ得ヘカラス
 ト云ヒケレハ夫ノ官吏之ヲ聞テ蘭人カ日本人トレザノフトノ間ニ立チ入りタル
 トハ何如ナル事ソト問ヘリ余云フ嘗テ英人ノ蘭船ヨリ奪取レル書簡アリ是レ蘭人
 ノ記スル所ニシテレザノフカ日本ニ到リシ時其地ニ居タル蘭人中間ニ立チ日本
 人ニ教示シ露西亞人ヲシテ再ヒ日本國ニ渡航スルノ謀ヲ絶ルムル様ニ日露離間策
 ヲ運ラシテ大ナル利益ヲ得タリト云フコトヲ記シタルモノナリ

余曾テリコールヅト共ニ軍艦「ザア」ナ號ニテ英國ホルツスマイト港ニ在リシ時
 英國ノ戰利捕獲物調査委員ナルブロウント云ヘル人ニ逢ヘリ其時リコールヅトハ
 レザノフカ既ニ病死シタル事ヲブロウンニ告ケレハブロウン云フレザノフ
 フカ死セルハ幸ナリ若シ存在セハ蘭人ニ問セラレタルコトヲ聞キ必ス憤ヲ怨ムヘ
 シトリコールヅ其仔細ヲ問ヒシニ使云フ往時蘭船バタビヤヨリアムステルダム

ニ返ラントスルヤ英艦之ヲ海上ニ奪掠シ遂ニボルツスムト港ニ引來リ定規ノ如ク其船中ノ書籍ヲ調査シタルニバタビヤ駐在官ナル蘭人ヨリ本國ニ送ル報告書アリ其書中ニ日本長崎ニ在留ノ蘭人ヨリ駐在官ニ送レル書翰中ノ事ヲ記シテ云ク露國大使レザノフノ日本へ使セシ時蘭人其中間ニ立テ通辯シ大ニ蘭國ノ爲メニ利益ナル方便ヲ用ヒタリト其故ハ肆ニ露人ノ事ヲ日本人ニ讒シテ露西亞ト交際ヲ斷タシメ再ヒ日本國へ來ラサルヘシトノ答ヲ爲サシメタリトアリシ由ヲ語レリ余此事ヲ聞テカムチャツカ半島ニ歸リテ我カ政府ニ辭ヘシカハ之ヲ露米協同商社ノ社長ニモ告知シ昔ナ其事ヲ心得居ラシメタリ

夫ノ官吏又云フ此ノ如キアアラハ何故速ニ告ケサルヤト余答ヘテ今我等ノコトニ就テ蘭人ノ關ルコトアルハ毫モ知ラザリシヲ以テ今日マテ告ケザリシナリ今之ヲ告ケルモノハ若シ蘭人ノ重キテ我等ト日本人トノ間ニ介リテ告ヲ爲サンコトヲ恐レテナリ且ツ蘭人ハ元ヨリ廣ク東西印度ニ交易ヲ爲セトモ英人ノ爲メ此ノ如ク奸猾ニシテ信義ノ交リナキコトヲ看破セラレ且ツ我等モ聞知セシカ如クナレハ彼カ貪慾奸猾ナルハ遂ニ地球上之ヲ知ラサルモノナク人々嫌惡スルハ勿論ナリト云ヒ茲キノ書翰ニ他邦ノ事ヲ記セル分ハ之ヲ辭シタリシカ露西亞語ノミハ解スヘシト請

ヒケルヲ以テ己ムコトヲ得ス其意ニ從ヒ數日間之ヲ日本人ニ教示シ彼等モ大ニ心ヲ勞シ我等モ力ヲ竭シテ漸ク成就セリ又フオストイフカ書翰モ斯ノ如ク再ヒ譯ヲ爲スヘシト甚タ困難シタルコト多カリケリ

○日本國ノ官吏江戸ニ向テ出發スルコト

一日官吏來リテ云ヒケルハ汝等カ事情ヲ政府ニ達センカ爲メニ江戸ニ發向スルニ因リ奉行ハ汝等カ所持ノ品物并ニ書籍等ヲモ付送シテ上覽ニ備ヘントス其書籍ノ中汝等閑暇ヲ慰ムル爲メニ看ント欲スルモノアラハ撰ミ出シテ留メ置クヘシトテ余カ書籍ヲ持來リ之ヲ撰マシメ其書ニ何ヤラン記號ヲ附シ元ノ如ク悉ク箱ニ納メ持去テ一冊モ我方ニハ止メ置サレハ我等カ心中大ニ不平ナリキ

右ノ書籍ヲ撰ミシ時ニ熊次郎一ノ書冊ヲ開キ其ノ間ニ日本字ニテ記シタル赤色ノ小片紙アルヲ見出シタリ是ハ日本ノ商品等ニ貼付スルモノナリ余カ嘗テカムチャツカ半島ニ在リシ時或人ヨリ珍シキ物ナリトテ贈ラレタルヲ何心ナク夫ノ書ノ間ニ挟ミ置ケルナリ熊次郎之ヲ見テ此ハ何レノ所ヨリ得テ此書ノ間ニ入レ置タルヤト問ヘリ夫ハ支那ノ物ナリ余此書ヲ看シ時葉ニ代用シ置キタルナリト答ヘシニ熊次郎是レ支那ノ物ナリヤト云フハ疾ク之ヲ懐ニシテ去レリ之ニ因テ余甚タ思煩ヒ

ケルハ此小片紙ニテ又如何許ノ嫌疑ノ起リ來ルナラン且ツ日本人之ヲ見テ我等ヲ
 フオスト一フノ徒トシ彼カ日本國ニテ掠メシ貨物ヲ配分セシ者ト思フヘキカ嗚呼
 天ナル哉日本人ハ常ニ我等ヲ猜疑スルノ念アルニ料ラサルモ此事アリ是ヨリ彌疑
 心ヲ増スニ至ラン何トナレハ余カ艦内所持ノ書籍箱七八箇アル中ニテ此書籍箱ヲ
 「チア」ナ號ヨリ送り越シ適過テ此小札ヲ彼ニ見答メラル、トハ豈ニ不運ナラスヤ
 我等常ニ相語ルニ我等カ身上ハ恰モ一篇ノ稗史ニ髣髴タリムールハ年若ク且ツ美
 男子ナレハ余ハ之ニ戯レ汝コソ稗史上ノ好男子ナレハ日本ノ美婦人汝ニ戀慕シテ
 遂ニ我等ヲモ窃カニ誘導シテ脱牢セシメ夫ノ美婦人ト共ニ露國ニ遁レ返ルコト得
 ハ實ニ一篇ノ稗史トナルヘシ然レモ只憾ムラクハ茲ニ一人ノ美婦ヲ欲クノミト倍
 テ江戸ニ赴ク官吏ノ起程前ニ我等ヲ奉行所ニ呼出シ奉行ノ我等ニ問ヒケルハ歐羅
 巴人ノ劍ヲ帶ヒ帽子ヲ戴ク作法ハ如何ナルヤ其風ヲ示スヘシ又露國海軍士官ノ帽
 子ヲ戴クニ官等ノ差異ニ據リ豎ト横トノ差別アリヤト余之ニ答ヘ官等ニ因テ其戴
 キ方ニ差別ナシ人々意ニ任カスルナリ或ハ飾リニハ横ニ戴クコトモアルナリト彼
 又問フ水兵ハ如何様ニ帽子ヲ戴クヤト
 此帽子ノ事ニ就テ思出セシハ嚮キニ我等クナシリ島ニテ縛セラレシ時水兵其帽

子ヲ地ニ落セリ然ルニ日本ノ兵卒走リ來リテ刀ヲ以テ其帽子ヲ寸々ニ切り裂キ
 タリ爾後松前ニテ入獄セシ時日本人夫ノ帽子ヲ持來リ水兵ニ之ヲ縫ヒ合セシコ
 トヲ請ヒシニ針ト鉄ナケレハ補フコト能ハスト云ヒケレハ日本人彼ニ針ト鉄ト
 ヲ與フ水兵之ヲ縫ヒ合セテ彼ニ贈レシ余思フニ之ヲ補フハ手工ニ有名ナル日本
 人ノ手コソ更ニ巧ナランニ特ニ水兵ニ命セシハ之ヲ江戸ニ送ルニ露西亞人自ラ
 其帽子ヲ切り裂キテ又自ラ之ヲ補ヘリト云ヒテ兵卒カ罪ヲ獲ハンカ爲メナリ此
 ニ由テ日本人ノ好智ニ富メルヲ知ルヘシ
 奉行又我等ニ向ヒ露西亞人ノ身ノ丈ヲ記シ江戸ニ贈リナハ悦フヘシ因テ汝等ノ身
 ノ高サヲ度リタシトテ尺ヲ以テ度ラシメ且ツ我等ノ像ヲ畫キテ江戸ニ贈ラントテ
 貞助ニ命シテ畫カシム其圖ハ毫モ我等ニ似タル所ナシ然トモ必ス江戸ニ送リテ壁
 ニ掛ナトスルナルヘシ
 我等三人ハ歐羅巴人中ニテハ中等ニ位スル身ノ丈ナレトモ日本人ニ比スレハ甚
 タ高カリシ若シ日本人ヲシテ近衛海軍團ノ水兵ヲ見セシメハ必ス其體幹ノ偉大
 ナルニ驚歎スルナラン
 倍テ江戸ニ行クヘキ官吏松前出發ノ二日前ニ我カ獄會ニ來リテ別ヲ告ケ且ツ曰ク

余ハ江戸ニ至リ務メテ汝等カ願望ヲ達スヘク計フヘシ汝等無事ニテ耐忍シ居ルヘシト勸慰シテ別レ去レリ是ハ我等カ様子ヲ見テ江戸ノ有司ニ告クル爲ナラン此人ハ十二月ノ末我ノ末一松前ヲ出發セリ其隨行員ハクナシリ島長官及ヒ次官并ニ曾テイッル一ブ島ニ於テ我等ニ書翰ヲ與タル官吏クリ一リ通詞等共ニ四五名ナリキ此江戸ニ往ケル官吏ヲ吟味役ト名ク松前ノ奉行ニ屬スル官ニテ五人アリ二人ハ江戸ニ在リ二人ハ松前ニ居リ一人ハ函館ノ上司タリ皆輪番シテ江戸ニ歸ルナリ夫ノ官吏出發後ハ我等モ定メテ閑暇ニナルヘシト思ヒシニ却テ毎日大ニ煩勞セリ何トナレハ貞助日々來リテ露西亞語ヲ學ヘハナリ彼レハ頗ル善良ナル性質ニシテ物ヲ隠蔽セス活潑ナル者ニシテ我等モ熊次郎ヨリ嘗テ聞カサル日本國ノ事情ナトヲ彼ヨリ聞ケリ熊次郎ハ貞助カ我等ニ日本國ノ事情ヲ告ルヲ止メシコト一二回アリキ

一日貞助江戸ニ居ル蘭人ラツクスマンノ事ヲ我等ニ語ラントセシニ熊次郎傍ヨリ耳語セシカハ貞助黙止セリ

貞助ハ日本人中ニテ最モ我等ヲ親愛スル者ト見ヘテ常ニ我等ニ種々佳味ノ物ヲ贈レリ奉行ヨリ種々惠メルモ彼カ計ヒナラントテ彼ニ謝セリ彼ハ奉行ノ方ニテ書記

ノ職務ヲ勤メ奉行ノ信任ヲ受ケタル者ナル故ニ奉行ノ前ヲ能ク調和シ我等カ冤罪ヲモ隠ニ辨フルコトモアル由ニ聞ケリ但シ彼レ日々來リ種々ノ問ヲ爲スニ其好事ノ心ヲ飽カシメ難キヨリ爭論スルコトモ多カリキ

我等ハ翻譯ノ業ハ既ニ免レタリト思ヒシニ尙ホ止マヌ追テ種々ノモノヲ持來テ翻譯セシム一日貞助日本紙ニ記セルモノヲ持來リテ余ニ示セリ此ハフオスト一フノ記セルモノニテ即チ其文ニ云ク露艦フレガート形ニノ一ナ號此地ニ來リ此村ヲ疑村ト名クト記セリフオスト一フ之ヲ銅板ニ記シテ其村ニ遣シ置シト彼レ其疑村ト名ケタル意義ヲ示スヘシト請ヘリ我等此難問ヲ承ケ大ニ煩勞セリ日本人ハ疑ト云フ辭ノ意義ヲ解セス我等モ斯クフオスト一フカ名ケタルハ如何ナル意味ナリヤ又日本人ハ此辭ノ意味ヲ如何ニ解セルヤハ知ラス因テ此語ハ疑ト云義ノ外別義ナシト云ヒケレハ日本人又例ノ疑心ヲ起シ外ニ意味アレトモ我等ニ害アルヘキコトハ秘シテ言ハサル者トシ數日此事ニ就キテ煩勞セリ其後又墓標ヲ持來リテ譯セシム是ハラクスマシカ日本國ニ來レル時ニ其水兵瘧血病ヲ患ヒテ死セルヲ根室ニテ航海士ロフツ・一ウ其所ニテ一樹ヲ斬リ樹下ニ之ヲ埋メ其上ニ樹ヲタル墓標ナリ余之ヲ翻譯セシニ僅ニ一時間許ニシテ彼能ク會得セリ思フニ是ハ已ニラクスマンノ